

桜圃寺内文庫の研究

序

桜圃寺内文庫は、寺内正毅氏と嗣子寿一氏によって大正十一年に創立された寺内氏の私設文庫であり、同時に正毅氏を顕彰する記念館的性格をも有していた。

文庫所蔵図書は、和漢書および朝鮮本を中心とし、無料公開することにより地域社会に貢献するところ大であった。その後、本文庫は山口女子大学に移管されて今日に至っている。

ところで、文庫所蔵図書資料の全容は、終戦時の混乱もあってなお十分把握しえない部分があったうえ、文庫自体の成立の経緯も関係資料の湮滅により忘れ去られようとしていたのである。そこで、一昨年から、國守進・熊本守雄・原川一郎・池田啓子は文庫成立の経緯を一応明らかにすること、蔵書中の和漢書の調査を行うこと、就中、朝鮮本の内容を詳細に調査すること、を主目標とする基礎的調査研究をはじめたのであった。しかし、なにぶんにも朝鮮書誌学にうとく、また李朝文書をおそく発見したこともあって十分な成果をあげたというには多くの課題を残しすぎているが、とりあえず、本報告書にはこれまでの成果の一部を収めることができた。

このたびの調査にあたっては、寺内順子氏、学習院大学名誉教授末松保和氏、東洋文庫研究員田川孝三氏、京都大

学教授西田龍雄氏、大阪大学助手藤本幸夫氏、国会図書館、天理図書館をはじめ多くの方々の御援助御指導にあずかるところが大きかった。ここに深く謝意を表すると共に今後の御指導をお願いする次第である。

なお、本報告書は昭和五十年度文部省科学研究補助費一般研究C『山口女子短期大学所蔵寺内文庫の研究』〔文学部助教教授國守進（代表）・同助教教授熊本守雄・同助手池田啓子・付属図書館主任司書原川一郎〕によるものである。

昭和五十一年三月

國 守 進

目次

桜圃寺内文庫の成立……………	國守進	(一)
寺内文庫本和漢書について——文學書を中心に——……………	熊本守雄	(一九)
寺内文庫朝鮮本・李朝文書について……………	國守進	(三七)
桜圃寺内文庫和漢書目録……………	池原田川啓一 子郎	

桜圃寺内文庫の成立

國 守 進

一、文庫の沿革

山口女子大学所蔵桜圃寺内文庫は、寺内正毅氏によってその基礎が作られ、子息寿一氏によって完成された寺内氏私設文庫を起源とする。

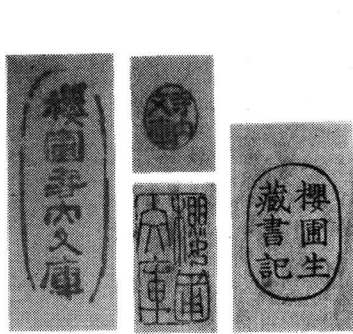
寺内正毅氏は、嘉永五年、宇多田正輔三男として山口市平川に生まれ、のち、同市宮野の寺内家を嗣いだ。維新时期、諸隊に投じて活躍したのち、陸軍々人として、明治三五年、陸軍大臣、四一年、外務大臣、四三年、朝鮮総督、大正五年、元帥、総理大臣と要職を歴任した長州出身軍人政治家であることは周知のとおりである。

ところで、本文庫所収の蔵書はこれまで伝えられているように、近世以来の寺内家の蔵書、正毅氏個人の蔵書および収集図書・資料（朝鮮関係含む）・受贈図書などが含まれているのであって、蔵書構成については後述するとし、ここではまず、文庫成立の経緯をみることにしたい。

文庫の設立に際しては、相当量の図書の収集と、保存・利用に対する理解が必要であることは云うまでもないが、正毅氏は図書のみならず、書画類に至るまで深い造詣を有し、その保存にも深い関心を寄せて早くから絶えず図書・書画・文書類の収集を心がけていたと^{注1}考えられる。本文庫図書にみられる蔵書印は写真に掲げる五種類である（「寺

内蔵書」印もあるが省略)。これら蔵書印のうち、2と5は文庫成立後のものであり、1「桜圃生蔵書記」はそれ以前、正毅氏の収集中のものであって、文庫設立の構想を固めつつある段階のものである。文庫の名称「桜圃寺内文庫」は正毅氏の旧居山口市宮野桜畠に因んだ彼の号「桜圃」^{おちほ}によるものである。^{注2}

彼の文庫設立構想の直接的動機として考えられるものに兒玉文庫の設立がある。兒玉文庫は兒玉源太郎（明治三九歿）設立の私設文庫である。彼は山口県徳山出身で、陸軍大臣、参謀総長などを歴任した陸軍々人である。彼は明治三五年、皇室の下賜金と自費をもって徳山に文庫を設けて四万冊の図書を収め、同三六年開庫して兒玉文庫と称した。同文庫の経営は私立都濃郡教育会が行い、那費から維持費の補助を受け、巡回文庫を実施するなど、都濃郡中心



桜圃寺内文庫印 (左より5, 4, 3, 2, 1)

に活潑な読書活動を行^{注3}った。明治三九年、兒玉源太郎の没後、嗣子秀雄が直接経営するようになり、文庫維持のための基金制度（九〇〇〇円）を設け、文庫評議員を委嘱^{注4}したが、この時、寺内正毅氏も基金の造成を援助したのである。これは正毅氏長女沢子が兒玉秀雄に嫁しているという姻戚関係にもよるが、兒玉文庫の郷土における役割・影響が正毅氏の文庫設立の動機の主因となったであろうことは想像に難くない。このように考えると、文庫設立のための集書は少くとも明治三五年頃から始まったと考えられるが、丁度その頃、彼は南満州鉄道株式会社設立委員長に任ぜられている。^{注5}正毅氏の朝鮮・満州とのかわりは、これよりさき、二六年、鉄道会議々員となった時から始まっている。京釜鉄道（明治三四―三七）・京義鉄道（明治三七―三九）・南満州鉄道株式会社・鳴緑江鉄橋架設などは

ずれも彼の関与するところであった。政治家としての彼の関心はこうして朝鮮方面に集中していくのであって、明治四三年韓国統監・朝鮮総督に任ぜられるに至るのである。

明治四三年以前、つまり朝鮮総督就任以前における彼の図書・書画収集の状況は明らかでない。恐らく本格的収集（ことに朝鮮関係資料）は総督就任以後のことであろう。総督就任後の彼の収集活動を助けた中心人物が工藤壮平（文哉）氏であった。彼は書の専門家で正毅氏に従って朝鮮総督府に勤め、朝鮮古蹟・朝鮮史・奎章閣資料の調査を行なうと共に正毅氏のために京城を中心として朝鮮の古書墨蹟類の調査収集を行ったのである。^{注7} 工藤氏のほか、総督府囑託として朝鮮史の調査・奎章閣圖書の整理を行い、のち「元帥寺内伯爵伝」を編集した黒田甲午郎氏もそうした助言者の一人であったと思われる。後掲寺内寿一氏の開庫報告文にも記されているように、工藤氏は朝鮮図書・書画収集の助言にとどまらず、文庫設立の準備から開庫後の運営・蒐書にも協力を続けているのである。^{注8}

寺内正毅氏の文庫設立の資金は勿論私費であるが、日露戦争後の明治天皇からの下賜金がおもに宛てられたものようである。（寺内順子氏談）

大正七年のころから正毅氏は病に臥すようになり、翌八年一月三日歿する。この直前、彼は次の文庫設立の趣旨を草している。

桜圃文庫ノ記

防長二州ハ中国ノ西陲内海ノ関門ニシテ正氣ノ鍾マル所ナリ、先ニハ洞春公奉勅ノ義萃アリ、後ニハ忠正公勤王ノ壮図アリ、先輩雲礫シテ彝倫ヲ序シ士風ヲ振興シ以テ明治維新ノ不業ヲ贊襄スルモノ洵ニ偶然ニ非サルナリ、予幸ニ此土ニ生レ聖明ノ恩沢ニ浴シ先輩ノ援用ヲ得テ軍事ニ従ヒ更ニ之ヲ賢路ニ承ケテ将相ノ顕榮ニ上ルモノ皆是レ防長士風ノ感化ニ非サルハナシ、之ヲ先輩ニ受ケテ之ヲ後人ニ伝フルハ吾人ノ義

務ナリ、曾テ思ヘラク他日志ヲ得ハ旧閩ノ地ニ一書庫ヲ創設シテ郷党ノ為ニ史書研鑽ノ用ニ供シ以テ先輩垂恩ノ万一ニ酬キムト爾来此志ヲ懷テ空シク耳順ヲ過ク、而シテ資財未タ洽ネク史書ヲ蒐ムルノ余力アラス其ノ既往ニ購需スル所ノ藏書猶甚タ乏シキヲ憾トス、然レトモ之カ完璧ヲ期スルハ到底予ノ独力ノ能ク堪フル所ニアラス、故ニ先ツ書庫ヲ開キテ其ノ既ニ蒐集スル所ノ史書ヲ藏シ自今以後獲ルニ從テ隨時ニ収藏シ漸ヲ逐テ罅缺ヲ補ハムトス、意フニ士氣ヲ喚起スルハ歴史ニ若クハナク歴史ヲ蒐ムルハ先ツ我帝國ノ史乘ヲ經トシ我ト密接ノ關係アル朝鮮支那ノ史乘ヲ緯トスルヨリ急ナルハナシ、是レ我櫻圃文庫創設ノ主旨ニシテ他ノ一般図書館ト自ラ其ノ趣ヲ異ニスル所以ナリ、此故ニ稗史小説ノ詭テ人心ヲ娛シマシムルモノナク又時勢ノ推移ニ伴フノ近刊書籍ニ乏シ、蓋シ予ノ素志ハ汎ク多数士女ノ貪読ヲ求ムルニ非スシテ郷党子弟ノ精神的自覚ヲ希フカ為ナレハナリ、来リテ書ヲ閱スルノ士幸ニ予ノ微意ヲ諒トシ閑余就テ研鑽セラルル所アラハ実ニ是レ予ノ光荣トスル所ナリ、只予ノ望ム所甚タ遠大ニシテ具備スル所寔ニ寡少ナルハ心窃ニ慚愧ノ至ニ任ヘス、倘シ予ノ志ヲ助ケテ更ニ史籍ヲ汎集シ大成ヲ期スルヲ得セシメハ庶幾クハ以テ永ク郷党ノ子弟ニ裨益スルヲ得ヘシ

大正八年己未八月

寺内正毅誌

注。

右の趣旨は、防長土風を先輩から後輩に伝えるため、土風の作興に最も効果的な歴史の書を集めて郷土の青年に読ませ、その精神的自覚を期待するというものであった。つまり、本文庫は「我帝国の史乘」を經とし「朝鮮支那」を緯とする構想に基く歴史書に重きが置かれたのであって、通俗図書館とは異った、教育図書館的な性格を有していたのである。いづれにせよ、櫻圃文庫は、實質的には正毅氏の生前にほぼそのかたちをなしていたのであって、これを

収め、閲覧に供する建物のみは着工するに至らなかつた。^{注10}そこで嗣子寺内寿一氏は大正九年五月一三日、文庫の建築に着工した。この建築に際しては、毛利家の助力に負うところが大きく、設計等は原技師によつたと伝えられ、^{注11}鉄筋コンクリート二階建、総坪数八五・九八坪（一階五六・三九坪、二階二九・五九坪）で、工費三七二八〇余円、付属諸費一六三四円余、合計三八九〇〇円余を要した、当時としては最も新しい様式の建築であつた。同建物の北側には付属建物として、いわゆる「朝鮮館」が建てられた。^{注12}本館建物の竣工は大正一〇年一月一八日のことである。

建物の完成と並行して文庫維持のための基金の設置と開庫の準備がなされた。まず、「桜圃寺内文庫」を財団法人として理事一名、監事三名を置き、文庫の維持管理のために基金を設け、評議員若干名を置いた。^{注13}

財団法人「桜圃寺内文庫」が正式な名称であるが、これは同時に正毅氏の号「魯庵」に因んで「魯庵財団」と呼ばれ、児玉秀雄氏が理事となつた。そして財団の基金三万円を設け、その利子を維持費とすることが計画された。基金は寺内家が数度に分けて積立てたものである。^{注14}以上の事柄については、次の規則が作られた。

桜圃寺内文庫規則（草稿）

第一条 文庫ハ山口県吉敷郡宮野村 番地ニ設置シ、桜圃寺内文庫ト称ス。

第二条 文庫ハ主トシテ日本支那朝鮮ノ史書ヲ蒐集シ、其他有益ナル内外ノ図書ヲ収蔵シテ、之ヲ一般ノ

閲覧ニ供スルヲ目的トス。

第三条 文庫ハ前項ノ目的ヲ賛助スル篤志家ノ寄贈品ヲ受領ス。

第四条 文庫ノ維持費ハ創立者ノ負担トス。

第五条 文庫ニ管理人一名並ニ所要ノ事務員ヲ置キ諸般ノ業務ヲ処理セシム。

第六条 文庫ニ監督一名ヲ置キ管理人以下ノ行務ヲ指揮監督セシム。

財団法人桜圃寺内文庫寄付行為（草稿）

第一条 伯爵寺内正毅ハ生前処分ニ因ル寄付行為ヲ以テ其所有ニ係ル図書及金 円ヲ寄付シ財団法人ヲ設立ス。

第二条 本財団ハ主トシテ本邦支那朝鮮ノ史書ヲ蒐集シ其他有益ナル書籍ヲ收藏シテ郷党ノ閱覽ニ供スルヲ目的トス。

第三条 本財団ハ財団法人桜圃寺内文庫ト称ス。

第四条 本財団ノ事務所ハ山口県吉敷郡宮野村 番地ニ之ヲ置ク文庫ノ所在地マタ同シ。

第五条 伯爵寺内正毅ノ一時ニ寄付シタル図書此価格金 及金 ヲ以テ本財団ノ資産総額トス。

第六条 本財団ニ理事一名（監事三名）ヲ置キ設立者若ハ其累代ノ家督相続人之ヲ任免ス。

第七条 本財団解散シタルトキハ其財産ハ設立者若ハ其累代ノ家督相続人ニ帰屬ス。

第八条 文庫ニ関スル規則ハ設立者ノ承認ヲ經テ理事之ヲ定ム。

第九条 此寄付行為ヲ變更スルニハ理事ニ於テ主務官庁ノ許可ヲ受クルヲ要ス。

桜圃寺内文庫管理規程（草稿）

第一条 桜圃寺内文庫ノ維持費ハ創立者ノ出資セル基金ノ利子ヲ以テ之ニ充ツ。

第二条 基金ハ確實ナル銀行ニ於テ保管ス。

第三条 文庫ニ評議員若干名ヲ置キ、創立者ヨリ文庫ノ維持方法、資金ノ保管並ニ經費ノ予算決算等ノ評

決ヲ委託ス。

第四条 文庫ニ監督一名ヲ置キ、必要アル毎ニ來庫シテ管理人以下ヲ指揮監督セシム、監督ハ通常、評議員中ノ一名之ヲ兼ヌルモノトス。

第五条 文庫ニ専任管理人一名並ニ若干ノ事務員ヲ置キ、文庫内外ノ整理監守ニ任ゼシム。

第六条 管理人ハ監督ノ指揮ヲ受ケテ書冊文書ノ整理ニ任ジ、毎年一回収支予算及決算書ヲ作りテ評議員ノ決議ニ付シ、其結果ヲ創立者ニ報告スルモノトス。

第七条 文庫ノ經常費ハ基金ノ利子ヨリ支出シ、剰余ハ積立金トス。

第八条 積立金及其利子ハ文庫及付属家屋ノ修繕費及ヒ臨時ノ支出費ニ充ツルモノトス。

但シ、修繕費及臨時支出ハ評議員ノ決議ヲ經テ創立者ノ決裁ヲ仰クモノトス。

第九条 書籍其他篤志家ノ寄贈アル時ハ、評議員ノ決議ヲ經テ、創立者ノ承認ヲ受クルモノトス。

第十条 創立者移動アル時ハ、其後継者ヲ以テ庫主トナス。

第十一条 此管理規程ヲ改正スルノ必要生ジル時ハ、評議員ノ決議ヲ經テ庫主ノ承認ヲ受クルモノトス。

(以上三点 寺内順子氏所蔵)

文庫発起の正毅氏の目的が郷党・子女に所蔵図書を閲覧せしめ、防長の士風を伝えるにあつたことはすでに述べた。しかし、文庫開設時の当事者は嗣子寿一氏(当時陸軍大佐)であり、彼を中心として郷里の有志の間で文庫開設の準備がなされる過程で、文庫の性格は本来の正毅氏の構想に正毅氏記念館的な側面が加えられ、変更されていったものであろう。大正一〇年一二月完成した文庫は、一階に事務室・書庫・男子閲覧室・便所、二階に書庫・特別および女子閲覧室のほか陳列室が設けられた。陳列室には、明治・大正天皇からの下賜品、李王家からの拝領品、正毅氏

の遺品類が展示された。^{注15}

文庫建物完成後、評議員を中心として開庫式の準備が行なわれ、正毅氏の誕生日二月五日に因んで、大正一一年二月五日とすることに決した。そして寺内寿一氏は庫主として開庫式にあたり次の報告文を起草した。

桜圃文庫開庫報告文(草稿)

不肖寿一 敬ミ虔ミテ家君ノ靈前ニ報告ス、家君在官五十余年至誠一貫国事ニ尽瘁セラレ、官余、余賈アレ
バ東洋史書ヲ購求シ遂ニ積ンデ数千巻ニ至ル、其志文庫ヲ旧閣ニ建設シテ郷党後進ノ縦覧ニ供シ以テ東洋
古来ノ士道ヲ喚起シ帝國ノ真髓ヲ後昆ニ伝ヘラレントスルニ在リキ、公務匆忙未タ其ノ素志ヲ遂行スルニ
至ラズ中道ニシテ瞑セラル、終ニ臨ミ不肖ヲ枕頭ニ靡キ一言ヲ遺サレテ曰ク、公ニ對シテハ汝等其ノ軍職
ヲ勵ミテ一意君國ニ奉仕シ、私ニ對シテハ予ノ素志ヲ継紹シテ早晚文庫ヲ完成セヨト、其言猶耳朶ニ存ス、
殞殮終ルヲ待テ大正九年春抄工事ニ着手シ、遺産ノ一半ヲ割テ鳩工ノ資ニ充テ、旧藩主毛利公ノ御好意ニ
依リ原技師ノ拮据經營ニ基ツキ大正十年臘月其ノ工ヲ竣ハリ、郷友宇佐川三郎氏等専ラ内部ノ整理排列ヲ
担任シ、加フルニ県当局及多数郷友諸士ノ外援ヲ得テ略文庫ヲ造営シ、客歳春開庫スルヲ得タリ、茲ニ不
肖ノ特ニ深謝スル所ハ、家君ノ僚友上原元帥ガ多大ノ史書ヲ寄贈シテ文庫ノ内容ヲ充実セシメラレタルノ
一事ナリ、其他父君易簣ノ當時下賜セラレタル天寶ノ資ヲ以テ文庫ノ基金ニ充テ、懿親顯貴ノ人々ヨリ惠
賜セラレ若クハ家君愛翫ノ遺物ヲ館内ニ陳列シタルハ不肖区々ノ心之ヲ不朽ニ保存シテ記念ト為サムガ為
ナリ、依テ本日恭シク祭壇ヲ館内ニ設ケテ冥靈ヲ迎ヘ館ノ落成ヲ報告ス、尚クハ家屋髣髴トシテ来リ臨ミ
微衷ヲ首肯セラレヨ、不肖寿一謹ミテ拜告ス

(欄外追記)

「及工藤壯平氏佐藤三郎氏ヨリ多大ノ書籍ヲ、又郷友諸士ガ各種ノ庭樹ヲ寄贈セラレタルノ一事ナリ」
「寄贈シテ其内容ヲ充実セシメラレ、又郷友諸士ガ各種ノ庭樹ヲ寄贈シテ其外容ヲ整備セシメラレシ
事ナリトス」

(寺内順子氏所蔵)

(報告文注)

本報告文は大正十一年二月五日の開庫式のために準備されたものであるが、後述のように開庫式が翌年に延期されたため、最初の報告文を大正十二年に修正したものである。もっとも大正一二年も延期される。

また、山口県教育博物館長作間久吉氏は当日、小学児童を参列させて歌唱せしむべく、「桜園寺内文庫開庫式唱歌」を作詞した。

桜園寺内文庫開庫式唱歌

- 一、文事あるもの武備ありと
むかしの聖ハ教へけり
我等に文庫を賜ひけり
- 二、大和こころを培ふに
桜はたけに輪奐の
美尽し善を極めたり
- 三、千編万巻かきりなき
いとも尊き元帥の
古今のふみのその外に
勲ハ庫中に輝けり
- 四、世界にその名を揚げながら
いとも親き元帥の
我が故郷をわすれざる
めくみハ庫外に溢れけり

五、今日挙げらるゝ式典に

諸人勇む歎声は

竜文山を動かしつ

宮野の川も湧くはかり

六、さながら神靈天降り

手つから文庫を推開き

ほゝゑみたまふ心地して

けにありかたき遺物也

(山口女子大学付属図書館蔵)

開庫式はまさに郷土あげての規模でとり行われる筈であったが、二月一日、山県有朋が死去したため、帰山した寿一氏も急ぎ帰京し、開庫式は延期された。^{注16}しかし開庫は予定通り二月五日から行なわれ、当日は百余名の閲覧者があり、以後參觀者はひきもきらなかつたという。翌三月、寿一氏は次のような文庫創設の趣旨を記している。

桜園文庫創設趣旨(草稿)

宮野村字桜畑ハ家君^{生誕ハ平井ニシテ桜畑ニ非ス}誕生ノ旧閨ナリ、物移リ星換リ桑海ノ感ナキニ非サルモ家君^{生誕ハ平井ニシテ桜畑ニ非ス}発祥ノ地トシテ長ク其名ヲ文庫ニ存セムト欲ス、家君幼ニシテ四境ノ防禦ニ赴キ兵馬倥傯ノ間ニ処シテ家ニ還ラサルモノ数十年、常ニ故郷ノ山河ヲ思慕シテ已マス、窃ニ意ヘラク防長二州ハ古ヨリ正氣ノ鬱結スル所、発シテハ洞春公ノ義兵トナリ忠正公ノ勤王トナリ、以テ皇猷ヲ翼賛ス、此ノ遺風ハ伝ヘテ郷党ノ後進ニ及ホシ長ヘニ帝國ノ精華ヲ發揮セサルヘカラスト、官余力メテ東洋ノ史書ヲ蒐集シ、陸軍大臣朝鮮総督ノ地位ニ就クニ及ヒ、網羅スルモノ数千卷ニ達セリ、依テ文庫ヲ閭里ニ創設シテ後進者ノ為メニ其ノ用ニ供セムトス、繼テ内閣總理ノ任ニ膺リ吐哺握髮身ニ寸隙ナキノ故ヲ以テ未タ其志ヲ果サス、後病ヲ獲テ湘南大磯ノ地ニ静臥スルモノ一年、其ノ自ラ起タサルヲ知ルヤ予ヲ枕頭ニ招キ告ケテ曰ク、匹夫ニシテ顯職ニ陞ル亦何ヲカ求メムヤ、唯近者思想界ノ急變ハ寒ニ寒心スベキモノ多シ、泰西ノ文化取テ学フヘキモノ多シト雖、東洋古來ノ

文化亦棄ツ可ラサルモノアリ、東洋歴史ニ共通スル忠魂義胆ノ如キハ則チ我国体ノ精華ヲ支持スル所以ナリ、是ヲ以テ既往蒐集スル所ノ史書殆ント我居室ニ滿テリ、欠陥スル所尚多シト雖之ヲ故郷ニ移シテ桜圃文庫ヲ創設シ、以テ郷党ノ需ニ応セシムルコトハ老父ノ宿望ナリ、自ラ思フニ病既ニ膏盲ニ入ル其結果ヲ見ズシテ逝クハ遺憾爰ゾ限ラム、汝齡既ニ不惑ニ達シ身国家ノ干城タリ、老父万一ノ後能ク其ノ遺志ヲ紹ギ、足ラザルヲ補ヒ欠ケタルヲ購ヒ、以テ我初志ヲ達成セシメヨト、言々尚耳ニ存シ夙夜忘ルルコト能ハズ、乃チ遺志ニ基ツキ地ヲ閩里ニ相シテ文庫ヲ創設ス、完璧固ヨリ期シ難シト雖聊カ以テ家君ノ冥靈ヲ慰ムルニ足ラム乎、若シ夫レ江湖ノ篤志家アリテ他日史書ノ欠陥ヲ補ヒ家君ノ遺志ヲ翼助大成シ給ハゞ光榮之ニ若クハ無シ

大正十一年春三月某日

創立者 寺内寿一 誌

(寺内順子氏所藏)

二、文庫の運営と県への移管

開庫当初の閲覧用図書数は、総記二三九・哲学八一二・教育四四五・文学一四三八・歴史地理二七〇五・法政経済六九一・理化学二五六・工学兵事三六〇・美術工芸三〇九・産業四七二・朝鮮関係五四一・中国関係一三七六、合計九六四四冊で、以上のほか中国朝鮮関係古書一万冊余があった。頭初にもふれたように、以上の蔵書は諸種の伝来のものが含まれていた。洋書は軍事に関するものが多いが、なかでも Frederick Palmer 「With Kuroki in Manchuria」、Bronsarit von Schellendorff 「Sechs Monate beim Japanischen Feldheer」の如き日露戦争関係の寄贈書がみられる。和書では明治一四年、農商務少輔であった品川弥二郎の意向で書写された「郡中大略」のような貴重な複

本もある。^{註17}このほか寄贈の多い例としては高嶋張輔・佐藤政一（石園）の和装本、上原勇作元帥の洋装本などがあげられるが、わけでも上原元帥の寄贈冊数は今日知られる分だけでも一二六〇冊に達しており、哲学・教育・歴史地理・法政経済分野にわたっている。高嶋張輔・佐藤石園については熊本守雄氏論稿を参照されたい。

ここで参考までに開庫当時の閲覧者心得を掲げておく。

閲覧者心得（草稿）

第一 図書ノ閲覧ヲ望ム者ハ閲覧簿ニ所要ノ記入ヲナシ、掛員ノ承諾ヲ受ケラルヘシ。

第二 閲覧者ハ静粛ニ閲読シ、他ノ妨害ヲナササル様、又図書ハ成ルヘク丁寧ニ取扱ヒ汚損セサル様注意セラレタシ。

第三 閲覧時間ハ概ネ左ノ通り定ム

十一月一日ヨリ三月尽日迄

午前九時ヨリ午後四時迄

四月一日ヨリ十月尽日迄

午前八時ヨリ午後五時迄

第四 毎年一日並ニ二十五日ハ書冊整理ノ為メ、一時閲覧ヲ謝絶スルコトアルヘシ。

第五 室内ニ備ヘタル痰壺火鉢机椅子湯沸其他ノ器具ヲ汚損シ、又ハ室内ヲ取乱スカ如キ所為ヲ慎マレタシ。

第六 所定ノ場所ノ外、飲食喫煙ヲ謝絶ス。

第七 掛員ハ庫内ノ秩序、清潔、静粛ヲ保ツニ必要ト認ムル時ハ所要ニ応シ、閲覧ヲ謝絶シ、又ハ庫外ニ退去ヲ促スコトアルヘシ。

第八 書冊及器具ヲ毀損セラレタル方々ニハ時宜ニ依リ賠償ヲ求ムルコトアルヘシ。

第九 庫外ニ書籍ヲ持出スコトハ一切謝絶ス、特別ノ事情アリテ之ヲ請求セラルル方ハ文庫監督ノ承認ヲ受ケ、借用証ヲ納メラルヽヲ要ス。

第十 日曜及祭日ノ翌日ハ休庫ス。

(寺内順子氏蔵)

文庫職員は管理人(主管)一名、掛員一々二名および小使で、評議員から一名が監督として職員に指示を与える制をとった。人件費・管理費・図書購入費は魯庵財団基金の利子および寺内家私費でまかなわれ、主管は年予算に基いて毎月の支出状況を寺内家に報告するよう定められていた。主管は実質上、館長の立場にあり、昭和七年頃まで宇佐

年度	開館日数	蔵書数	閲覧者	職員数	予算(円)
大正12	302	16,306	7,173		
14	301	19,025	4,915		
昭和2	300	20,431	4,482	3	1,699.97
4	300	19,507	5,363	2	
6	302	22,185	5,721		
8	300	23,029	6,149		
10	300	23,413	6,550		
12	299	23,566	7,734	2	1,400
14	301	23,999	6,117		1,450
16	293	24,516	5,081		1,500

寺内文庫運営状況

川三郎、昭和九年前後、阿川重郎、昭和一四一六一年頃、佐世庄次郎がその任に当たっていたが、時に主管は欠員の時もあったようで、昭和一二一四年初め頃の支出報告書は掛員山下弥之熊が主管を代行して行っている。^{注18}

開庫当時の蔵書数一五五〇〇冊余のうちの通俗書の大部分(九六四四冊)が先述のように公開され、大正一一年一二月、蔵書のうちから和漢書九四四〇冊(六四七部)、朝鮮本四三二冊(四六部)、漢籍一八五五冊(九九部)、朝鮮古簡牘法帖類一九一冊(一五〇部)、中国法帖類七二冊(三五部)を抄録した簡単な図書目録を刊行している。閲覧者は開庫当初、參觀の目的もあって一日一〇〇名前後に達したが、次第に減少し、年五〇〇〇七〇〇〇名程度となった。閲覧者の内訳は、昭和二年を例にあげると、

七〇%が学生・児童で軍人・実業・教員・官公吏がこれに次いでいる。開館後昭和一六年までの運営状況は表の如くで、蔵書数は年々着実に増加している。年予算の三〇%以上が図書購入費に宛てられていたのである。

文庫所在地宮野村には、明治三九年設置された宮野図書館があったが、同館の図書数は寺内文庫の五分の一ないし六分の一（昭和二年、三二〇九冊、同一六年、四六三六冊）にすぎず、その予算も昭和一二年一三七円、昭和一七年一六二円程度であつたことからすれば、^{注19} 図書内容を異にするとはいへ、地域社会における役割は少なからざるものがあったとみななければならない。

文庫の事業は集書・閲覧だけでなく、資料複写や講習会開催などもあつた。前者は、歴史を重視する文庫の趣旨から、防長の重要な郷土資料を選んで復写し、閲覧せしめんとするもので、大正一三年から山口図書館に架蔵される写本類を対象として開始した。復写されたおもなものをあげてみると、「増補周防記」「山口県風土誌」「正閩史料」「防長古文書誌」「霜堤雜草」「山口県名勝旧蹟図誌」などがある。これらはいずれも郷土史料としては著名なものであり、写本事業は相当長期間継続されたと思われるが、これには昭和初年、本文庫に勤務していた藤野莞爾（石団）氏に負うところが大きかったと思われる。彼は文庫勤務のかたわら、宮野村を中心とした郷土史の調査に専念し、これと並行するかたちで自ら郷土史料の筆写作业を精力的に行つて^{注20}いる。

後者の講演会は、昭和三年から漢学の研究会あるいは「士道ノ振作」に関する研究会を開催するようになったが、詳細は明らかでない。

昭和一六年二月、文庫に隣接して山口女子専門学校（以下、山口女専）が設立された。現在の山口女子大学の前身である。同校の設立に伴って学生の利用も増加し、文庫と同校の関係は、学生の文庫利用の面でもかなり密接であつた。昭和二〇年、終戦により文庫の経営は庫主寿一氏の卒去もあり、きわめて困難となつた。当時の山口女専は校舎

の一偶に図書室を設けるという状態であったから、寺内文庫を学校の図書館施設として利用することが望ましかった。そこで県当局は山口女専の要望もあり、文庫の利用について寺内家に申入れ、交渉を重ねたのち、昭和二十一年二月一日付で知事青柳一郎と寺内順子氏（代理人小尾哲三）との間に「桜園文庫貸借契約書」が締結された。^{注21} 契約の内容は、(一)敷地五一〇坪、建物一文庫二階建八〇坪・朝鮮館平屋建一六坪五を県が借受ける。(二)県は賃借料を年二回に分けて支払い、公共の目的以外には借用しない。(三)図書・備品が散逸しないよう留意する。(四)契約期間は昭和二十一年二月一日から三十一年一月三〇日までとする。の四項目で、山口女専の付属図書館として架蔵図書も利用されるようになった。(実質上は二十二年一月一七日から使用)。しかし、その後、朝鮮館の倒壊や物価騰貴による借料変更の必要などから、二十七年四月一日付で知事田中竜夫と寺内順子氏（代理人宇多田義三）との間に改めて貸借契約書が取交された。この間、昭和二十五年三月、山口女専は山口女子短期大学に編制替えされ、文庫は山口女子短大付属図書館として利用されるようになった。寺内文庫の借用期間は三十一年一月末日であったが、大学としては文庫を永く利用したい希望もあり、県としても文庫を県有財産にする意向を固め、一〇月頃から画家松林桂月氏を介して交渉を開始し、一月中旬にほぼ了解に達し、知事小沢太郎と寺内順子氏との間に売買契約書が締結され、文庫建物八五・九八坪、土地二九二坪、樹木若干は三十二年一月二三日をもって県に移管されたのである。ところで、文庫蔵書についても文庫買収協議の過程で話合われたが、寺内家では県および大学の希望を了解され、三十三年三月二五日、図書一九〇三六冊、書画・写真帳五一点、備品類七〇点の寄付採納願を提出された。同年六月一〇日、藤井音松学長は寄付採納をするよう知事に進達し、七月一日、県は寄付採納の旨を寺内家に通知するとともに感謝状を贈った。^{注22}

以上の経緯を経て寺内文庫は山口女子短大の所管するところとなり、昭和五〇年、山口女子大昇格に伴って山口女子大学付属図書館として現在に至っている。

注1 「元帥寺内伯爵伝」(大正九、黒田甲午郎編) 所収の

「逸話零聞」による。

2 寺内正毅氏の号は「桜圃」の外に「魯庵」もあった。「桜圃」は初め多く用いたが、後年「魯庵」を用いることが多かった。

3 「児玉文庫のしるべ」昭和一一、児玉文庫後援会。なお、児玉文庫の利用は、大正一一年の統計によれば、蔵書数二六二〇八冊、年間利用者六三三九名である。(文部省普通学務局「全国図書館一覽」)

4 「児玉秀雄書簡」野村恒蔵宛明治三九・四・一三。徳山市立図書館蔵。

5 委員長には最初、参謀総長児玉源太郎が任命されたが、彼の死去により、代って寺内正毅(陸軍中将)が任命されたものである。当時の満韓方面への鉄道敷設が日清日露戦争をはさんで、きわめて軍事色の強いものであったことを示している。

6 奎章閣は李王家昌徳宮内に設けられた図書・史料館で、朝鮮歴代の書籍・文書・筆蹟を集めて収蔵した。明治四三年の併合後は奎章閣を廃して帝室博物館を設け、のち京城帝大に移管された。現在はソウル大学校中央図書館の管理するところとなっている。(「奎章閣図書館韓国本総目録」ソウル大学校東西文化研究所刊、一九六五)

7 李英介「夢遊桃源図巻と寺内文庫」日本美術工芸四四七号、一九七五。

8 工藤壮平氏に関する資料は寺内文庫に、朝鮮共進会奉賛詩文、元山築港基石沈奠式随行記(大正四)などがある。また、昭和十年、朝鮮総督府に建設された正毅氏銅像の銘文も彼が記している。

9 「宮野村名所旧跡誌」昭和三(藤野莞尔)

10 故寺内寿一氏が順子夫人に語ったところによると、正毅氏は卒去の直前、寿一氏を枕許に呼び、寺内文庫完成のことだけを伝言したという。(寺内順子氏談)

11 「桜圃文庫開庫報告文」寺内寿一草案

12 「桜圃寺内文庫要記」昭和三。なお、朝鮮館は、もと朝鮮昌徳宮の一部を移築したものとされているが、伝えるところによると、京城高等工專の教授であった徳久与市氏の設計により建築されたともいう(徳久三郎氏談)。

13 最初の文庫評議員は、国司精造(陸軍少将)、中谷秀(山口県学務兵事課長)、厨川千江(山口図書館長)、古屋忠吉(宮野村々長)、桑原秋成の五名であった。

14 魯庵財団については寺内順子氏の御教示による。同財団基金額については「寺内文庫近況」(防長新聞 大正一一二年二月四日)によった。

15 文庫陳列品はのち寺内家に引きあげられたが、寺内正毅・寿一両氏の勲章・勅書・勲記・記録・服装類一九六点は昭和四〇年、「防長尚武館」(陸上自衛隊山口駐屯部隊資料館)に寄託された。

16 延期された大正一一二年二月五日の開庫式は翌一二二年二月

五日に挙行されるに決していた。ところが二月四日、伏見宮貞愛親王が卒去したため、まとも延期されてしまった。

17 原宏「山女大本郡中大略の成立と伝来」(山口県地方史研究)一七号 昭和四二

18 昭和一四年三・六月、同一五年三・九・一一・一二月、同一六年四月の会計報告書(寺内順子氏所蔵)による。主管宇佐川三郎・阿川重郎は「図書館一覽」(文部省社会教育局刊)によった。

19 前掲「図書館一覽」および「山口図書館年報」による。宮野図書館の閲覧者数(大正一一―昭和一六年平均)は年二六五六名で、これは寺内文庫閲覧者数の四五%にあた

る。

20 藤野莞尔の業績としては、前出「宮野村名所旧蹟誌」のほか「山口を中心としての物外和尚」(防長文化一の一四、二の一、昭和一二)、
「徳万伊助辞令集」(稿本)などがある。

21 昭和二一年一二月の契約成立よりさき、すでに山口女専では朝鮮館に机椅子を運び込んで講義を行っていたのであって、実際上の借用は早かったと思われる(上野さち子・久保小枝子氏談)。

22 県移管に関する記述は主として「寺内文庫土地買収一件」(学事文書課)によった。

寺内文庫本和漢書について——文学書を中心に——

熊 本 守 雄

桜圃寺内文庫とは、現に山口女子大学付属図書館蔵する所で、もと故寺内寿一家の私設図書館として運営されてきたものであり、戦後に山口女子大学の前身、山口女子短期大学に寄贈された和書・漢籍等合わせて約七、〇〇〇部一万八、〇〇〇冊からなっている。

蔵書は、大別して一般図書と古書典籍とに分けられ、前者は装訂がいわゆる洋装なる新書籍にして約五、五〇〇部六、〇〇〇冊あり、後者は日本および朝鮮・中国の古書典籍を含めて約一、五〇〇部一万二、〇〇〇冊に近い多数を蔵している。その古書典籍のうち、文学書関係はおよそ六二〇部である。

寺内文庫の文学関係の蔵書を構成する主なものは、次の如き性質の書籍群である。

一は、寺内正毅氏のかねて購入し蒐めていたものと見なすべきものである。その多くには「桜圃文庫」もしくは「寺内蔵書」の蔵書印が捺さっている。桜圃とは正毅氏の雅号にして、正毅氏生誕の日になんで大正十一年二月五日に文庫が開館されるに際して、文庫名にも桜圃を冠し、桜圃寺内文庫と称している。その蔵書群の中には、正毅氏が父祖から受けついで書物も含んでいる。嘉永の年号と「寺内蔵」の墨書とを持つ書籍が何点か見出される。

二に、正毅氏もしくは寺内文庫に対して朝野各方面より寄贈されたものが含まれている。その中で、量・質の上が

ら中心をなすのは、九峰高島張輔の旧蔵にして令息高島京江氏の寄贈になる蔵書群および石園佐藤政一の寄贈本である。その蒐書の特色は、両者とも、所蔵者の漢詩文に対する嗜好の故もあって、漢詩文関係の文学書が豊富なことである。他に注目すべきものとして、上原元帥寄贈の書籍がある。又、李源昇・李殷雨・金允植等の献呈本も若干存する。

三は、文庫が一定額の予算を計上して購入し、求めて蔵したものである。その中で、注目すべきものとしては、和歌を中心とした日本の古典、殊に文学書に細字で書き入れている木村正辞の手沢本がある。

以下、蔵書印を手がかりに、寺内文庫の所蔵に帰する以前の所蔵者を見定めることによって、寺内文庫における蒐書の性格の一端を窺見することとしたい。

九峰高島張輔旧蔵 高島張輔氏、号は九峰で碧澗草堂主人とも号す。旧萩藩士、明倫館出身にして、漢学の素養深く、詩文を能くし、書家としての名も高い。張輔は高島良臺の長男として、弘化三年五月三十日、萩城下に生まれている。父の良臺は頼山陽の門人で酔茗と号す。文展審査委員をつとめた日本画家高島北海の実兄にあたる張輔は、書を以て著われ、明治七年山口県属となり、同十五年迄勤務、以後、参事院書記生・宮内省編修委員・宮内省御用掛を歴任し、更に、内務属・内閣属・枢密院属を経て、明治四十一年には宮内省図書寮主事を拝命し、大正三年七月宮内大臣官房総務課事務嘱託を命ぜられている。

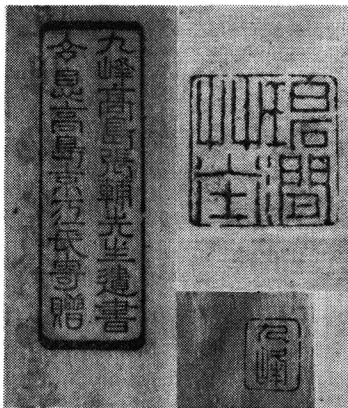
張輔氏の歿後、その遺書は令息の高島京江氏によって寺内文庫に寄贈された。氏は張輔の長男にして、旧制山口高等学校を経て、東京帝国大学工科大学採鉱冶金学科卒業の工学士、大正五年二月より上山田三菱炭坑長を勤めた技術家であった。

寺内文庫に寄贈された高島張輔旧蔵の蒐書をみるに、読書家にして詩文を得意とする氏の嗜好を反映して漢詩文関係のものがその大半を占めている。殊に、近世の詩文集は相当の量にのぼる。寺内文庫の漢詩文関係の蔵書は、九峰高島張輔旧蔵本と石園佐藤政一寄贈本とで構成されているといえる程で、それが石園佐藤政一寄贈本でなければ、九峰高島張輔旧蔵本と見做してよいほどである。その蔵書には、「九峰」もしくは「碧澗草堂」の印記の存することもあるが、その数は必ずしも多くはなく、寄贈を受けた寺内文庫において押印した「九峰高島張輔先生遺書令息高島京江氏寄贈」なる印記によって判別される。

張輔氏は、業余に暇を得て、文墨に親しみ、風月を友とし、詩作に励んでいるが、書を弘くもとめて自ら筆をとり書写も屢々している。その筆写した本の奥書には、碧澗草堂主人もしくは九峰の号を記している。

『本事詩』(写)の奥書に、「明治壬辰(二十五年)十一月借瀧川氏蔵本謄写碧澗主人張」とあり、『吳毅人詩』(写)△天の巻▽の跋には、「明治丁酉(三十年)二月初六借霜谷秋月先輩所蔵手写本謄畢／於東京永田官盧高梧臆下碧澗主人張甫」と記している。又、『香蘇山館詩』(写)には、「明治三十七年甲辰九月上浣借陶菴氏所蔵本随読随抄得五百五十二首外有序詩一首蘭雪面目概略可観子所謂一匹雲錦今截其幾尺来／碧澗草堂主人記」と奥書し、『洪北江詩』(写)にも、「明治乙巳(三十八年)夏秋之交借閣本北江全集闕読之余抄録成卷它日重興船山雨当二集參觀応有例蔗之味也重陽前二夜燈下碧澗主人識」と奥書に書写の事情を記述している。

『霜堤葦響』(刊)の奥に、「明治二十年十一月録于東京寓舎晚生高島張拜具」と記している他は、『東矣吟』(写)に「明治壬辰(二十五



高島張輔氏蔵書印記

年)七月初五借内閣図書臨摹廿四畢功九峯生張甫」、「無声詩話」(写)に「明治壬辰榴夏騰写東京厲齋九峯生張」
『蘇詩鈔』(写)の奥に「明治甲午(二十七年)十二月十日始写明年乙未二月十五日畢功廿二日装釘九峯生識」、「
雪磯叢稿』(写)に「右古風一編秋月氏所藏旭翁選本補入ノ丁酉(明治三十年)立春後三日東京永田官慮東軒九峯
張」、「忠雅堂詩抄・兩当軒詩抄」(写)には「明治庚子(三十三年)春日借霜谷先輩所藏本鈔出百六十余篇仲則炳
蔚之文可窺其一斑也ノ九峰陳人手記」と秋月新太郎氏藏本を転写したことを記し、『敬業堂詩鈔』(写)に「明治三
十三年首夏九峰張手記」と、『古香庵絶句』(写)に「明治壬寅(三十五年)十一月借寺寄少雲氏所藏騰了此本市河
米菴翁遺物欄外三処有詩仏老人評蓋自書也ノ九峰張甫記」、「醒堂近稿』には「丁未(明治四十年)孟春ノ九峰誦」
『唐陽山人詩鈔』(大正十二年刊)の序には「大正壬戌(十一年)孟冬書于城北青原草廬ノ九峰高嶋張時年七十七
と記し、更に、『負劍録』(写)の奥書にも「大正甲子(十三年)八月初四連早得雨快甚ノ東京青山橋寓ノ七十九翁
九峰張」と記しており、九峰の号を好んで称している。

高島張輔旧藏本には近世の詩文集の多いということは既に述べたところであるが、それら漢詩文関係の蔵書につい
ては一々挙げることを差し控え、省略に従うこととして(寺内文庫蔵の漢詩文関係書は、次項でとりあげる石園佐藤
政一旧藏本を除けば、他はほぼ全て高島張輔旧藏本とみなしてよい)国文学関係のものを列挙してみることにする。

桂園大人消息(写)、三草集(文政10刊)、五十四番歌結(文化14写)、いほへなみ(文政2刊、碧澗草堂蔵印)、
紅塵和歌集(文化9刊、乾古堂旧蔵)、六十四番歌結(天保6刊、碧澗草堂蔵印)、類題武蔵野集(嘉永5・安政4
刊、碧澗草堂蔵印)、かたみの落葉(寛延1刊、碧澗草堂蔵印)、草根集(写)、類題草根和歌集(写)、つれく
草(寛延4刊)、土左日記考証(刊)、懷風藻(天保4刊)、和漢朗詠集(寛文2刊)

石園佐藤政一旧蔵 佐藤政一氏旧藏本は漢詩文関係の蔵書でほぼ占められている。しかも刊本である。

東野遺稿(寛延2刊)、葛原詩話(天明7刊)、五山堂詩話(文化4刊)、烹雜乃記(文化6刊)、詩聖堂詩集(文化7刊)、理齋隨筆(文政7刊)、鴨東四時雜詞(文政9刊)、近世叢書(文政11刊)、愛日樓文(文政12刊)、采風集(天保5刊)、夜航余話(天保7刊)、遠思樓詩鈔(天保8刊)、玉池吟社詩(天保10刊)、自画題語(天保10刊)、雲嶺樵響(天保10刊)、星巖集(天保11刊)、狂文あつまなまり(天保12刊)、紅蘭小集(天保12刊)、評點山陽遺稿(天保12刊)、続近世叢書(弘化2刊)、日本文鈔(弘化3刊)、慎夏漫筆(弘化4刊)、嘉永二十五家絶句(弘化4刊)、梅墩詩鈔(嘉永1刊)、浪華四時雜詞(嘉永2刊)、撰東七家詩鈔(嘉永2刊)、湖山樓詩鈔(嘉永3刊)、艮齋文略(嘉永6刊)、鉄研余滴(嘉永7刊)、学詩堂詩鈔(安政2刊)、安政三十二家絶句(安政4刊)、蒙葭堂雜録(安政6刊)、小竹齋詩抄(安政7刊)、詩本草(萬延1刊)、翠雨軒詩話(文久2刊)、盍簪社古文偶評(文久2刊)、雲如山人詩集(文久3刊)、鶴梁文鈔(慶応3刊)、南畝莠言(刊)、三養雜記(刊)、三家妙絶(刊)、柳橋新誌、漁洋詩話(天保4刊)、無声詩史、校正増注聯珠詩格、醉古堂劔掃(嘉永6刊)、陶靖節集、唐宋八大家文鈔、校正三体詩、宋三大家律詩、蘇文公文鈔、蘇文忠公文鈔、宋三家詩話(文化13刊)、一家詠物詩(文化10刊)、魏叔子文鈔(弘化3刊)

木村正辞旧蔵 万葉学者として、又、国語学者としても著名な木村正辞については、詳述する要もなからう故、簡明に記すことにしたい。氏は、文政十年(一八二七)四月六日に下総の国に生まれている。幼名は通称荘之助、字は埴満、号櫛斎・集古葉堂、伊能穎則・岡本保孝の門に入り、音韻学の考究に名がある。又、萬葉集に通じ、これに關する著述は多い(寺内文庫蔵書中にも、萬葉集美夫君志・万葉集書目提要・万葉集文字弁証等がある)。大正二年(一九一三)四月十四日に年八十七で没している。寺内文庫に収められている木村正辞旧蔵本は全て板本であるが、それには細字の朱でもって丹念に書き込みがなされており、諸本を集めた上で厳密な本文批判をし、それを基として訓

釈を考究したところの、氏の学問の一端を窺わせるものがある。なお、因みに、木村正辞の稿本・蔵書は東洋文庫にも多く蔵されている。

奥義抄（慶安5刊、鶴文庫旧蔵）、古今類句（寛文6刊）、萬葉考（天明5刊）、萬葉集傍注（寛政1刊）、萬葉集略解（寛政8刊、東溟堂旧蔵）、古今和歌六帖標注（天保14刊）、類題草野集（刊）、古事記伝（天保15刊）、源氏物語評釈（嘉永6刊）、大鏡（10冊本、刊、小沢文庫旧蔵）、水鏡（3冊本、刊、小沢文庫旧蔵）、増鏡（3冊本、刊、小沢文庫旧蔵）、十六夜日記残月鈔（文政7刊）

稲廬舎蔵書（朝田弓槻旧蔵） 朝田弓槻（由豆伎）は岸本由豆流の男で、名は由徴、通称権之丞、弓槻と号している。歌人、江戸の人、嘉永四年に年三十一で歿している。

伊勢物語（寛永6刊） 朱による書き入れがある。

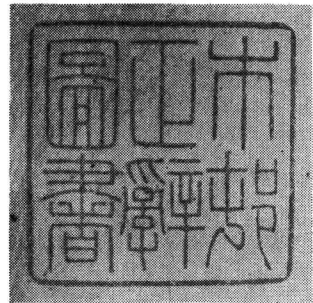
椿氏琢華堂圖書旧蔵 椿椿山は画家にして名は弼、字は篤甫、通称忠太、別号として琢華堂・休庵・春松軒・如虹をなのっている。画を文晁及び華山に学び、のち清人張秋谷の風を慕い、人物・花鳥・虫獸・山水を能くした人物である。安政元年に年五十四で没している。

全唐詩逸（文化1刊）

三縁山三中溪清涼室蔵縁山北溪義俊旧蔵 三縁山広度院増上寺の北溪義俊旧蔵

参考伊勢物語（文化14刊）

教授館旧蔵 教授館は、宝暦十年に藩主山内豊敷の創立した高知藩の藩費で、文久二年致道館創設によって廃されている。



木村正辞蔵書印

続太平記（貞享3刊）

近藤為光旧蔵 八代集抄（文政2刊）

大和文庫旧蔵 花月草紙（天保7刊）

大塚文庫旧蔵 唐物語提要

茂木文庫旧蔵 見聞軍書（寛文7刊）

横田溝口文庫旧蔵 唐詩選（弘化2刊）

古蒼楼文庫旧蔵 義経記（元禄15刊）

原沢子作・京石園旧蔵 類題叟玉集

紫橋園旧蔵 十訓抄（元禄6刊）

飛霞楊図書・勝斎氏旧蔵 源氏物語湖月抄（延宝1刊）

玉壺堂・藤本氏旧蔵 延齡松詩歌後集

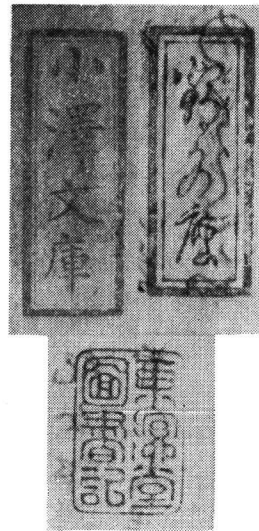
品川氏旧蔵 湖月抄（刊）

石黒氏旧蔵 栄花物語（8冊本、刊）

長谷川氏旧蔵 東坡策

岡村氏旧蔵 初学和歌式（正徳3刊）

日本の古典、殊に文学書に関しては、刊本がほとんどであり、注目すべき書どもはさほど多くはない。そこで刊本についてもとりあげ、以下ジャンル別に簡単に記すことにする。



蔵書印



歴史・歴史文学

籠頭古事記（元禄7刊）、訂正古訓古事記（享和3刊）、古事記伝（天保15刊）二部、大鏡（10冊本、刊）、水鏡（3冊本、刊）、増鏡（10冊本、刊）

物語・歴史物語

伊勢物語（寛永6刊）、参考伊勢物語（文化14刊）、宇津保物語（文化3刊）、源氏物語抜書（寛延3写）、源氏物語湖月抄（延宝1刊）、源氏物語評釈（嘉永6刊）、絵入住吉物語（宝暦9刊）、栄花物語（8冊本、刊）

なお、寺内家より山口県立山口図書館に寄託し、現在、県立山口図書館において保管されている寺内文庫旧蔵の図書の中に、賀茂真淵筆の落久保物語四冊がある。この写本は、宝暦十一年（一七六一）に賀茂真淵の書写になるもので、美濃半折、堅二五、八^{cm}×横一七^{cm}の袋綴の四冊本にして、本文は一面十行書きで、籠頭に注をかなり施している。真淵は、宝暦十年七月に「万葉考」を完成しており、その翌年にこの落久保物語を書写していることになる。本文墨付は、一冊目76丁、二冊目48丁、三冊目76丁、四冊目48丁であり、この本には「桜圃寺内文庫」の蔵書印の他に、「白河」「桑名」「楽翁文庫」の印記が存しており、それによって、老中を勤めた陸奥白河城主松平定信の旧蔵本であったことが知られる。因みに、定信は文化九年四月に致仕して、以後、楽翁と号し、文政十二年（一八二九）に七十二歳で没している。落久保物語には古写善本はほとんどいいほど伝えられておらず（九条公爵家旧蔵本は室町中期の書写といわれ、落久保物語の伝本中随一の古写本である）、この物語の研究は、近世にはいつて賀茂真淵がとりあげること始まっているとよい状態である。その意味で、この伝本は注目すべきものといつてよい。

更に、参考までに言い添えるならば、山口県立山口図書館蔵寺内家寄託本の中に、嘉永二年四月に三条大納言実萬の筆写になる一条兼良撰の「令抄」も伝えられている。この写本は墨付51丁の本で、「三条之印」「藤原実萬印」等

の印記がある。又、「白河」「桑名」等の印記を持つ「宋版星宝古帖」も寄托されている。

軍記物語・雑史

新板絵入保元物語（貞享2刊）、新板絵入平治物語（貞享2刊）、新板保元物語（元禄15刊）、新板平治物語（元禄15刊）、源平盛衰記（寛政8刊）、平家物語（寛永3刊）二部、平家物語（延宝5刊）、新板絵入平家物語（元禄11刊）、平家物語評林（15冊本、刊）、長門本印本平家物語異同考（写）、新刻太平記（天和1刊）、新刻太平記（享保7刊）、難太平記（貞享3刊）、義経記（元禄15刊）、義経記評判（元禄16刊）、信長記（寛永1刊）、続太平記（貞享3刊）、前太平記（刊）、前太平記図会（享和3刊）、後太平記（延宝5刊）、前々太平記（正徳5刊）、関西陰徳太平記（正徳2刊）、西国太平記（写）

説話集

宇治拾遺物語（万治2刊）、十訓抄（元禄6刊）、沙石集（貞享3刊）、唐物語提要（文化6刊）

随筆・日記・紀行

土左日記考証（刊）、枕草子春曙抄（延宝2刊）、紫式部日記註釈（刊）、十六夜日記残月鈔（文政7刊）、方丈記酒説（明暦4刊）、つれ／＼草（寛延4刊）、改正徒然草文段鈔（享保2刊）、燕石棟志（文化8刊）、秉燭譚（宝暦13刊）、花月草紙（天保7刊）、南畝莠言（刊）、烹雜乃記（文化6刊）、折たく柴の記（刊）、理齋隨筆（文政7刊）、三養雜記（刊）、鉄研余滴（嘉永7刊）、夜航余話（天保7刊）、愛日樓文（文政12刊）、兼葭堂雜録（安政6刊）、木曾路記（正徳3刊）、香国為政（刊）、熊野遊記名勝図画（寛政13刊）、都繁昌記（刊）、浪華四時雜詞（嘉永2刊）、養笠雨談（享和4刊）、慎夏漫筆（弘化4刊）

和歌

萬葉考(天明5刊)、萬落集傍注(寛政1刊)、萬葉集略解(寛政8刊)、萬葉集略解(32冊本、刊)、八代集(元禄9高野保春写)、八代集抄(文政2刊)、古今和歌集(弘化2刊)、古今和歌集遠鏡(寛政9刊)、頭書古今和歌集遠鏡(刊)、新古今和歌集(明暦1刊)、古今和歌六帖標注(天保14刊)、類題皐玉集(文化11刊)、類題武蔵野集(嘉永5・安政4刊)、類題草野集(刊)、古今類句(寛文6刊)

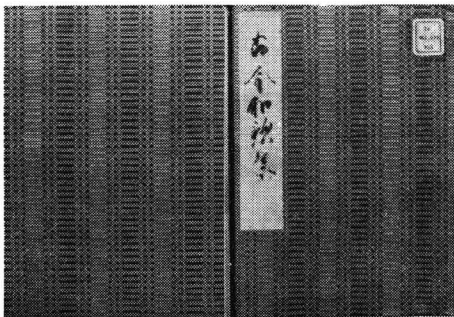
草根集(写)、類題草根和歌集(写)、明倫歌集(文久1刊)、類題風月集(刊)、恰野集(文化3刊)、うすこほり(天保3刊)、三草集(文政10刊)、延齡松歌後集(刊)、いほへなみ(文政2刊)、紅塵和歌集(文化9刊)行余集(慶応3刊)、名所今歌集(文化14刊)、無東西(文政3刊)

新百人一首(刊)、百首異見(天保6刊)、五十四番歌結(文化14写)、六十四番歌結(天保6刊)

奥義抄(慶安5刊)、和歌麈之塵(享和1刊)、和歌ふるのやまのふみ(刊)、細川幽齋公聞書(享保2刊)、初学和歌式(正徳3刊)、寄居歌談(弘化2刊)、桂園大人消息(写)、かたみの落葉(萬延1刊)

右の和歌関係の蔵書中で、注目すべきものとして、元禄九年八月の奥書を持ち参議藤原(高野)保春の書写になる「八代集」九帖を挙げ得る。この八代集は各巻同装の列帖装にして、堅二四、四cm×横一七、五cm。表紙は金欄の綾織を使用した布表紙であり、見返しには唐紙地に金泥・金銀切箔をもって雲霞文を描く。

いかにも公家本といった装釘を持つ。題籤は堅一六、五cm×横三、二cmの、金泥と金箔とを置く加工紙で、左上に帖る。本文料紙は、全部、布目の鳥の子を使用し、本文は一面十行書きを原則とするが、十一行の面もままある。歌は一首一行



高野保春筆八代集本古今和歌集(表紙)

書きで、全巻を一筆で通している。古今和歌集は十括から成る。以下、後撰和歌集は十括、拾遺和歌集十括、後拾遺和歌集十括、金葉和歌集五括、詞花和歌集五括、千載和歌集十括、新古今和歌集上巻七括、新古今和歌集下巻七括から成る。

この九帖を三段の引き出し付のいわゆる箆筒式の木箱に収めている（一段ごとに三帖を収む）。箱書に「八代集 高野保春卿筆」とある。新古今和歌集下の巻末に「元禄九年仲秋 参議藤（花押）」及び「元禄十三年三月上旬金紫惟庸」の奥書を持つ。（下の写真参照）

近世小説等

近世叢書（文政11刊）二部、続近世叢書（弘化2刊）、狂文あつまなまり（天保12刊）、勇士一言集（元禄10刊）、日本百将伝一夕話（嘉永7刊）、絵本太閤記（寛政9・享和2刊）、絵本楠公記（享和1・文化6刊）、絵本漢楚軍談（弘化2刊）、見聞軍書（寛文7刊）、中古正説碎玉話・続武将感状記（天保14刊）、諺草（元禄14刊）

日本漢詩文

懷風藻（天和4刊）、和漢朗詠集（寛文2刊）、本朝文粹（正保5刊）、文政十七家絶句（文政11刊）、天保三十
六家絶句（天保9刊）、嘉永二十五家絶句（弘化4刊）、安政三十二家絶句（安政4刊）、翠雨軒詩話（文久2刊）、
五山堂詩話（文化4刊）、夜航詩話（天保3刊）、葛原詩話（天明7刊）、遠思樓詩鈔（天保8刊）、梅壠詩鈔（嘉
永1刊）、学詩堂詩鈔（安政2刊）、湖山樓詩鈔（嘉永3刊）、山陽詩鈔（天保3刊）、撰東七家詩鈔（嘉永2刊）、
小竹齋詩抄（安政7刊）、春風館詩鈔（天保12刊）、常山文集（享保3刊）、紅蘭小集（天保12刊）、采風集（文化



高野保春筆本八代集奥書

5 刊)、星巖集(天保 11 刊)、徂徠集(元文 5 刊)、東海一瀛集(寶曆 12 刊)、日本文鈔(弘化 3 刊)(寬政 12 刊)、今世名家文鈔(嘉永 2 刊)、近世名家文抄(嘉永 2 刊)、詩聖堂詩集(文化 7 刊)、雲如山人詩集(文久 3 刊)、鶴台先生遺稿(安永 7 刊)、山陽文詩遺稿(天保 12 刊)、評点山陽遺稿(天保 12 刊)、東野遺稿(寬延 2 刊)、米菴先生百絶(天保 5 刊)、米菴先生百律(嘉永 2 刊)、米菴先生百古(嘉永 4 刊)、詠史絶句(安政 7 刊)、言志録(文政 6 刊)、産語(寬延 2 刊)、夜航余話(天保 7 刊)、玉池吟社詩(天保 10 刊)、自画題語(天保 10 刊)、良斎文略(嘉永 6 刊)、盍簪社古文偶評(文久 2 刊)、日本樂府(文政 13 刊)、鴨厓一日百詩(元治 1 刊)、鴨東四時雜詞(文政 9 刊)、浪華四時雜詞(嘉永 2 刊)、画餅居士鴨東雜詠(文政 9 刊)、林園月令(天保 2 刊)、香国為政(嘉永 6 刊)、詩本草(萬延 1 刊)、讀史雜詠(慶応 1 刊)、愛日樓文詩(文政 12 刊)、鉄研余滴(嘉永 4 刊)、拙堂文話(天保 6 刊)、慎夏漫筆(弘化 4 刊)、近世叢語(文政 5 刊)、雲嶺樵響(天保 10 刊)、訳準笈話(文政 9 刊)、鶴梁文鈔(慶応 3 刊)

中国文学

文章軌範纂評(安政 4 刊)、童蒙養正詩選孝服(共和 2 跋)、詩学円機活法大成(康熙 36 序)、魏鶴山先生渠陽詩(光緒 28 刊)、梧窓詩話(文化 9 刊)、漁洋詩話(天保 4 刊)、劉向說苑纂註、劉向列女伝、列仙全伝、校正箋註蒙求、劉向新序纂註、謝肇制塵余、佩文齋詠物詩選(文化 5 刊)、韻府一隅(文政 10 刊)、古文真宝叙、古文約選(雍正 11 序)、文選(明版、延陵李峻奎等印記)、無声詩史、題画詩類(天保 9 刊)、校正増注聯珠詩格、蕭鳴草、醉古堂劍掃(嘉永 6 刊)、頭字韻(天保 4 刊)、爾雅(郭璞註、邢昺疏)、詩經集註、官板詩經大全(承応板)、詩經(後藤点)、改正音訓詩経、改正音訓詩経(再刻、後藤点)、大字精校詩経集伝、王註楚辭(寬延 3 刊)、楚辭燈、陶淵明集、陶淵明全集、景宋本箋注陶淵明集(宣統板)、陶靖節集、古詩韻範(文化 9 刊)、晚唐詩選(文化 3 刊)、

瀛奎律髓（寛文11刊）、唐宋八大家文鈔、官板唐宋八大家文讀本（文化10刊）、唐宋八大家文讀本（文化11刊）、増評唐宋八大家文讀本（安政2刊）、韓昌黎集（萬治3刊）、寒山詩闡提記聞（延享3刊）、貴池唐人集（光緒板）、校正三体詩、李翰林集（宣統板）、李集札記（光緒板）、柳文（寛文4刊）、柳柳州文鈔、秋浦隻忠錄（光緒板）、李于鱗唐詩選（安永4刊）、唐詩選（弘化2刊）、書画本唐詩選、篆書唐詩選五言絕句（宝曆3刊）、篆書唐詩選七言絕句（宝曆6刊）、唐詩選掌故（明和5刊、葉玄之集註）、唐宋八大家文格（天保10刊）、御選唐宋詩醇（文久2刊）、杜工部詩集、官板杜詩偶評（享和3刊）、唐四家詩、校訂唐詩訓解、欽定全唐詩、全唐詩、全唐詩逸（文化1刊）、五朝名家七律英萃、范石湖詩鈔（享和1刊）、秘乃、陸放翁詩鈔（享和1刊）、放翁詩話（文化10刊）、放翁梅花詩、韓蘇詩抄（嘉永7刊）、劍南詩稿、劍南詩鈔、高青邱詩醇（嘉永5刊）、明詩別裁集、歐陽文忠公本鈔、宋三大家律詩（享和3刊）、三家妙絕（文化4刊）、謝選拾遺（嘉永2刊）、真山民詩集（文政8刊）、坡門酬唱（宣統板）、蘇文公文鈔、蘇文忠公文鈔、蘇長公合作、宋三家詩話（文化13刊）、宋詩清絕（文政8刊）、蘇詩雋、東坡先生古体詩、東坡策（天保8刊）、和靖先生詩集（貞享3刊）、一家詠物詩（文化10刊）、魏叔子文鈔（弘化3刊）、板橋集、敬業堂詩、甌北詩選（文政10刊）、趙甌北詩話（光緒板）、隨園詩話

朝鮮文学

梅月堂詩集、梅月堂文集、牧隱先生文集、白沙集（仁祖7刊）、月沙先生集（肅宗46刊）、栗谷全書（英祖25刊）、静菴集（純祖32刊）、慕夏堂文集（憲宗8刊）、寒山詩（咸豐6刊）、星湖集（哲宗8刊）、圃隱先生集、鳳棲集、綱堂集、瓊齋集、雲查集（石版）

文学書以外の和漢書（いわゆる和装本）の中にも、稀覯本類はさほど存していないが、それでも、その流布の現状

を考えて、注目に値するものが全くないわけではない。以下、比較的重要と思われる蔵書を、板本がそのほとんどではあるが、列挙してみることにする。

本朝儒宗伝（元禄3序）、鰲頭護法論（延宝3刊）、宗鏡録（寛文9刊）、新刻碧巖集（慶安3刊）、大慧書（寛永14刊）、四部録（慶安1刊）、夢中問答（寛永11刊）、永平広録（延宝1刊）、法海具観（延宝3刊）、中峰和尚広録（寛文13刊）、円覚疏鈔随文要解（元禄11刊）、禅家龜鑑（寛永15刊）、東海一滴集（宝永1刊）、大慧普覚禅師書抄（寛永11刊）、首書増補臨濟慧昭禅師録（元禄12刊）、宗門正燈録（寛永7跋）、伝心法要・黄檗断際録（寛文13刊）、法宝壇経肯綮（元禄10刊）、大慧普覚禅師書（寛永7刊）（寛永14刊）、大智度論（寛文1刊）、大乘起信論義記（元禄12刊）、科注妙法蓮華経（元禄4刊）、首楞嚴経合轍（寛文6刊）、禅林普濟禅師語録（元禄9刊）

家庭訓（正保2刊）、倭名類聚鈔（慶安1刊）、神皇正統記（慶安2刊）、読史余論（萬延板）、六国史（宝永6刊）、日本書紀（慶長15刊）二部、日本後記（寛永11刊）、続日本紀（明暦3刊）、日本書記通証（宝永12刊）、文徳実録（宝永6刊）、三代実録（寛文13刊）、保建大記（元禄2刊）、東鑑（寛文1刊）、新刊吾妻鏡（寛永3刊）、群中大略（写）

繪本百将鑑（慶長13刊）、諸家大系譜（刊）、豊臣秀吉譜（明暦4刊）、樵談治要（写）、皇朝資治通紀（元禄9刊）、朝鮮太平記（宝永2刊）、新編鎌倉志（貞享2刊）、本朝画史（元禄6刊）、本朝画印（元禄6刊）

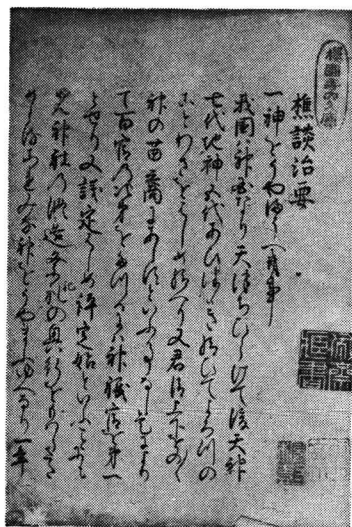
七書直解（寛永20刊）、武経開宗（寛文1刊）、六韜（慶長活字板）、有象列伝全伝（慶安3刊）、新刻皇明通紀統宗（元禄9刊）

官板書経大全（承応板）、官板易经大全（承応板）、官板礼記大全（承応板）、官板春秋大全（承応板）、老子諺解大成（延宝9刊）、漢魏叢書、武英殿聚珍版、御製淵鑑類函（唐熙板）、康熙字典（唐熙板）、欽定佩文齋書函譜

(康熙板)、論語註疏解經(光緒板)、論孟註疏(崇禎板)、十三經註疏(明刻本)、毛詩註疏(鄭氏箋、孔穎達註)、尚書正義(嘉業堂校刊)、尚書註疏(崇禎板)、十三經註疏(崇禎板)、周禮正義(鄭氏註、賈公彥疏)、儀禮註疏(鄭氏註、賈公彥疏)、儀禮章句(道光板)、春秋(宋本覆刻)、春秋公羊傳註疏(崇禎板)、國語(石印、朝鮮裝)、楞嚴經貫撰(善果寺板、乾隆重刻)、普濟玉林國師語錄(同治板)、華嚴論(萬曆板、華嚴經新論)、大乘起信論疏筆削記會闕(光緒板)、五燈會之(光緒板)、古文淵鑑(康熙板)、漢魏六朝集(明版、朝鮮油紙裝)、唐風集(光緒板)、資治通鑑(明版、「広運之宝」「金光遂印」の印記あり)、史記(斐嗣註、崇禎板、「李恒鎮」の印記)、史記評林(蘭室度本)、温公通鑑(川路正謨藏本)、通鑑紀事、陸状元集百家註資治通鑑詳節、漢書(順治板、「延安李存秀」の印記)、漢書評林(明曆4刊)、後漢書(崇禎板、汲古閣版、「光山金永員」の印記)、崇禎板、汲古閣版)、晉書(崇禎板、汲古閣版)、陳書(萬曆板)、梁書(萬曆板)、五代史(崇禎板、汲古閣版)、北齊書(崇禎板、汲古閣版)、劉宋書(崇禎板、汲古閣版)、隨書(崇禎板、汲古閣版)、北史(崇禎板、汲古閣版)、遼史(康熙板)、金史(嘉靖板)、元史(道光板)、元史紀事(宋元紀事本末、明刻本)、石鼓文積存(光緒板)、說文解字註(嘉慶板)、重定金石契(光緒板)、貴池県沿革表(光緒板)、三國志全図演義、月令広義(明刻本)

以上、比較的的重要と思われる蔵書名のみを挙げる形で、寺内文庫本の和漢書について紹介してきたが、右の中でも、次にふれる数点の書籍は特に注目してもよいであろう。

その一は、一条兼良撰の政道書「樵談治要」(写)である。



樵談治要 (巻頭)

これは、文明十四年七月五日義覚の奥書を持つ本で、群書類従本の原本にあたるものである。蔵書家として知られる青木信寅の旧蔵本にして、かつ重野安繹（成斎）博士伝来本でもある。表紙に「青木印」「成斎蔵書」の印記、本文墨付1丁目には「貞斎」「成斎蔵書」等の印記がある。料紙は楮紙、表紙も本文と同じ料紙であったが、後に改装し、濃紺無地の唐紙で後補している。 竪二七・八_{cm}×横二〇・〇_{cm}の袋綴本。本文墨付は27丁で、本文は一面十行書きである。虫損が少々あるが、全巻裏打補強している。表紙見返しに「類従は此本をもてうつしとりたるもの也、あはせ見て然ることをしるへし／十六年十月十三日信寅／（朱）外題と本文と一筆のやうにおもはる十一月五日」の付箋があり、更にもう一葉、十六年十月廿八日の日付をもつ信寅筆の付箋もあって、そこでは表題（題簽）は江戸中期の日蓮宗の高僧であった元政上人の書であることを記している。

その二は、「絵本百将鑑」（慶長十三年、京・山本板）で、竪二八・八_{cm}×横二〇・四_{cm}の折本であるが、本来は50丁の冊子本であったものを折本に改装したものらしく、したがって、表紙も原装ではなく、後補のものである。画面の面数は百面である。慶長十三年板の「絵本百将鑑」については、他に伝本のあることを知らない。

その三は、中国の兵書「六韜」（慶長活字板）六巻一冊である。これは竪二七・一_{cm}×横一九・二_{cm}の袋綴本で、巻一13丁・巻二7丁・巻三16丁・巻四15丁・巻五8丁・巻六10丁の計69丁より成る。匡郭は双边で有界、本文行数は一面八行十七字である。慶長活字板という触れ込みで、萬春堂より購入したものである。



絵本百将鑑（慶長13年版）

その他、木村正辞旧蔵の「諸家大系譜」（十四冊、二帙）は、天正十九年辛卯十月十日梵舜奥書本の模刻本であり、木村正辞による朱の書き入れが多くみられる。

同じく木村正辞旧蔵の「日本書紀」は、巻末に「慶長己亥（四年）姑洗（三月）吉辰／正四位下行少納言兼侍從臣清原朝臣國賢敬識／以勅本板行」の奥書を持つ慶長古活字本にして、十五冊本である。この伝本の他に、もう一部、寺内文庫には慶長板日本書紀が存している。この方は十冊本で「江風山月荘」「多福文庫」「精義塾章」等の印記を持つ。

その他、更に、嘉靖板の「金史」一二五卷二〇冊、万曆板の「華嚴經新論」四〇卷一六冊、同じく「陳書」三〇卷四冊、「梁書」五六卷八冊等の漢籍も注目してよからう。

以上、文学書を中心に、寺内文庫の和漢書について簡略な紹介を試みたが、それからも特に貴重な稀覯本はないといえるが、かなりの学術的価値を持つ書籍文献は多く、分量のみならず質的にも相当に評価できる蔵書群といつてかまわないであろう。

たとえば、詩文雑集・詩文雑書等の漢詩文関係の雑集は、その名は雑書でも、量は豊富であり、近世の文壇の実態を知る上では、かえって貴重な資料となるに違いない。いろいろの分野において、かなりまとまった収書がなされているので、これと同様のことは、他の専門分野においてもおそらくあるであろう。

寺内文庫朝鮮本・李朝文書について

國 守 進

すでに「成立」の項でふれたように、朝鮮関係図書資料が比較的多いことは本文庫の特色であり、それは「桜圃文庫ノ記」に寺内正毅が自ら述べるような、東洋思想への傾倒に由るところが大きい。彼は総督就任後、朝鮮の文物に関心を寄せ、積極的にその保存と調査を心がけた。「総督訓示案」に伝統を毀損変化させぬよう留意することを加筆訂正していること、警察部の組織を通じて朝鮮金石文の調査を行なっていること、あるいは著名な海印寺高麗版大藏經板木の修補、覆刻を行っていることなどは、彼の朝鮮文化への関心から、朝鮮古来の資料が総督府により公的になされる面のあったことを示している。それはともあれ、文庫所蔵資料が十分に調査され、今後の研究に役立てられることが望ましいことであって、小文はこのための基礎的な調査報告となることをはじめにおことわりしておきたい。

寺内文庫の朝鮮関係資料が最初に紹介されたのは、大正一一年の桜圃寺内文庫図書目録においてであった。このなかに朝鮮本四三二冊、簡牘法帖類一九一冊が収録されており、全部ではないがその記載が適確であることから、工藤壮平氏の助言があったことは間違いないところである。本目録は、終戦時の蔵書の混乱により、利用困難となった。のち山口女子短大移管後、NDCによる分類が試みられ、さらに昭和四〇年、田川孝三氏が調査を行なわれてその成果を「桜圃寺内文庫朝鮮本調査報告」（謄写印刷）に収められた。これには文庫所蔵資料のほか、山口図書館所蔵の

「詩書大全」「大学章句」などや中国本を含めて二七六部を収められ、今回のわれわれの調査研究においても氏の報告書に負うところは非常に大きかった。

四九年から、国守・熊本は朝鮮本を含めた和漢書全体について悉皆調査を行うことを計画し、原川・池田の協力を得て、和漢書一点一点について、寸法・丁数・序・跋・蔵書印・伝来などを調査したカードの作成を開始した。和漢書は量が多いため時間的に制約を受け、困難であったが、さいわい、五〇年度文部省科学研究補助金の交付を受けたため、調査を大いに進捗させることができた。その後、五〇年九月になって、これまでその所在がわからなかった李朝文書と対朝鮮信使奉呈文（宝暦年間）を発見した。李朝の古文書についてはお互い、門外漢で大いに困惑したが、末松保和・田川孝三・藤本幸夫の諸氏の御教示をえて漸く整理することができた。朝鮮関係資料を大別すると、冊本類・簡牘・法帖・拓本類・文書となろう。以上の項目について主要な資料を中心に述べることにしたい。

一 冊本

これは冊子本の体裁をなしているもので、刊本・写本とも含まれる。冊子本は便宜上・経部・史部・子部・集部に大別することができるが、経部・子部では「国朝五礼儀」など僅少であるため、史部・集部を扱うことにする。

〔史部〕

一、正史・編年類。まず「高麗史」一三七卷五四冊がある。世宗の命により鄭麟趾が編纂した高麗歴代の実録で、孝宗朝の刊行になるものである。また高麗史を編年体で叙述したものとして「高麗史節要」（補刊付録共、昭和七刊、「朝鮮総督府印」有）および、顕宗八年刊「麗史提綱」がある。このほか、新羅—高麗時代を対象としたものとして「東国通鑑」「東史会綱」がある。前者は五六卷二三卷、成宗の命によって徐居正が編纂した編年史で、新羅赫居世

から高麗共讓王までを扱い、後者は一二巻一三冊、高麗恭愍王までの編年史で、林象徳（老村、肅宗代）の著である。

高麗の顯宗時代以後李朝時代にかけて、各歴代の政令や事績の記録が編纂されている。これが実録であるが、これとは別に、李朝歴史を通じての事績で模範となるべきものを輯録し、後世の龜鑑にしようとしたものがある。これが「国朝宝鑑」で、李朝時代に数回編纂されたが、本文庫には、(1)六八巻二二冊、正祖六年（一七八二）刊行されたもので、既成の宝鑑のほか、定宗・端宗・世祖から英祖に至る宝鑑をまとめて編修したもの。(2)八二巻二六冊、憲宗の命により趙寅永らによって憲宗一四年（一八四八）刊行されたもので、正祖・純祖二代を続編している。以上の二種が蔵されている。

二、政法類。朝鮮における教旨・法令等に関するものを主とする。まず、朝鮮五百年の各種法令を編修した「大典会通」五冊、李太王二刊、同書を補う「六典条例」（一〇巻、李太王三刊）および純祖・憲宗朝（一八〇一―一四九）の上疏書啓を類編した「公車類輯」（八冊、写）がある。

「教諭」あるいは「倫音」としては、肅宗から正祖代にかけての濟州島（耽羅）関係のものが九点ある。これらは編修されたものではなく、個別のものであるから、文書類に属せしめることも可能であるが、刷本の形態をとっているため、ここでふれる。まず、肅宗代のものとして、(1)肅宗二五年、黃喜河が命を奉じて濟州旌義大靜耆老軍民閑良人に倫音を諭したものの。(2)同四二年、濟州餓死人処への祭文。英祖代のものは、(1)英祖九年、濟州大小耆老軍民への倫音。(2)同三九年、前御章甫軍民等への倫音。(3)同五〇年、濟州島民を賑恤する倫音（二幅）。(4)同五一年、濟州島民慰撫の倫音。正祖代のものは、(1)正祖五年、按撫御史朴天衡が濟州の邑父老民人に伝える倫音。(2)同二年、養老の宴を行い、農務の旨を主とし、小学・五倫行実・郷飲儀式・郷約条例の諸書を頒行するに際しての倫音。

三、地理・伝記類。地理関係のものは少く、慶州（東京）の歴史・文物を扱った「東京雜記」（三冊、憲宗一刊）、開城の地誌たる「中京誌」（一一卷六冊、哲宗六刊、木活字）のほか「華陽志」（六卷二冊、憲宗七刊、木活字）などがある。

伝記類としては、林慶業の事歴を記した「林忠愍公実紀」（八卷三冊、李太王二三刊、銅活字）、退溪李滉関係の「退溪言行録」「退溪先生文集」「退溪先生年譜」、中国朝鮮の書中から、忠臣孝子等を抜出して編修した「三綱行実図」（三冊、英祖六）と同書および「二倫行実図」を合わせ修正を加えた「五倫行実図」（五卷四冊、正祖二一）などがある。なお、ここで朝鮮関係の日本の書として、「朝鮮通交記」（一冊写）と「朝鮮国往還日記」（一冊写）をあげておきたい。前者は、対馬宗氏と朝鮮との通交を宗家歴代について略述したもので、文化二年、禪廓の筆写、宗家旧蔵本である。後者は、明治二七年、松本愛重が栗田寛に依頼して水戸彰考館本を筆写したものである。

〔集部〕

これは著名人物の詩文集が中心である。主要なものを掲げてみると次の如くである。新羅崔致遠の詩賦を集めた「桂苑筆耕（集）」（二〇卷四冊、李太王二〇）、東方理学の開祖たる高麗鄭夢周の「圃隱集」（三冊）、高麗李穡（穎叔）の遺稿集たる「牧隱集」（五五卷二五冊）、李珥（一五三六―一八四）の詩文を合編した「栗谷先生全書」（英祖二五）、李恒福（一五五六―一六一八）の「白沙集」（一二卷一〇冊、仁祖七）、李廷龜（一五六四―一六三五）の「月沙集」（七五卷二二冊、肅宗四六）、金忠善「慕夏堂集」「慕夏堂実記」（三卷一冊、憲宗八）、金尚憲（一五七〇―一六五二）「清陰集」（四〇卷一四冊、李太王一二）、許穆（一五九五―一六八二）の全集「記言」（九三卷二五冊）、安鼎福「順菴先生文集」（二七卷一五冊、光武四刊）、朴珪寿「礫齋集」、趙光祖「靜菴集」五卷、金時習「梅月堂詩集」（二冊昭和活刷）、李自白「同春先生別集」四八卷二六冊・李太王一七、曹夏望「西州集」、李義

立「求忠堂先生文集」二卷一冊、李太王二一、李晚用「東槩集」四卷二冊。隆熙三、徐応淳「狗堂集」四卷二冊・金允植寄贈、金允植「雲叢集」一六卷八冊。以上の諸本のほか、「資治通鑑」「漢魏六朝集」「文選」「十三經注疏」などの中国本がある。(史部・集部の分類は朝鮮総督府「朝鮮圖書解題」(大正八)によった)

以上簡単に冊本の内容を紹介したが、次に文庫所蔵高麗版大藏經大正新摺本作成の経緯をみておきたい。

伽椰山海印寺(慶尚南道陝川郡)に蔵される高麗版大藏經板木のこととは夙に著名であるが、これが最初に精査されたのは寺内総督の時代である。彼は大正三年、経板の調査を命じ、総督府参事官室の小田幹治郎らは海印寺で調査を行った結果、現存経板八一二四〇枚、欠板一八枚であることが明らかとなった。寺内氏は同寺の経板を補充して新たに印刷し、京都泉涌寺に納め、もって明治天皇の冥福を祈ろうとしたのである。印刷に必要な板・紙・墨など資材はすべて朝鮮において調達し、印刷職工も京城・大邱・陝川郡内から起用した。そして四年三月十五日から六月二日にかけて各三部(一部折本六八〇五冊六六三帙、二部綴本各一一六〇冊)を印刷し、折本一部を同年一月三日、泉涌寺に奉納したのであった。現在、本文庫に所蔵されている新摺本としては、「大藏目録」三卷一冊、「大唐西域記」一二卷二冊、「新集藏經音義隨函録」三〇冊、「開元釈教録」二〇卷五冊、「四十二章經」折本一帖、「仏垂般涅槃略説教誡經」二帖、「大般若波羅蜜多心經」一帖、「金剛般若波羅蜜經」一帖、「唯識三十論頌」一帖、「大乘起信論」三卷三帖、「大般涅槃經」三帖などで、これらは正式に印刷された三部以外の別刷りのものである。(小田幹治郎「高麗板大藏經印刷顛末」大正四)

二 法帖・簡牘・拓本

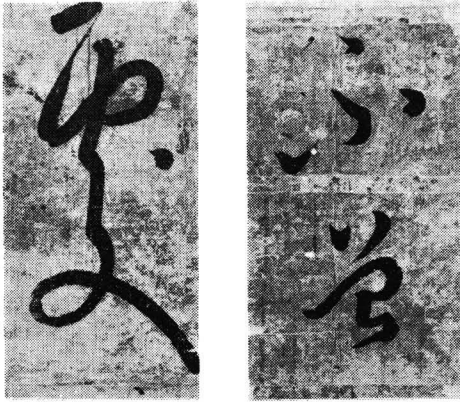
朝鮮および中国の法帖・簡牘を比較的多数所蔵することは寺内文庫の特色のひとつであり、その数は一四四部二二

二帖に及んでいる。古来、朝鮮では名賢・文人の書を珍重し、これを集めて帖に貼り付け鑑賞する風が盛んであった。これが簡牘帖でわが国の手鑑の如きものである。文庫所蔵朝鮮本および古簡牘の評価については、朝鮮本は高麗本が多く、簡牘も新羅時代から李朝にかけての貴重な墨蹟・書翰が多いとされている。しかしながら、冊本は李朝の新しいものが大部分であることはさきに指摘した通りである。では簡牘類はどうであろうか。

まず、三国時代の墨蹟としては、金生・崔致遠がある。金生（新羅聖徳王一〇―元聖七）は新羅屈指の名筆であるが、現存するのは金石文・榻本が多いようである。崔致遠（憲安王元―神徳王四）は慶州出身、幼くして唐に留学し、帰朝後、官仕せず海印寺に住した。新羅三文章の一人と称せられ、書にもすぐれていたがその真蹟は稀であるといわれる。

金生の墨蹟は「海東名筆」（白月碑榻本貼込）、「海東筆藪」、「翰墨清玩」（乾坤）、「名賢簡牘」（二二巻）―(A)、「名賢簡牘」（二一巻―(B)、「波斯市」などにみえ、崔致遠は「名賢簡牘」(A)などにみえる。一般的にいつて、手鑑・簡牘類の信憑性については多分に疑点のある場合が多い。しかし、朝鮮古簡牘について判別する能力は私にはないので、私なりに疑点を感じた点のみを指摘したい。

「名賢簡牘」(A)(B)に収められた金生の書は写経（黒紙銀泥）である。両者を比較検討してみると、全く同じ写経から切り取られたものであることがわかる。また台紙の仕立て方や、新しさなどからみて、(A)(B)とも殆んど同時に簡牘帖として仕立てられたことが推測されるのである。金



崔致遠（名賢簡牘）B

生の書が比較的新しい時期に二冊の帖に切り取って貼り付ける程残されているものであろうか。

以下主要な簡牘を中心に報告する。

(一) まず、歴代名筆の墨蹟を集めたものであるが、文庫所蔵簡牘帖では、この種類のものがままとまっている。さきにふれた「名賢簡牘」は最も大部なものである。同(A)は一二冊(子一亥)より成り、子一新羅時代、金生・崔致遠、高麗、申德隣・閔思平・鄭夢周・鄭道伝・李種徳・元天錫・李瑋。丑一李朝世宗代、黄喜・柳寛、文宗代、洪応・朴寅亮、端宗代、朴彭年・金宗直・成三問、徳宗代、李安柔、成宗代、南致元・曹偉・金宏弼。寅一中宗代、趙光祖・梁山甫・金正国・李滉・李鐸・李承孝・成守琛・李湛、明宗代、金玄成、金偉。卯一明宗代、申夫人(李珥母)・韓護・李山海・曹植・宋翼弼・楊子彦・柳恒・李忠元・辛応時・李達・高応陟。辰一宣祖代、任惟政・李恒福・李好閔・朴致道・李彦英・李舜臣・柳舜翼・崔景昌。巳一宣祖代、李尚真・韓孝仲・成渾・趙翼、仁祖代、金澄・蔡聖龜・洪処亮・鮮干浹・李弘淵・吳斗寅。午一孝宗代、南九万・沈益顯・宋時烈・李震白・李秀彦、顕宗代、金守杭・金相爾・金茂沢・尹堦・申録・李東漫。未一孝宗代、金寿恒・鄭知和・李敏叙・李觀徴・尹集・金禹錫・南二星・呂聖斎・李瑞夏。申一肅宗代、朴文秀・李敏樹・申鐔・李海朝・金喜沢・英宗代、李宜・李在寛・孟曹瑞・李重祚。酉一英宗代、鄭弘淳・曹夏望・申光健・洪啓禧・金相真・鄭羽良。戌一英宗代、洪鳳漢・黄景源・朴相徳・李頃・李寿鳳・李宇夏。亥一仁祖代、洪翼漢・洪履祥、明宗代、金綏、正宗・純祖代、鄭晩錫・趙斗淳・金正喜。

申德隣 (名賢簡牘) A

以上は(子一亥)各巻の主な人物を抄出したものであ

り、「名賢簡牘」(B)もほぼ類似した内容なので省略する。この「名賢簡牘」(A)の伝来については、卯巻に挿入された紙「正宗大王外祖洪鳳漢四代孫洪承旨家所藏之伝来物耳」が参考となろう。洪鳳漢は号を翼々斎と称し、英宗代、議政府領議政になった人物で、名筆としても知られ、その筆蹟は「戍巻」に収められている。四代孫洪承旨は不明であるが、あえて推測すれば、憲宗―哲宗代の洪世変ではないだろうか。いずれにしても本簡牘の伝来は一応確かなものといえる。これが寺内氏に帰した経緯については「子巻」に挿入された次の紙片が示唆的である。「本物主人許以八十円今纔承諾然拙者無小利也、幸須俯諒伏望耳」。

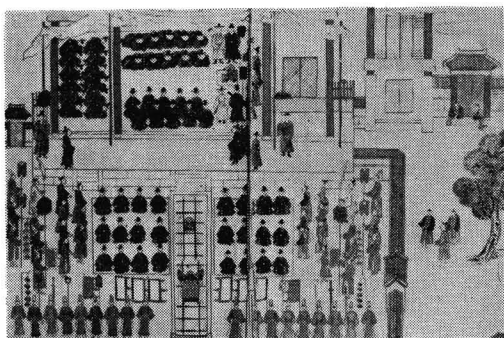
ところで、同簡牘「丑巻」に収められている端宗代の金宗直の書および「巳巻」所収、仁宗代の鮮干浹の書は、いずれも絹本を台紙に貼り付けたものであるが、筆蹟が台紙にはみ出るといふ失策をおかしている。つまり、何も書かれていない絹本を切つて台紙に貼り付けたのち、これに墨書しているのであって、後人の書であることは明らかである。

右のほか、主な簡牘としては、洪公慶・李芝峯・申公濡・李公竣・李公德の書を集めた「朝鮮名家真筆」一帖、李晩秀・徐邁修・洪義浩ら純祖朝の名筆を集めた「筆藪」一帖、朴道源・金誠一・金正国らの「海東古簡牘」一帖、鄭昆寿(栢岩)・禹性伝(秋淵)・金応南・曹好益(芝山)の「海東名筆」一帖、金生・斐大雅・洪重晋・呉竣・李杏村の「海東筆藪」一帖、新羅金生以下李朝に至る四五名の「翰墨清玩」乾坤、沈守慶・金玄成・李好閔・洪履祥ら一六・一七世紀官人の「翰墨林」三帖、成三問・李世昌・成守琛らの「簡帖」一帖、李元翼・金集・尹昉・姜碩期(月塘)ら一七世紀文人の「簡牘帖」三帖、金若魯・洪樂性・申緯・李信敬・李亨元の「簡牘小集―錦南山房藏帖」、奇大升・鄭南谷・南宜拙(二星)・閔老峯・李大用(梅岩)の「古簡帖」三帖、李明漢・李一相・李啓・李殷相・李弘相の「古簡書」二帖、金寿恒・宋俊・李瑜らの「古牘」一帖、李慶億・金在魯・姜判書らの「古簡帖」。金生・元天

錫・吳億齡・成三問の「波斯市」一帖、李尚毅・金世弼・鄭琢・安平大君の「先賢遺墨」一帖、尹煌・金誠一・趙憲・李希韻など一六・一七世紀名筆の「先賢簡牘」、李兆年・成三問・楊子彦の「東國諸賢遺墨」一帖、尹斗壽・李安訥・李恒福・崔鳴吉ら一六世紀名筆の「摸霞帖」一帖、一八・一九世紀の比較的新しい名筆集としては、石陽正・宋民古・洪御龜（子徵）・曹世傑（真宰）・金弘道（士能）申緯（紫霞）らの「烘雲堂帖」一帖などがあげられる。総体的にみて、これら簡牘帖の作成は台紙からみて新しいものが多く、また収められた墨蹟にもやはり疑問の残るものが少なくないようである。たとえば、「翰墨林」所収の黃喜老・尹深の書蹟、「古簡帖」所収の姜判書の書蹟などには明らかに絵取った跡が認められるのである。同様の絵取りは「簡牘小集」や「古蹟」にも明らかに看取できる。後人の模写については、既に田川孝三氏もその調査報告書で指摘しておられるところであり、私が確認しえた点を少しあげたわけであるが、文庫所蔵簡牘が必ずしも真筆ばかりの稀覯本ではないことを示すものである。

(二) 次に特定の事項についての詩帖がある。「戊辰朝天別章帖」三帖は、仁祖六年（一六二八）、明徽宗即位の陳賀副使となった閔聖徽への送別詩帖で、李好敏・申欽・李廷龜・金青陸・尹河浜・李蒼名らの詩を収める。閔聖徽は、のち仁祖二五年（一六四七）、謝恩副使として北京に赴くが、その際、尹新之・金寿賢・李浪浪・朴聖賢らが彼に送った詩帖が「丁亥赴燕別章帖」（二帖）である。「北征贈言」（一帖）は、宣祖三八年（一六〇五）、咸鏡道觀察使李時発の赴任に際して、李廷龜・吳億齡らが送った詩帖である。李廷龜は李朝中期の四大家の一人として知られ、その文集「月沙集」は冊本「集部」でふれた。「鳳山別帖」（曹命教・尹得雨）、「別章帖」（仁祖二四、宋賛・趙錫胤・楊万古）、「咸宮別章帖」・「別章帖入竹里休沐就江為任所贈以一律」（金履生・李晚秀）もそうした送別詩帖である。

簡牘類は李朝後期のものが多いが、領議政黃瑾の「西潭公西征録」は秀吉の朝鮮進攻後、明に使した時（万曆二



丁丑入学図帖

七、西暦一五九九)の詩帖で比較的早い時期のものといえる。「竜湾勝遊帖」(一帖)は景宗三年(一一七三)、趙泰億(謙齋)・李真儉・権益淳・李弘模・李時恒が竜湾(平安北道義州)の統軍亭・九竜亭に清遊した際の詩帖で、絵三幅も収める。

次に、英宗の命による作詩帖として、「応製襖帖」一帖・「九醜八珍」一帖・「諸臣製進」一帖がある。「応製襖帖」は英宗六年(一一七三〇)王の入診後、承政院に題を与えて作詩せしめ、一位になった趙顕命を賞したものである。「九醜八珍」は二八年(一一七四六)、王の病平愈の祝宴を王妃徐が催した時の御製と趙顕命の詩を収めたもの。「諸臣製進」は同三六年(一一七六九)濬川堂にて右議政閔百祥・金漢考・李昌諲らに作詩せしめた際のもので彩色図あり、格調高いものである。こうした王家に関するものとして、時代は降るが「丁丑入学図帖」(一帖)がある。これは純祖一七年(一一八一七)、純祖世子(のちの翼宗、純祖九年誕生、同一二年冊封王世子)が一七年(丁丑)八才で就学した際の議式記録で詳密な図を伴う(「濬源系譜」)。

がんらい、中国や朝鮮においては書冊尊重の結果、文書が軽視され、近時、文書の重要性が認識されて紙背文書が注目されつつあるといわれる。紙背文書が価値を持つのは、何よりも、それが廃物として利用されたことから生ずる信憑性であろうか。文庫所蔵簡牘類にも数は多くないがこうした紙背文書を見付けることができた。それらは管見の限りでは李朝末期の新しいものが多いようで、公文書のほか若干の私文書、冊子本などが含まれている。二、三例示すれば次の如くである。

「白下帖」紙背

(1) 牙山県公兄文状

右伏準為白内等本県監主受由上京教是白遣即到使道主甘結内節該以本邑禁衛管納壬戌条移劃米一百石
相左事惠庁公文受□□等以宣惠庁題辞考還次粘後上送縁由文状馳告為白遣右味伏乞」
行下向教是事

兵使道主 処分

同治三年四月十八日 文状

(2) 庇仁県監為考還事本県壬戌条禁衛管納結作米「」七十三石七斗六升上納後尺文今已下米故考還次粘後
「」上使為臥乎事合行牒呈伏請」

昭驗施行須至牒呈者

右牒 呈

兵 馬 節 度 使

同治三年六月初八日行県監朴 考還

「東国諸賢遺墨」紙背

本邑管吏金文浩立番次星火起送之意今月初三日有所発関牟為」日已久尚不來現揆以下習万々無嚴這間委
折星火查報之意奉」分付発通

丁未八月十四日発通和順

為起送事本府管吏鄭知守立番次到関即時知委起送事」 八月十五日発関長城府

為星火舉行事宮門到任狀啓及京各司騰報書目今月十三日受」納之意汝矣等処捧傳音出給矣過限已為多日
尚不來納揆以拳」行稽緩莫甚為先付過是在果同書目不日內星火來納俾無罪」上添罪之地宜当者

丁未八月伝令靈公兄処

「古簡帖 第一」紙背

(1) 幼学鄭弘淳年二十三癸酉本東菜居東面水冷川里

小学第五卷自大將至如此粗 (手決)

(2) 惶恐伏地問

安為白乎弥

書房主晷衷間不勝驚惶之至伏未審此時

大衙氣体候暨

内衙門 安連得安寧教是而

書房主氣体候亦為挾支若何是乎喻伏慕区々無任下誠之至小人姑保昔様而以迷子身」病跨年泪没未即修告

不勝罪味是乎弥」案前主華盖南臨昼宵願祝縁由詮次告課。

庚子七月初七日 小人千石秋告目

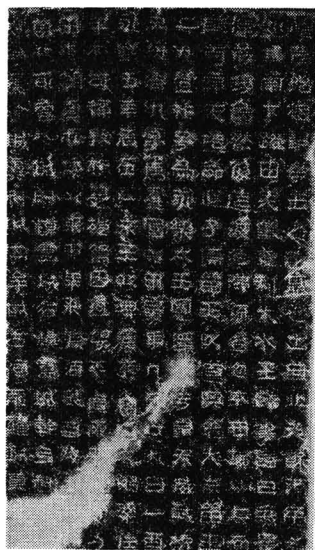
(注) 古簡帖紙背(1)の鄭弘淳は字數、号飽泉、英宗時代、六曹判書に至った人物で、その墨蹟は「名賢簡牘」(A)西巻にみえる。癸酉年は英宗二九年(一七五三)である。

なお、簡牘では、「聴松先生真筆」(成守琛)、「同春簡帖」(宋浚吉)、「益齋月落帖」(李斎賢)、「玉洞書帖」(李淑)など個人の筆蹟帖・法帖もあるが省略する。

拓本では、「白月禪師碑」の如く、法帖の形式をとったものが若干あるが、一枚物が主である。まとまったものとしては、黄海道の海州古蹟保存会が刊行した「広照寺碑」(清泰四)・「梵字六角塔碑」・「芙蓉堂記扁額」・「百世清風並碑陰碑」・「海雲亭捷勝碑」(崇禎三)がある。布拓としては、奎章閣提学俞彦鎬の「慶興府赤島紀蹟碑」が、木版刷としては「蔚山雲興寺仏画」(康熙一七)がある。しかし最も注目されるのが「高句麗広開土王陵碑」拓本であろう。今、この拓本を詳細に検討する能力は持ちあわせていないが、こころみに、李進熙氏が「広開土王陵碑研究の現状と課題」(歴史学研究四一〇、昭和四九)において、拓本によって異なる顕著な箇所としてあげられた部分(四二頁)について、本拓本を検討してみると、内藤拓本へ総督府拓本グループが最も近いことが知られる。さらに一面六行一四・一五字では総督府本に近く、一面八行一二字は内藤拓本へ内藤写真グループに、八行一六字および一行二三字は内藤写真に最も近いことがわかる。同氏「広開土王陵碑の研究」(増訂版)資料編の拓本では、しいていえば総督府拓本に近いといえるが、縮刷のため細部は比較が困難であり、なお検討されねばなるまい。いずれにしても、本拓本は明治末へ大正期の拓本であり、今後の王陵碑研究に資することが期待される。

三 文書

寺内文庫所蔵の文書は目録に収めるように、すべて李朝文書、しかも後期一七―一九世紀のものが大部分である。

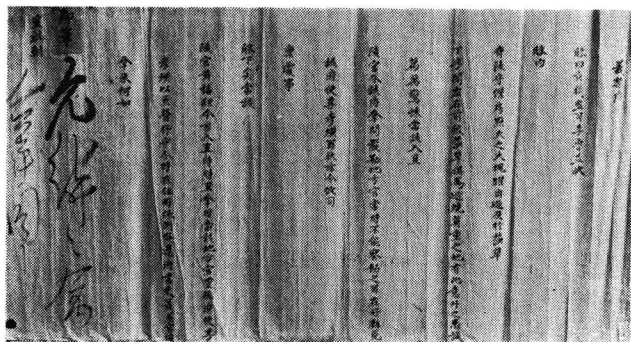


広開土王陵碑 (第1面上部)

朝鮮の古文書の残り方としては、三国時代は皆無にひとしく、高麗時代も稀少である。李朝になると増加するが、それでも前期の文書は、一六世紀末一七世紀初めの秀吉の侵寇や国内の混乱で湮滅著るしく、後半期になって漸く伝存するものが多いというところであろう。現在、韓国国立中央図書館、ソウル・高麗・延世各大学校などで積極的に収集整理が続けられ、その数はソウル市内の公共機関の所有のみでも一七万点に達しているといわれる。わが国においても東洋文庫・天理大学付属図書館・京都大学をはじめとする諸施設でも相当数の文書が所蔵されており、河合文書（京大付属図書館蔵）のように万暦以前の文書もかなり収蔵されている（藤本幸夫「河合文書の研究」朝鮮学報六〇、昭和四六）。したがって李朝後期の文書は別に珍しいとはいえないであろう。しかしながら、朝鮮（少くとも大韓民国）における古文書学の研究や古文書の本格的収集がなされるようになるのは朝鮮動乱を契機とするのであり（金東旭「古文書の様式的研究序説」）文書の時代性を云々するよりも、まず文書自体の調査収集、紹介が必要とされる段階にあると考えられる。

文書個々の史料紹介はいずれ稿をあらためて行いたいと考えているので、小文では主要文書中心に簡単な紹介・解題を試みるにとどめたいと思う。

教旨・録券・教書 教旨は国王から臣へ賜う文書で、官員任用の辞令書（告身）である。教書は国王から臣への訓諭文書である。録券は国王から功臣に対して録を頒給する文券で「科録票」と同義である。当文書グループについては、姜世晃・曹錫輿・曹慶承・朴鐘淳・永元父子に関するものがある。姜世晃は都憲管や五衛の副司直などを歴任した上級官人であるが、彼に関するものは乾隆四八―五五年にかけての四点が残っている。曹錫輿については、道光二六年（一八四六）彼の進士入格の告身（白牌）がある。彼はのち同治八年（一八六九）「黄海道觀察使兼兵馬水軍節度使巡察使海州牧使」に任ぜられたが、その際彼を励ました高宗（李太王）の教書が存する。曹慶承は光緒一年（



啓 (宣祖朝)

一八八五) 平安道永柔県令に至った官人であり、彼に関する文書は同治六―光緒一一年にかけて九通がある。
 朴鐘淳・朴永元父子の祿券(正祖一八・憲宗一二)は、生蟹・葦魚を給与するもので、朴永元は提学に至った官人である。両名に關してはこのほか「戸口单子」があるが後述する。

啓 前述の教旨等が国王から臣へ下されるものであるのに対して、臣から諸種の政務に關して国王に上奏する文書が「啓」である。啓には「直啓」「密啓」「抄啓」など各種があるが、特に上覧に供する啓を「啓本」と称する。文庫所藏啓のうち、最も古いのは宣祖朝(一五六八―一六〇八)の義禁府の啓で、齊陵守(齊陵は太祖妃韓氏の陵)の失火についての措置を乞うたものである。他の八点は純祖朝(一八〇一―一三四)のもので承政院の高官(副承旨・右議政など)の欠勤願の如きものが主であるが、金学淳・李勉求・李止淵・朴周寿などの名前がみえており、これら啓の多くが純祖一七、八年頃のものがあることが知られる。以上のほか、哲宗・高宗代の啓本が所藏されており、目録補遺に収めたが簡略に過ぎたのであらためてここに掲げて置きたい。

- (1) 行咸鏡道觀察使兼都巡察使尹定鉉啓本 咸豐元・一二・一六。
- (2) 全羅道觀察使金声根五月令退封景慕宝薦新上啓本 光緒九・五・一四。
- (3) 全羅道觀察使金声根五月令宗廟景慕宮薦新進上啓本 光緒九・五・一四。
- (4) 仮承旨楊州牧使朴鼎和陵園所丁字閣奉審啓本 光緒一〇・二。
- (5) 行判中樞府事兼水原府留守摠理使金弘集六月十六日月食值雲暗不得図画啓

本 光緒一五・六・一七。

- (6) 忠清道觀察使兼巡察使宋世憲慶科增監試右道開場試取啓本 光緒一七・二・二五。
- (7) 全羅道觀察使兼兵馬水軍節度使巡察使全州府尹閔正植、三月五日全州府乾止山看審啓本 光緒一七・三初五。
- (8) 行三道陸軍統禦使朴齊寬慶科增東堂文科初試開場試取啓本 光緒一七・三・初七。
- (9) 廣州留守兼南漢守禦使金奭鎮四月十八日月食不得凶画事 光緒一七・四・一八。
- (10) 平安道觀察使兼巡察使管餉使閔丙奭月食食體陰雲蔽天不得凶画事 光緒一七・四・一八。
- (11) 京畿觀察使都巡察使趙秉式四月二十日月食值雨下不得凶画啓本 光緒一七・四・二〇。
- (12) 忠清道觀察使兼水軍節度使巡察使公州牧使宋世憲、永春居良人尹聖福妥朴召史依一胎三男事賜米啓本 光緒一七・四・二九。

解由・差帖 解由(書・状)は日本の律令制における解由と同義で、官吏交替時にその管掌した物品の収支明細を記し、後任者が証判を与える仕組みであり、「解由移関式」と「解由牒呈式」より成る。

写真は成豊一〇年(一八六〇)黄海道安岳郡守であった朴道彬交替時の解由書で、規定通り、郡内生産物・税高等を記した粘連文書である。「黄海道觀察使」の朱印が捺されている。

「差帖」は下吏を任命する辞令書ともいうべきもので、光緒二年(一八七六)、吏曹の差帖一通のみ伝存する。

所志・供招 所志は訴訟状で「民↓官」の私文書の性格を有している。



解由(成豊10)

まず所志のひとつとして、朴始榮が先山（祖先の墓）が金哥に侵害されたことを訴えた「山訟」（墓地についての訴訟）がある。本文書に名を連ねた同族のなかに朴鐘淳が居ることから、己未年が嘉慶四年（一七九九）であること、本文書が教旨や後述の戸籍にみえるのと同じ朴家の文書群に属することが知られる。「供招」は供述・弁明のことで、文書端裏の「招記」も同様の意味であろう。供招は、初招・再招・三招と次々に提出されるものであって、初招―五招まで伝存する。このうち五招に「権詹年六十五」とあり、初―四招は記名がないが、初招に「年近七十死期將迫」とあり、内容も忠清北道清州におこった事件に関するものであることから、すべて権詹の供招であることは間違いない。この事件は、「李朝実録」卷一六によれば、英祖四年（一七二八）三月、清州の権瑞鳳・李麟佐の党が清州營府を攻め、節度使李鳳祥・營將南延年らを攻殺した事変であって、当時監司（觀察使）であった権詹が出兵してこれを助けなかったことからその罪を問われ、弁明を行ったものである。権詹の供招は五―六月のものであるから英祖四年のものであろう。結局彼は有罪となり、同六年五月刑死してしまうのである（李朝実録・卷二六）。李朝においては、宣祖朝の東西人の対抗以来党争が絶えなかった。英祖の時代も老論・少論兩派の抗争が激しく、肅清がくり返された。清州の事変も、もとはといえば党争で誅された金一鏡の子金寧海が李麟佐らと結んで巻き返しをはかったクーデターの一環であった訳で、「権詹供招」は英祖朝党争の史料として注目すべきであろう。

戸籍・量案 戸籍は、後掲目録で戸籍単子としたが、正確には「準戸口単子」と呼ぶべきで、式年に戸口を申告した単子であって、康熙四四年（一七〇五）から道光一七年（一八三七）までの六通を存し、「漢城府印」を捺す。いずれも次の朴家歴代の単子である。

朴聖漢——朴光秀——朴春榮——朴鐘淳——朴永元

景案は「（京畿道）長湍府津東長西長北西道東道等面所在朴判書宅奴順泰改良田案」（乾隆二四）、すなわち、朴



放売明文（康熙36）

判書所有田畠の調査書で徴税を目的とする。本量案の朴判書であるが、その所在が長湍府（開城の東方）であることから考えて、右に掲げた朴聖漢家のものではあるまいか。年代からみると朴春榮が該当するが明らかにしない。

和会文記・明文 和会文記は田畠奴婢等財産の分割譲与の証文であって、「分衿文書」とも称される。「辛巳十月日同生和会文記」とあり、「同生」は「同姓」で、朴家における財産分与の文書である。「明文」は証文のことであるが、文庫所蔵の明文一三点三〇枚は田畠（田は畠、畠が田の意）売渡の証文Ⅱ放売明文であって、年代は康熙十一年（一六七二）から光武三年（一八九九）にわたっている。

以上、主要文書について言及したが、最後に「日記」断簡にふれて本稿を終えたい。

この日記は、目録では仮りに「承政院関係記録」とした。これは内容からみて承政院での政務に関する記事が主であると思われるのでこの名称を冠したのであるが、末松保和氏の御指摘の如く、顕宗朝官人の日記断簡とするのが正しいであろう。本日記は顕宗五年甲辰（一六六四）正月一日から九月一〇日に至る日記断簡（形式は継紙巻物仕立）で相当の長さをもっている。日記の筆者は不明だが、推定の拠り所として次の紙背文書がある。

自罹荼毒

氣力何如伏乞

強加疏食俯從礼制續自前夏迄今春同氣骨肉七喪相繼邑民飢死殆一事可措修慰尚稽罪負平生無任下誠謹奉疏

伏惟

鑑察不備謹疏

壬子三月十四日

暮服人李縝

朴金城 進士 大孝 僉克前

これは壬子年（光海君五年、西曆一六一二）、暮服の人李縝が朴大孝に宛てた私文書で、朴大孝は進士で、僉克を僉使（僉節度使）とすれば朴大孝は三品相当の高官となる。この日記は顯宗五年（一六六四）で年代のへだたりが大きく、勿論同一人ではないが、あるいは朴大孝家の同類を想定することは出来ないだろうが、さらに推測を重ねるならば小文でたびたび言及する朴家とのかかわりを考えることができよう。

日記の一部を示すと次の如くである。

甲辰九月初九日政事

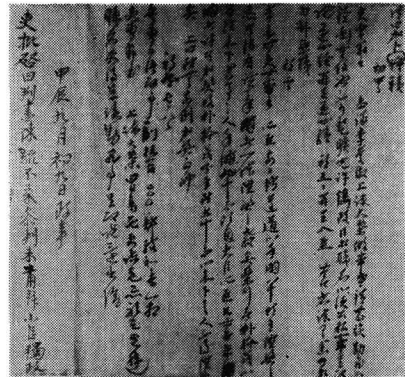
吏批啓曰判書陳疏不來參判未再拜小臣独政未安何以為之敢稟伝曰只出緊任

武兼 ○張文奎 趙宅俊 任国翰 ○林岱 韓国俊 李如海 ○趙之沈 沈景望 崔尚勳

○尹煌 崔致厚 (下略)

日記中には宋時烈・宋浚吉・鄭知和・李東稷・申濡・李弘淵など当時の最上級官人の名前が頻出することから、日記の筆者が政治の中枢に参与する高官であったことは間違いない。党争の激しい当時の政治状況を考察するうえで貴重な史料といえることができる。

寺内文庫朝鮮関係資料の概要は以上の通りであるが、最初にふれた通り、今回の調査はあくまで基礎的なものであ



顯宗朝官人日記断簡

って、不明不備な点も少くなく、今後の研究利用の段階で更に解明される点も多いであろう。李朝文書については稿をあらためて史料紹介を行いたいと考える。

主要参考文献

- 青柳南冥「李朝史大全」 朝鮮研究会 大正二二
朝鮮史学会「朝鮮史大系」 昭和二
呉世昌「疆域書画徴」 国書刊行会 昭和四六
李英介「朝鮮古書画総覧」 昭和五〇
朝鮮総督府「朝鮮史料集真」 上・中・統 昭和一〇
「古文書集真」 ソウル大学校 一九七二
金東旭「古文書集真―壬乱以前文書を主に」 延世大学校人文科学研究所 一九七二
田川孝三「朝鮮の古文書―官文書を主として」(「書の日本史」第九) 昭和五一
韓国図書館学研究会「官案」 一九七一
朴性鳳「韓国史年代便覧」 慶熙大学校伝統文化研究所 一九七五
中枢院「吏読集成」 国書刊行会 昭和五〇

岳飛 光緒元・4跋 53×62
 19大秦景教流行中国碑 2枚
 建中2 182×87
 20王碧山房記 1枚(袋)
 文徵明 209×104
 21平水上賢集 8枚(綿布)
 22泰山 1枚(袋)
 乾隆帝 172×85
 23重造碑 2枚
 咸豐9 177×27
 24雲淵 2枚
 121×65
 25無欲則剛 4枚
 55×52
 26詩<春晚夜溪…> 1枚
 128×56 至元5
 27進士題名碑 1枚
 正大元(金・哀帝) 184×64
 28広開土王陵碑 4枚(2部)
 1面 540×140
 2面 540×130
 3面 540×176
 4面 540×130
 29広照寺碑 1枚(2部)
 清泰4 233×116

海州保存会
 30梵字六角塔碑(袋)
 海州保勝会 282×34
 31芙蓉堂記扁額 1枚
 海州保存会 63×152
 32百世清風並碑陰碑 2枚(2部)
 海州古蹟保存会
 33海雲亭捷勝碑 4枚
 崇禎3 112×55
 34慶興府赤島紀蹟碑 1枚(布)
 俞彦篤 152×87
 35慶興府赤池紀蹟碑 2枚
 148×63
 36会寧顯忠祠碑銘 3枚
 崇禎4 182×58
 37有明朝鮮国両王子紀蹟碑 4枚
 崇禎5 150×26
 38蔚山雲興寺仏画 2枚(木版刷)
 康熙17 70×48
 39陟川東海碑 4枚
 126×68
 40勝戰台碑同碑閣重修記 6枚
 光武11 156×60
 41鳥獸石刻 3枚
 192×70

〔別集補遺〕

文書記録(朝鮮)

59	李朝光緒咸豐年間啓本	1幅	光緒17	66	〃	1幅	光緒9
60	〃	1幅	光緒10	67	〃	1幅	光緒17
61	〃	1幅	光緒9	68	〃	1幅	光緒17
62	〃	1幅	光緒15	69	〃	1幅	光緒17
63	〃	1幅	光緒17	70	〃	1幅	咸豐元
64	〃	1幅	光緒17	書画・詩文(日本)			
65	〃	1幅	光緒17	22	雁絵(下絵)	3幅	

- 15近衛歩兵第二連隊戦歿者祈念碑 2枚
児玉愨忠 明治35 111×149
- 16陸軍歩兵大尉安藤辰二郎碑 1枚
寺内正毅 明治35 236×89
- 17野口源太郎顕彰碑 2枚
原田真義 明治38
- 18かたみの薄碑(西行) 1枚
久我通久 明治40 135×49
- 19藤原実方馬墓顕彰碑
友部伸吉 明治40 102×70
- 20頌凱旋碑 1枚
西山穆山 明治42 203×94
- 21貴族院議員中村貞雄顕彰碑 1枚
寺内正毅 明治42 116×82
- 22児玉源太郎墓誌 1枚
49×60
- 23山根信成墓誌 1枚
(旧長州藩士・陸軍少将)
- 24鎮護 1枚
寺内正毅 73×58
- 25彰功碑 1枚 45×72
- 26松島之詩 1枚 136×69
- 27忠孝 2枚 92×82
- 28火用心 1枚 102×35

中国・朝鮮

- 1韓中郎将蘇武全節碑 1枚
93×45
- 2前出師表 10枚
諸葛亮 55×62
- 3後出師表 9枚
諸葛亮 54×62
- 4顔真卿碑 1枚
238×30
- 5大智禪師碑陰記(懷海) 1枚

- 35×113
- 6藏真帖・律公帖 1枚
134×48
- 7韓退之詩 4枚
68×193
- 8韓退之白鷗鷗詩 1枚
北平翁方綱 乾隆36 44×68
- 9法帖(淳化帖) 247枚 淳化2
(1)歷代帝王法帖 29(枚)
(2)歷代名臣法帖 25
(3) 〃 23
(4) 〃 24
(5)諸家古法帖 25
(6)王羲之(一) 28
(7) 〃 (二) 22
(8) 〃 (三) 18
(9)王献之(一) 23
(10) 〃 (二) 26
(11)淳化法帖跋(万曆43) 4
- 10蘇文忠公笠庇圖 1枚
135×61
- 11蘇東坡詩 4枚
(蘇軾, 文忠公) 130×35
- 12蘇東坡詩 1枚
光緒19 33×131
- 13朱喜書 8枚
「文山秀氣」 69×69
- 14朱喜書 2枚 131×34
「忠孝伝家 詩書処世」
- 15岳飛詩 10枚
55×61
- 16岳飛文稿 8枚
文天祥跋 52×102
- 17岳飛詩 1枚
209×109 紹興5
- 18出師表 9枚

- 22李健(子強・葵窓) 1幅
光海君6—顯宗3 137×53
- 23李正英(正谷)
光海君8—肅宗12 38×50
- 24金佐明(一正・埴川) 1幅
光海君8—顯宗12 42×58
- 25沈演(圭峰) 1幅 仁祖20
仁祖時代 31×23
- 26朴泰輔(定齋) 1幅
孝宗5—肅宗15 32×43
- 27李宜炳(梧亭) 1幅
肅宗11— 33×51
- 28尹德熙(駱西・蓮翁) 絹本2幅
山水画 肅宗11— 32×22
- 29李麟祥(宝山子) 1幅
英祖19 肅宗36—英祖36 25×41
- 30丁若鏞(茶山) 2幅
英祖38—憲宗2 21×21
- 31正祖 1幅 33×46
題箋「正祖大王御手宝墨」
- 32金正喜(秋史) 1幅
正祖10—哲宗8 29×39
- 33李三晩(蒼巖) 2幅 113×40
- 34黃喜 1軸 111×47
- 35金余慶 1幅 36×40
- 36朴光玉 1幅 41×58
- 37韓述(陶谷) 1幅 38×49
- 38陰厓 1幅 41×42
- 39閔応亨 1幅 30×26
- 40俞応孚(本杞) 1幅 40×58
- 41芝湖 1幅 23×41
- 42柳誠源(太初) 1幅 40×57
- 43沈公岱(公望) 1幅 35×49
- 44光祖 1幅 28×34
- 45馬天牧 1幅 43×57
- 46□舟 1幅 29×34

- 47(沈一) 1幅 31×11
- 48(不詳) 1幅 37×54
- 49(不詳) 1幅 43×64

拓本類

日本

- 1 普陀山鎮海寺觀音像模写 1枚
瑞巖寺建立像碑 寛政12 189×69
- 2 感忠銘 1枚
結城氏忠功の顯彰, 文化4
広瀬典 138×49
- 3 故正四位下陸奥守大江公碑 1枚
相承密院信澄 文政6 148×78
- 4 弘道館記 1枚
徳川齊昭 天保9 344×186
- 5 松下村塾記 1枚
吉田松陰 安政3 138×63
- 6 士規七則 1枚
吉田松陰 28×117
- 7 日下江月齋書 1枚
(久坂玄瑞) 文久元 138×64
- 8 七卿落の書 1枚
文久2 46×62
- 9 東久世通禧和歌 1枚
135×69
- 10 楠左衛門尉髻塚碑(正行) 1枚
森田益 慶応元
- 11 加藤公書及跋 4枚
明治5・13・14
- 12 竹田竹塘先生紀功碑 1枚
石川良信 明治14 180×96
- 13 陸軍歩兵中佐小阪千尋君之碑 1枚
- 14 山県有朋篆額
明治20 201×99

1 持地六三郎 1枚

2 井手台水 1枚

(元師昇叙)

3 村田俊彦 1枚

4 大城戸宗重 1枚

5 野田卯介・江口虎次郎 1枚

6 明 1枚

7 博 1枚

(共進会)

8 工藤文哉 2枚

9 来栖守衛 1枚

10 趙重応 1枚

(その他)

11 佐久間象山長歌(石版) 3枚

12 月性(周防国) (刊) 1枚

13 三条実美 (刊) 1枚

14 蒼竜(周防国) 1枚

15 持地六三郎 1枚

16 鹿水 1枚

17 李完用・金春熙 1枚

18 陟州東海碑文 1枚

19 忠清北道提川郡農歌 1枚

20 敵国降伏(箱崎宮) 1枚

21 皇統連綿國威赫々(題字) 1枚

朝鮮

1 成石璘(独谷) 1幅 26×15

忠肅王復位7—世宗5

2 李埏(白玉軒) 1幅 168×43

太宗17—世祖元

3 朴彭年(醉琴軒) 1幅 25×38

太宗17—世祖元

4 成三問(梅竹軒) 1幅 39×48

太宗宗18—世祖元

5 成三問 1幅 38×48

世宗26

6 徐居正(四佳亭) 1幅 35×44

世宗2—成宗19

7 徐敬德(可久・花潭) 1幅

成宗20—明宗元 39×50

8 成守琛(聽松堂) 2幅

成宗24—明宗19

9 具思孟(八谷) 1幅

明宗時代 131×57

10 柳根(晦夫) 1幅

明宗4—仁祖5 26×29

11 李麟奇(松溪居士) 1幅

明宗4—仁祖9

12 李弘富(梨川) 1幅

明宗17—仁祖16 29×24

13 金澹(北渚) 1幅

宣祖4—仁祖26 44×32

14 洪瑞鳳(鶴谷) 1幅

宣祖5—仁祖23 44×32

15 趙翼(飛卿・浦渚) 1幅

宣祖12—孝宗6 39×50

16 申翊聖(東淮・樂堂) 絹本1軸

宣祖21—仁祖22 175×73

17 張維(谿谷) 1幅

宣祖20—仁祖16 43×34

18 梧里 1幅

宣祖時代 43×83

19 李景奭(白軒) 1幅

宣祖28—顯宗12 34×32

20 李景奭 1幅

38×49

21 宋時烈 1軸

宣祖40—肅宗10 40×760

(招記・所志)

- 30招記(初招) 1通(權詹)
- 31招記(再招) 1通
- 32招記(4招) 1通
- 33招記(5招) 1通
- 34招記(初-3招)写 1綴
- 35山訟 2通
朴始榮 己未年

(戸籍)

- 36朴聖漢戸籍単子 康熙44 1通
「漢城府印」
- 37朴光秀戸籍単子 康熙59 1通
「漢城府印」
- 38朴春榮戸籍単子(長湍府) 1通
乾隆30
- 39朴春榮戸籍単子 乾隆48 1通
「漢城府印」
- 40朴鐘淳戸籍単子(朴春榮孫) 1通
嘉慶3
- 41朴永元戸籍単子(朴鐘淳子) 1通
道光17

(量案)

- 42長湍府朴判書奴順泰改量田案 1綴
乾隆24

(和会文記・明文)

- 43和会文記 1通
辛巳年
- 44放壳明文 1綴4枚
金祥玉 康熙11
李起広 〃 27
韓厚仁 〃 36
尹賀三 〃 53
- 45放壳明文 6枚粘連

番主李己言, 金秀命, 李峻芳妻
朴生員奴海先, 李自遇

康熙28—雍正9

- 46放壳明文 1綴5枚

番主河一守, 黃己明

康熙38—55

- 47放壳明文 2枚粘連

田主奴山尹

康熙53—54

- 48放壳明文 1枚

番主馱吏趙震泰 雍正5

- 49放壳明文 1枚

田主李生員宅奴天云 乾隆21

- 50放壳明文 5枚粘連

雍正2

- 51放壳明文 1枚

田主李奴長得 道光20

- 52放壳明文 1枚

田主李奴貴山 同治3

- 53放壳明文 1枚

光緒11

- 54放壳明文 1枚

田主柳奴長釗

光武3

- 55放壳明文 1枚 丁卯年

(その他)

- 56兩妻於岐山之陽 詩 1枚
- 57聖子神孫継々承々於千万年賦 2枚
- 58陸狀元集百家注資治通鑑詳節 卷65卷
末紙片 2丁

書画・詩文

日本

(即位・大典記念)

- 27典獄ニ対スル訓示案 1綴
 28典獄ニ対スル指示案 1綴
 29税関検査課長ニ対スル訓示案 1綴
 30元山築港基石沈奠式随行記 大正4

工藤壮平 1綴

- 31朝鮮金石文調査経過概報 1綴
 32朝鮮金石説明書 1綴
 33朝鮮金石分布図 2枚

(その他)

- 34清国時局所感 1綴
 35帝国之対外政策大綱 1綴
 白田喜一郎 明治44
 36済生会救療事業実施ニ関スル意見 1綴
 森林太郎 明治43
 37穴戸家略系図 1綴
 阿川栄治 慶応2 35×12

朝鮮

(教旨)

- 1告身 姜世晃 乾隆48 1枚
 2科録票 姜世晃 乾隆51 1枚
 3科録票 姜世晃 乾隆51 1枚
 4告身 姜世晃 乾隆55 1枚
 5教旨(白牌)
 曹錫輿 道光26 2枚
 6教旨(白牌)
 曹慶承 同治6 1枚
 7告身 曹慶承 光緒2 1枚
 8告身 曹慶承 光緒3 1枚
 9告身 曹慶承 光緒8 1枚
 10告身 曹慶承 光緒8 1枚
 11告身 曹慶承 光緒8 1枚
 12告身 曹慶承 光緒11 1枚
 13告身 曹慶承 光緒11 1枚
 14録券 朴鐘淳

- 甲寅(正祖18) 1枚
 15録券 朴永元(鐘淳子)
 丙午(憲宗12) 1枚

(啓)

- 16啓 宣祖朝 1枚
 17啓 純祖朝 1枚
 18啓 純祖朝 1枚
 (親耕田)
 19啓 1枚
 「合辞許久闕啓事」
 20啓 1枚
 「玉堂上下番…」
 21啓 1枚
 「左副承旨金学淳…」
 22啓 1枚
 「行都 啓日修選趙秀仁奉牌」
 23啓 1枚
 「右副承旨李止淵…」
 24啓 1枚
 「左副承旨朴周寿…」

(解由等公文書)

- 25黃海道安岳郡解由 1綴13枚
 前安岳郡守朴道彬 咸豊10
 「黃海道觀察使印」
 26南学東齋掌議望記 1枚(包紙)
 甲戌年
 27海州牧使曹錫輿書 1枚(教書)
 同治8
 28差帖 1枚
 吏曹 曹慶承宛 光緒2
 29「承政院關係記録」 1巻
 顯宗5年カ(官人私日記)
 壬子年(光海君5)紙背文書有

〔別集〕

文書・記録

日本

(朝鮮信使関係)

宝暦13一明和元年に来朝した朝鮮信使の正使書記竜淵(成大中)に対する贈答詩文(新写)

1 奉呈詩文 第1綴10枚

中村弘道, 林信有(鳳池) 谷孚先, 松村翠(山城) 林信愛

2 奉呈詩文 第2綴10枚

林信愛, 林信有, 僧了然, 林東庵, 小室当則

3 奉呈詩文 第3綴10枚

林信愛 横田玄節 南川維遷

4 奉呈詩文 第4綴10枚

竹場安世, 万年山維天, 石川貞, 林東庵

5 奉呈詩文 第5綴12枚

林東庵, 小室東則, 糟尾恵迪, 青葉養浩(紫峰)

6 奉呈詩文 第6(1巻9枚)

矢木愷, 近藤篤, 源敏, 岩信成

7 奉呈詩文 第7(1巻10枚)

矢田英源, 桜井広, 文淵藏

8 奉呈詩文 第8(1巻11枚)

山口純実, 野口芳峻, 横田玄節, 岡廷竜

9 奉呈詩文 第9(1巻8枚)

河野通遠, 林成, 芥澄子泉

10 奉呈詩文 第10(1巻13枚)

大江資衡, 釈円巖(京都), 田中秩(伊勢), 岡田国香(大垣), 勝山田立成, 南禅寺苾芻

11 奉呈詩文 第11(1巻10枚)

石川貞(金谷), 谷孚先, 中川鳴鶴, 田中正誼, 藤玄芝

12 奉呈詩文 第12(1巻5枚)

河口俊彦, 片岡有庸(水川), 河口太岳, 松本為美

13 奉呈詩文 第13(1巻5枚)

青葉養浩, 林信有, 徳力良弼, 松田久徴, 木部敦

14 奉呈詩文 第14(1巻6枚)

徳力良弼, 木部敦, 片岡有庸, 河口太岳, 松田久徴(鴻溝)

15 奉呈詩文 第15(1巻5枚)

鈴世恵, 久保泰亨, 松本為美

16 奉呈詩文 第16(1巻4枚)

芥元際, 魯斎, 横田準

17 奉呈詩文 第17(1巻6枚)

西村直, 源君績, 独明

18 奉呈詩文 第18(1巻5枚)

土田貞仍, 林観亭, 維天

(朝鮮総督府関係)

19 韓国合併ニ関スル件 2綴

20 朝鮮総督訓示案 1綴

21 道長官会議ニ於ケル総督ノ訓示 1綴
明治45

22 総督訓示 1綴

23 道長官ニ対スル総督訓示案 1綴

24 地方行政ニ関スル件(道長官会議指示事項追加) 1綴

25 司法官ニ対スル訓示案 明治45 1綴

26 地方行政事務講習終了ニ際スル訓示案 1綴

西州集 8卷4冊
曹夏望 大正元刊 32×21
重刊本 921.9—Se19

小坡吟草 1冊
韓準錫 昭和8刊 23×15
921.9—Sh95

遇溪先生文集 51卷28冊
李滉 光武9刊 33×21
重刊本 921.9—Ta22

遇溪先祖言行錄 6卷3冊
李滉 光武9刊 35×23
英廟8 陶山書院開刊 重刊本
921.9—Ta22

遇溪先祖年譜 4卷1冊
李滉 刊 34×22 921.9—Ta22

多山詩稿 2卷1冊(帙)
朴榮喆 昭和14刊 24×16
鄭丙朝序 921.9—Ta99

天民先生婦東錄 1卷2冊
李輔相 刊 26×19 921.9—Te36

東奘集 4卷2冊
李晚用 隆熙3刊 34×22
李源昇跋 表紙ニ「李源昇氏寄贈 共二冊」ト墨書アリ 921.9—To23

雲養集 16卷8冊(帙)
金允植 刊 27×18 石印本
921.9—U77

雲養集 16卷8冊
金允植 刊 27×18 921.9—U77

雲齋遺稿 2卷2冊
鄭基雨 刊 26×16 新活字本
921.9—U77

922 戲 曲

覆元槩古今雜劇三十種 5冊(帙)

刊 23×19 大正3 狩野直喜序
922—F74

923 小 說

三國志全圖演義<第一才子書>
60卷8冊(帙) 刊 20×23
順治元金聖歎序 923.5—S63

924 評論・隨筆

謝肇淛制臺餘 2卷2冊
謝肇淛 文政1刊 23×16
石園佐藤政一寄贈 924—J52

觀古閣叢稿 2卷4冊(帙)
鮑康 刊 29×19 同治12自序
924—Ka56

巾箱小品 4卷4冊(帙)
文久3刊 13×9 雍正11金農序
石園佐藤政一寄贈 924—Ki46

雜纂 2冊
刊 12×9 文久元岸田桜序
924—Z91

928 作 品 集

高季迪先生大全集 18卷4冊(帙)
刊 25×17 景泰元劉昌序
928—Ko83

- 金忠善 憲宗 8 刊 32×21
表紙=「正毅藏」ノ墨書アリ
921.9—B 63
- 慕夏堂文集** 3 卷 1 冊
金忠善 憲宗 8 刊 32×21
姜必孝序 朴光錫跋 921.9—B 63
- 同春集** 48 卷 26 冊
李廷白 李大王 17 刊 32×21
閔丙承跋 921.9—D 88
- 月沙先生集** 75 卷 22 冊
李廷龜 肅宗 46 刊 30×20
康熙 59 李喜朝跋 921.9—G 38
- 白沙集** 12 卷 10 冊
李恒福 仁祖 7 刊 26×20
張維序 921.9—H 19
- 圃隱先生集** 7 卷 3 冊
鄭夢周 刊 32×20
崇禎 8 宋時烈序 扉崧陽書院藏版
921.9—H 81
- 鳳樓集** 8 卷 4 冊 (帙)
兪華煥 刊 27×18
隆熙 3 金鶴鎮序 金允植跋
金允植ノ獻呈本 別紙=「鳳樓集四冊
雲養奉呈 寺内総督閣下」トアリ
921.9—H 91
- 以文會誌** 1 冊
成田碩内 大正 3 刊 23×15
921.9—I 12
- 寒山詩** 1 冊
閔丘胤 咸豐 6 刊 26×17
奉恩寺刊 921.9—Ka 59
- 寒山詩** 1 冊
閔丘胤 咸豐 6 刊 27×18
奉恩寺刊 921.9—Ka 59
- 網堂集** 4 卷 2 冊
徐応淳 刊 27×18
- 金允植 ヨリノ獻呈本 921.9—Ke 21
- 桂苑筆耕** 20 卷 4 冊
崔致遠 李大王 20 刊 32×21
921.9—Ke 22
- 瓊齋集** 11 卷 5 冊 (帙)
朴珪寿 刊 27×18 金允植序
金允植ノ獻呈本 寺内魯菴閣下宛
921.9—Ke 51
- 瓊齋集** 11 卷 5 冊 (帙)
朴珪寿 刊 26×17
宣統 3 金允植序 921.9—Ke 51
- 栗谷全書** 38 卷 23 冊
李珥 英祖 25 刊 30×20
洪啓禧跋 銅活字本 921.9—R 41
- 林忠愍公實紀** 8 卷 3 冊
林慶業 李大王 27 刊 32×21
高宗 28 李弼鎔序 校書館重刊
銅活字本 921.9—R 45
- 三老寓葛詩選** 1 冊
韓準錫 昭和 12 刊 23×13
921.9—Sa 66
- 三老寓葛詩選** 1 冊
韓準錫 昭和 12 刊 23×13
921.9—Sa 66
- 清陰集** 40 卷 14 冊
金尚憲 李太王 12 刊 31×21
天啓 7 李康先序 921.9—Se 17
- 星湖集** 52 卷 27 冊
李瀛 哲宗 8 刊 29×20
重刊本 921.9—Se 17
- 靜菴集** 6 卷 5 冊
趙光祖 純祖 32 刊 31×20
純祖 32 宋秉璋重刊序 921.9—Se 17
- 靑丘詩鈔** 16 冊
刊 38×24 大正 4 秋山雅之介序
921.9—Se 17

- 921.5—So61
- 宋詩清絕** 1冊
柏木和 文政8刊 23×16
921.5—So63
- 蘇詩集** 1冊71丁
写 23×16 921.5—So63
- 蘇詩抄補** 1冊54丁
写 28×19 921.5—So63
- 東坡先生古體詩** 1冊50丁
蘇軾 写 23×17 921.5—To13
- 東坡策** 3卷3冊
蘇軾·藤森大雅 刊 26×18
天保8 林長孺序 921.5—To13
- 和靖先生詩集** 2卷1冊
林逋 貞享3刊 26×19 皇祐5序
921.5—W41
- 文章遊戲** 2卷2冊
明治9 写 21×12
石園佐藤政一寄贈 921.6—B 89
- 忠雅堂詩抄·兩当軒詩抄** 合1冊84丁
蔣士銓·黃景仁 明治33 九峰高島
張輔写 28×18 921.6—C 62
- 一家詠物詩** 3冊
瞿宗吉·謝宗吉·張木威 文化10刊
26×18 正統9 蘇張序
石園佐藤政一寄贈 921.6—E 37
- 魏叔子文鈔** 3卷3冊
魏禧 弘化3刊 26×19
天保7 安積信序 石園佐藤政一寄贈
921.6—G 47
- 御製避暑山莊詩** 2卷2冊(帙)
昭和10刊 27×18 康熙50序
921.6—G 99
- 板橋集**〈板橋詩抄〉 6卷4冊
鄭燮 刊 23×15 921.6—H 29
- 香蘇山館詩** 6卷2冊
- 吳嵩梁 明治37 高島張輔写 28×18
嘉慶23 吳嵩梁序 921.6—Ka78
- 敬業堂詩** 1冊95丁
趙甌北 写 28×18 921.6—Ke23
- 敬業堂詩鈔** 2卷2冊
查慎行 明治33 高島張輔写 28×18
921.6—Ke23
- 洪北江詩** 6卷2冊
洪亮吉 明治38 高島張輔写 28×18
乾隆59序 921.6—Ko27
- 甌北詩選** 2卷2冊
趙翼 刊 23×16 文政10序
921.6—O 29
- 李昌谷及厲巖王三家詩** 1冊34丁
写 23×16 921.6—R 35
- 清白家絕句** 3冊
後藤機世張 刊 22×15
文化12 頼山陽序 921.6—Sh 62
- 賞心寶錄** 4冊(帙)
江馬正人 明治14刊 23×13
石園佐藤政一寄贈 921.6—Sh 96
- 隨園詩話** 16卷10冊
袁枚 刊 18×11 921.6—Z 96

921.9 朝鮮漢詩文

- 梅月堂詩集** 15卷4冊
金時習 刊 31×21 宋時烈跋
921.9—B 14
- 梅月堂文集** 8卷2冊
金時習 刊 31×21 弘治6 鳳起跋
921.9—B 14
- 牧隱先生文集**〈牧隱詩稿〉 55卷25冊
李穡 刊 30×20 天啓6 李德洙跋
921.9—B 63
- 慕夏堂文集** 3卷1冊

- 陸放翁詩鈔** 4冊 921.5—Sh13
 陸游 享和元刊 25×18
 享和元山本龍序 921.5—H85
- 放翁詩話** 1冊
 陸游・黑崎貞孝・飯村孫 文化10刊
 27×18 921.5—H85
- 放翁梅花詩** 1冊
 漁古生 刊 20×13 921.5—H86
- 韓蘇詩抄** 7卷3冊
 賴山陽 嘉永7刊 23×16
 921.5—Ka59
- 劍南詩稿** 85卷28冊
 陸游 刊 26×16 嘉定13跋
 921.5—Ke46
- 劍南詩鈔** 7卷8冊(帙)
 楊大鶴 刊 23×16
 康熙24楊大鶴序 921.5—Ke47
- 高青邱詩醇** 7卷4冊
 斎藤徳蔵 嘉永5刊 23×15
 921.5—Ko83
- 明詩別裁集** 12卷6冊(帙)
 沈徳潜・周準 刊 12×9
 921.5—Mi47
- 歐陽文忠公本鈔** 32卷10冊
 歐陽修 刊 27×17 921.5—O95
- 林和靖詩集** 4卷2冊
 林逋・近藤元粹 明治30刊 15×10
 皇祐5梅堯臣序 921.5—R49
- 宋三大家律詩** 1冊
 享和3刊 24×16 文化10大窪行序
 石園佐藤政一寄贈 921.5—So61
- 三家妙絶**<范石湖・楊誠齋・陸放翁>
 1冊 市河寛斎 文化4刊 23×15
 921.5—Sa65
- 謝選拾遺** 7卷3冊
 賴山陽 嘉永2刊 19×13
- 文天祥指南錄** 4卷3冊
 文天祥 明治3刊 26×19
 徳祐2文天祥自序 慶応元安達忠貫序
 921.5—Sh59
- 真山民詩集** 1冊
 真山民 文政8刊 27×18
 文化9大窪行序 921.5—Sh69
- 真山民詩集** 1冊
 真山民・近藤元粹 明治28刊 15×10
 921.5—Sh69
- 坡門酬唱** 23卷8冊
 邵浩 刊 30×18 紹熙元張叔樞序
 宣統3劉世珩跋 921.5—Sh96
- 蘇文公文鈔** 10卷4冊
 蘇洵 刊 27×17
 石園佐藤政一寄贈 921.5—So12
- 蘇文忠公文鈔** 28卷10冊
 蘇軾 刊 27×17
 石園佐藤政一寄贈 921.5—So12
- 蘇文忠公年譜** 1冊
 明治28刊 28×20 明治28秋月新序
 921.5—So12
- 蘇詩鈔** 1冊
 広瀬淡窓 明治28 九峰高島張輔写
 28×20 921.5—So12
- 蘇長公合作** 8卷12冊
 刊 27×18 萬曆47錢一清序
 921.5—So13
- 宋大字本寒山詩集**永和木 陸天錫逸詩
 1冊(帙) 閻丘胤 明治38刊
 24×17 921.5—So15
- 宋三家詩話**<六一詩話・温公詩話・中山詩話>
 1冊
 鷗陽修・司馬光・劉放 文化13刊
 27×18 石園佐藤政一寄贈

- 增評八大家文統本 30卷16冊 921.43—To72
 沈德潛・賴山陽 明治12刊 23×16
 乾隆15沈德潛序 921.43—To72
- 唐宋八大家文格 5卷5冊
 川西潛 天保10刊 23×16
 天保10川西潛序 921.43—To72
- 御選唐宋詩醇 47卷20冊
 乾隆帝 刊 29×18 乾隆15序
 921.43—To72
- 御選唐宋詩醇 8卷4冊
 乾隆帝 刊 23×16 乾隆15序
 嘉永4安積信序 921.43—To72
- 御選唐宋詩醇杜甫十卷 10卷5冊
 乾隆帝 文久2刊 23×16
 921.43—To72
- 杜工部詩集 20卷7冊
 杜甫 刊 23×16 嘉泰4旧序
 921.43—To34
- 官板杜詩偶評 4卷3冊
 杜甫・沈德潛 享和3刊 26×19
 乾隆12沈德潛序 921.43—To24
- 杜詩評鈔 4卷2冊(帙)
 沈德潛 明治30刊 23×16
 921.43—To72
- 唐四家詩<柳柳州集・韋蘇州集・孟襄陽集・王右丞集> 5冊(帙)
 刊 22×15 921.43—To72
- 校訂唐詩訓解 1冊
 <新刻李袁二先生精選唐詩訓解>
 李攀龍・袁宏道 刊 26×19
 921.43—To72
- 唐賢百絕 1冊
 広井良図 明治25刊 16×11
 石園佐藤政一寄贈 921.43—To72
- 唐詩絶句 5卷1冊(帙)
 吉田宇之助 明治41刊 24×17
- 唐詩絶句 5卷1冊
 吉田宇之助 明治41刊 19×13
 921.43—To72
- 唐詩絶句 5卷1冊
 吉田宇之助 明治41刊 19×13
 921.43—To72
- 東湖生先手訳本唐詩選抄記 1冊
 沢本孟虎 昭和8刊 25×17
 921.43—To72
- 欽定全唐詩 32卷32冊
 彭定求 刊 23×13 康熙46序
 921.43—Z93
- 全唐詩 900卷97冊
 彭定求 刊 23×14 康熙46序
 921.43—Z93
- 全唐詩 20冊(帙)
 彭定求 刊 23×14 921.43—Z93
- 全唐詩逸 3卷3冊
 市河寬齋 文化元刊 24×16
 文化元林衡序 921.43—Z93
- 五朝名家七律英萃 8冊(帙)
 刊 24×16 康熙26潘耒序
 921.5—G54
- 范石湖詩鈔爵齒德 3卷3冊
 范成大 享和4刊 27×19
 享和3山本信有序 921.5—H29
- 批評宋詩鈔 6卷3冊
 張雲間 刊 15×9 乾隆26序
 明治15藤沢恒序 921.5—H56
- 秘笈 5冊(帙)
 刊 26×16 萬曆5陽余毅序
 921.5—H57
- 陸放翁詩鈔 4冊
 陸游 享和元刊 26×18
 享和元山本龍序 921.5—H85

- 921.43—H19
- 本事詩** 1冊
孟榮 明治25 九峰高島張輔写
921.43—H85
- 唐宋八大家文鈔韓退之集** 16卷7冊
〈唐大家韓文公文抄〉
茅坤 刊 27×17 萬曆7 茅坤序
石園佐藤政一寄贈 921.43—Ka48
- 韓昌黎集** 40卷20冊(帙)
韓愈·李漢 萬治3刊 28×17
崇禎6 陳繼儒序 921.43—Ka59
- 寒山詩闡提記聞** 3卷3冊
白隱慧鶴 延享3刊 27×19
921.43—Ka59
- 貴池唐人集** 3冊
刊 30×18 光緒31 劉世珩序
921.43—Ki11
- 襟帶集**〈江湖風月集〉 1冊
文之玄昌 大正7刊 28×19
921.43—Ki46
- 校正三体詩** 3卷1冊
周弼·裴廈 刊 26×19
至大2 裴廈序 石園佐藤政一寄贈
921.43—Ko83
- 広唐賢三昧集** 10卷10冊(帙)
溪洋·宗室文昭 明治13刊 20×11
921.43—Ko94
- 李翰林集** 30卷6冊
李白 刊 30×18
光緒34 劉世珩跋 921.43—R41
- 李集札記** 1冊
劉世珩 刊 30×18
光緒34 劉世珩序 921.43—R47
- 柳文**〈唐柳河東集〉 45卷15冊(帙)
柳宗元 寛文4刊 28×17
921.43—R98
- 柳柳州文鈔** 12卷6冊
柳宗元 刊 27×17 921.43—R98
- 秋浦雙忠錄** 40卷6冊
劉世珩 刊 30×18
光緒28 劉世珩序 921.43—Sh99
- 李于鱗**唐詩選** 7卷1冊
李攀龍 安永4刊 16×12
荻生徂徠跋 921.43—To72
- 唐詩選** 7卷3冊
李攀龍 弘化2刊 23×16
荻生徂徠跋 横田溝口文庫旧藏
921.43—To72
- 書画本唐詩選** 5卷5冊
刊 27×18 天明8 小林高英跋
921.43—To72
- 篆書唐詩選五言絶句** 1冊
宝曆3刊 28×18
寛保3 関口忠貞序 921.43—Te37
- 篆書唐詩選七言絶句** 1冊
宝曆6刊 26×18
宝曆6 岡井孝序 921.43—Te37
- 唐詩選掌故** 7卷2冊
千葉芸閣 明和5刊 23×16
921.43—To72
- 唐詩選掌故** 7卷2冊
千葉芸閣 明和5刊 23×16
921.43—To72
- 官板唐宋八大家文読本** 30卷12冊
沈徳潜 文化10刊 23×16
乾隆15 沈徳潜序 921.43—To72
- 唐宋八大家文読本** 30卷16冊
沈徳潜 文化11刊 23×15
乾隆15 沈徳潜序 921.43—To72
- 増評唐宋八大家文読本** 30卷16冊
沈徳潜·頼山陽 安政2刊 24×17
乾隆15 沈徳潜序 921.43—To72

- 児玉少介 明治34刊 26×15
 明治34勝間田稔跋 921—Sh99
- 醉古堂劍掃** 12卷4冊
 刊 20×14 嘉永6頼醇序
 石園佐藤政一寄贈 921—Su51
- 醉古堂劍掃** 12卷3冊
 刊 19×13 921—Su51
- 醉古堂劍掃** 12卷2冊
 刊 20×13 嘉永6頼醇序
 921—Su51
- 頭字韻** 5卷2冊
 余熙 刊 19×13 天保4平松正跋
 921—To72
- 絶句類選評本** 20卷2冊
 津阪東陽 明治14刊 13×9
 文政7津阪東陽序
 石園佐藤政一寄贈 921—Z92
- 爾雅<爾雅註疏>** 4冊
 郭璞·刑昺 刊 23×15
 921.32—J48
- 詩經集註** 15卷8冊
 朱熹 刊 28×19 淳熙4朱熹序
 921.32—Sh34
- 官板詩經大全** 20卷22冊
 胡広 刊 30×20 淳熙4朱熹序
 921.32—Sh34
- 詩經** 2卷2冊
 刊 23×20 淳熙4朱熹序
 921.32—Sh34
- 改正音訓詩經** 2卷2冊
 刊 26×19 淳熙4朱熹序
 石園佐藤政一寄贈 921.32—Sh34
- 改正音訓詩經** 2卷2冊
 刊 27×19 淳熙4朱熹序
 石園佐藤政一寄贈 921.32—Sh34
- 改正音訓詩經再刻後藤点** 2卷2冊
 刊 26×19 淳熙4朱熹序
 921.32—Sh34
- 大字精校詩經集伝** 8卷4冊(帙)
 朱熹 刊 20×14 淳熙4朱熹序
 921.32—Sh34
- 王註楚辭** 17卷6冊(帙)
 劉向·王逸 寬延3刊 28×19
 寬延3莊允益序 921.33—So31
- 楚辭燈** 4卷4冊
 林雲銘 刊 26×18
 康熙36林雲銘序 921.33—So31
- 陶淵明集** 8卷2冊(帙)
 陶潛 刊 28×17 921.4—To19
- 陶淵明全集<陶靖節集>** 10卷5冊
 陶潛 刊 27×18
 菊池耕齋跋 921.4—To19
- 景宋本箋注**陶淵明集** 10卷4冊
 陶潛·李公煥 刊 30×18
 921.4—To19
- 文選** 30卷16冊
 昭明太子 刊 30×18
 顯慶3序 921.4—Mo38
- 陶靖節集** 10卷4冊(帙)
 陶潛 刊 23×14 萬曆7蔡汝賢跋
 921.4—To71
- 古詩韻範** 5卷3冊
 武元登登纂 刊 23×16
 文化9自序 921.42—Ko85
- 晚唐詩選** 7卷4冊
 刊 13×9 文化3龜田興序
 921.43—B19
- 瀛奎律隨** 49卷10冊
 方回 刊 26×17 至元20序
 寬文11村上平樂寺跋 921.43—E38
- 白楽天詩集** 5卷3冊(帙)
 白居易 明治34刊 15×10

- 広瀬淡窓 明治30・大正13 九峰高 石園佐藤政一寄贈 921—Mu83
 島張輔写 24×17 921—G59 **題面詩類**〈康熙御定歷代題面詩類〉
 梧窓詩話 2卷1冊 4卷4冊 天保9刊 8×18
 林瑜 文化9刊 19×12 921—R25
 文化9大窪行序 921—G69 校正増注**聯珠詩格** 10卷5冊
 漁洋詩話 2卷2冊 于濟・徐居仁 刊 25×18
 王士禎 天保4刊 23×16 大徳元于濟序 石園佐藤政一寄贈
 石園佐藤政一寄贈 921—G99 921—R27
 漁洋詩話 2卷2冊 **靖献遺言** 8卷3冊
 王士禎 刊 19×12 (帙) 浅見安正 明治2刊 18×13
 921—G99 921—Se17
佩文齋詠物詩選 2卷2冊 **雷磯叢稿** 5卷1冊
 陳廷敬 刊 10×19 楽雷堯 明治30 九峰高島張輔写
 康熙45・文化5卷大任序 921—H15 24×16 921—Se44
評本文章軌範 3冊 **真草千字文** 1折 (帙)
 中村鼎五 明治11刊 23×16 刊 27×14 大正元内藤虎奥書
 921—H99 921—Se66
韻府一隅 16卷2冊 **千字文講義** 5冊 (帙)
 顔懋功 刊 17×13 小野鐫之助 大正6刊 19×12
 嘉慶8 顔懋功・文政10中井豊民序 921—Se66
 921—I57 **千詩一題** 1冊
古文真宝叙 1冊 刊 29×20 921—Se73
 〈魁本大字諸儒箋解古文真宝〉 桃山先生遺書**詩学明弁** 1冊
 刊 27×19 921—Ko14 大沼善次郎 明治29刊 22×15
 921—Sh27
古文約選 10冊 (帙) **詩韻含英異同弁** 18卷1冊
 刊 29×19 雍正11序 921—Ko14 劉文蔚・裘師弼 明治11刊 20×13
古押九格 1冊 乾隆58裘師弼序 921—Sh32
 香翁恒 大正6刊 13×16 921—Ko44 **真行草千字文** 1冊
經子史千絶 1冊 小野鐫之助 大正9刊 19×12
 高橋白山 明治43刊 25×16 921—Sh64
 921—Ky45 **始政紀念新選千字文** 1冊
文選〈六臣註文選〉 24冊 写 35×24 森茂奥書 921—Sh69
 昭明太子 刊 30×18 921—Mo38 **蕭鳴草** 1冊
無声詩史 7卷2冊 (帙) 写 24×17 921—Sh99
 姜紹書 刊 20×13 **集古梅花詩** 2卷1冊

- 919.6—Se41
- 潜菴遺稿** 3卷3冊
春日仲襄 明治26刊 20×14
919.6—Se57
- 雲岳遺稿**〈雲岳翁逸話〉 1冊
倉田逸次郎 大正7刊 19×14
919.6—Se93
- 桑山遺稿** 2卷2冊(帙)
土方久元 大正8刊 26×17
919.6—Sh69
- 鍾情集** 1冊
関沢清彦 大正15刊 22×15
919.6—Sh96
- 大正詩文** 第參集 1冊
大正5刊 26×15 919.6—Ta24
- 淡山翁遺稿** 1冊
結城琢 大正8刊 24×14
919.6—Ta89
- 藤公詩存** 2冊
末松謙澄 明治43刊 24×16
919.6—To34
- 盜泉詩稿** 1冊
小泉政以 大正3刊 26×18
大正2後藤新平序 919.6—To71
- 唐陽山人詩鈔** 6卷2冊(帙)
横川徳郎 大正12刊 24×16
大正11九峰高嶋張輔序 919.6—To92
- 唐陽山人詩鈔** 6卷2冊
横川徳郎 大正12刊 24×16
大正11九峰高嶋張輔序 919.6—To92
- 八秩寿言** 1冊
大正6刊 24×16 919.6—Y12

920 中国文学

921 詩歌・韻文・詩文

- 文章軌範纂評** 7卷3冊
謝枋得・安藤秉 刊 25×18
正徳元王守仁序 安政4安積信序
921—B89
- 文章軌範拾遺** 2卷2冊
写 23×16 921—B89
- 文章軌範図解** 1冊14丁
写 25×17 921—B89
- 明治新鐫正文文章軌範評林** 7卷3冊
刊 19×13 寛政3東龜年序
石園佐藤政一寄贈 921—B89
- 明治新鐫続文章軌範評林** 7卷3冊
刊 19×13 寛政6山邨良田序
石園佐藤政一寄贈 921—B89
- 文章一隅** 1冊
刊 26×18 慶応3林長濡跋
921—B89
- 童蒙養正詩選孝服** 1冊
刊 25×17 共和20(1931)王揖唐跋
921—D85
- 詩学円機活法大成** 18卷12冊
刊 24×16 康熙36 仰止余象斗序
921—E62
- 円機活法全函**〈新刻校正増補円機活法詩学全書〉 24卷11冊(帙)
楊淙 刊 18×12 明治20石川英序
921—E62
- 魏鶴山先生渠陽詩** 1冊
魏鶴山・王徳文 光緒28刊 31×18
光緒26劉世珩跋 921—G41
- 吳穀人詩** 2冊

- 919.6—K093 本間健 大正15刊 24×15
耕雲華甲壽集 1冊 919.6—O66
 刊 27×15 大正3 梅窓杉浦重剛序
- 919.6—K095 **冷灰遺稿** 1冊
 江木栄子 大正15刊 24×15
- 旭旗集** 3冊 919.6—R25
 小熊三郎 刊 24×16
 明治45自跋 919.6—Ky44
- 鳩居漫吟唱和集** 1冊
 刊 25×17 大正2 朝軒序 919.6—Ky48
- 明治詩文** 30集5冊
 佐田白茅 明治12刊 23×16
 石園佐藤政一寄贈 919.6—Me25
- 明治詩話** 2卷2冊
 榎山逸也 明治28刊 15×10
 石園佐藤政一寄贈 919.6—Me25
- 明治三十八家絶句** 10卷3冊
 明治3刊 23×15
 明治2 山本秀夫序
 石園佐藤政一寄贈 919.6—Me25
- 夢山絶句** 1冊
 田中不二麻呂 刊 27×15
 明治42 槐南森大来序 919.6—Mu98
- 南北紀游詩稿** 1冊
 川崎三郎 昭和14刊 23×14
 919.6—N48
- 日本楽府** 1冊
 頼山陽 文政13刊 26×18
 919.6—N71
- 日本楽府** 1冊
 頼山陽 文政13刊 26×18
 919.6—N71
- 恩光集** 1冊
 本間健 大正15刊 24×15
 919.6—O66
- 温古集** 1冊
- 竜蛇握奇集** 1冊
 塚原周造 刊 25×16
 明治38自序 919.6—R66
- 論書三十首** 1冊
 日下部東作 明治34刊 22×13
 石園佐藤政一寄贈 919.6—R66
- 遠瀟遊草** 1冊
 久保得二 大正14刊 24×14
 919.6—R96
- 凌滄集** 1冊
 刊 24×16 919.6—R97
- 三洲居士集** 11卷5冊(帙)
 長谷秋史 明治42刊 23×13
 元治元 広瀬林外序 919.6—Sa66
- 伊勢大和紀行詩歌帖** 2卷2冊(帙)
 熊谷直之 明治39刊 22×14
 919.6—I69
- 醒堂近稿** 1冊
 浅野哲夫 写 25×17
 明治40 九峰高島張輔奥書
 919.6—Se17
- 青萍集** 12卷2冊
 末松春彦 大正11刊 23×15
 919.6—Se17
- 西鄙会誌** 6冊
 昭和4刊 24×17 919.6—Se17
- 西隣游草** 1冊
 玉木懿夫 刊 24×17
 大正8 関沢修跋 919.6—Se19
- 積徳集** 1冊
 古城菅堂 明治28刊 23×16

- 919.6—D88 関沢清 大正14写 24×14
大正14筆園石崎政汎跋 919.6—Ka11
- 不二庵詩存 2卷1冊
日野居龍 大正12刊 24×12
919.6—F56
- 福道遺稿 2冊
中田敬義 明治40刊 27×15
919.6—F74
- 再版歌古書茶廿字訓<歌古書日用訓>
参照編 1冊
刊 24×15 919.6—G19
- 白山詩集 6卷3冊
高橋白山 明治43刊 25×16
919.6—H19
- 法閑余声 1冊
刊 20×15 919.6—H82
- 北涯遺稿 1冊
刊 24×17 昭和3作間鴻東序
919.6—H82
- 葦杭游記 1冊
股野琢 刊 27×15
明治42土屋弘序 919.6—I37
- 壬戌雅会集 1冊(帙)
国府種徳 大正11刊 25×14
919.6—J52
- 白適集 3卷3冊(帙)
刊 23×16 919.6—J55
- 情声詩存 1冊
結城琢 大正4刊 20×13
919.6—J76
- 盾墨余瀆 1冊(帙)
小田耕岳 明治32刊 24×15
919.6—J95
- 鶴山詩鈔 1冊(帙)
杉田定一 大正6刊 23×16
919.6—J96
- 霞庵詩鈔 6卷3冊(帙)
- 懷人絶句三十首 1冊
刊 25×17 松雨長沢範男跋
919.6—Ka21
- 皆無庵遺響 1冊
刊 22×15 川村曄序 919.6—Ka21
- 海紅園小稿 1冊
野田笛浦 明治4刊 23×16
石園佐藤政一寄贈 919.6—Ka21
- 懷古田舎詩存 6卷6冊(帙)
本田幸之助 大正元刊 26×14
919.6—Ka21
- 葭倚詩卷 1冊
写 23×15 明治42天放山人奥書
919.6—Ka26
- 柿屋詩存 2卷2冊(帙)
塚本源二郎 昭和10写 24×16
919.6—Ka26
- 鶴梁文鈔 10卷4冊
林長孺 慶応3刊 27×18
石園佐藤政一寄贈 919.6—Ka28
- 菊畦一枝 四集 1冊
西川豊太郎 大正13刊 21×13
919.6—Ki29
- 錦山遺稿 1冊
佐藤恒丸 大正4刊 26×17
919.6—Ki48
- 滾滾寿集 2冊(帙)
林石之助 大正8刊 23×16
919.6—Ko75
- 公程余事 1冊
中沢広勝 大正3刊 20×13

- 919.5—Sh99
- 919.5—U77
- 滄浪亭存稿 1冊
大正15刊 24×17
大正15田中光顯序 919.5—So56
- 高杉東行詩文集 2卷2冊
津川松太郎 明治25刊 18×12
919.5—Ta54
- 天放存稿 1冊
秋月新太郎 明治30刊 24×15
919.5—Te35
- 天保三十六家絶句 3卷3冊
刊 23×16
石園佐藤政一寄贈 919.5—Te37
- 投獄集 1冊
刊 13×9 919.5—To23
- 東海一瀛集 5卷2冊
枳田月 刊 27×17
宝曆12大解宗脱序 919.5—To28
- 東行遺稿 2冊
高杉鴨夫 刊 19×12
明治19田中光顯序 919.5—To34
- 讀史雜詠 2卷2冊
青山延寿 刊 26×18
慶応元塩谷世弘序 919.5—To43
- 東野遺稿 3卷3冊
安藤東壁 寛延2刊 28×18
石園佐藤政一寄贈 919.5—To78
- 月瀬記勝 2冊
刊 26×18 嘉永4齋藤正謙序
919.5—Ts64
- 雲如上人詩集 2冊
文久3刊 23×15
石園佐藤政一寄贈 919.5—U75
- 雲嶺樵響 2冊
石世夷希之 刊 23×15
天保10石井耕跋 石園佐藤政一寄贈
- 訳準笈話 1冊
村田通信 文政9刊 26×19
919.5—Y16
- 藏春閣詩存稿 2卷2冊
東敬治 大正15刊 23×16
919.5—Z95
- 晚翠居<晚翠居詩草> 1冊
湯河元臣 大正14刊 24×14
919.6—B19
- 武奇陽集 1冊
静間密 明治32刊 17×13
石園佐藤政一寄贈 919.6—B87
- 恥堂遺稿 1冊
天野孫太郎・高田慎蔵 大正2刊
24×16 919.6—C43
- 談笑余響 1冊
岩溪晉 明治42刊 20×13
919.6—D38
- 檀樂集 6卷6冊
岩溪晉 明治45刊 20×13
919.6—D38
- 鏡歌余響 1冊
股野琢子玉 刊 23×14
919.6—D83
- 鏡歌余響 後編 1冊
股野琢子玉 刊 23×14
919.6—D83
- 道交余韻 1冊(帙)
小田耕岳 明治36刊 24×15
919.6—D84
- 道鳴余韻 1冊(帙)
小田耕岳 明治41刊 24×15
919.6—D85
- 同心余芳 1冊
小田耕岳 大正5刊 19×12

石園佐藤政一寄贈 919.5—Se17
星巖集 戊集 4卷1冊
 刊 25×17 嘉永6齋藤正格序
 石園佐藤政一寄贈 919.5—Se17
星巖集 己集 4卷2冊
 刊 25×17 天保11佐久間啓序
 石園佐藤政一寄贈 919.5—Se17
靜士遺稿 1冊
 長燕子翼 明治元刊 26×16
 919.5—Se17
浙西六家詩鈔 6卷6冊
 嘉永6刊 23×16
 石園佐藤政一寄贈 919.5—Se88
拙堂紀行文詩 8卷2冊
 齋藤正謙 明治25刊 24×15
 石園佐藤政一寄贈 919.5—Se93
攝東七家詩鈔 7卷5冊
 嘉永2刊 26×18 嘉永2篠崎弼序
 石園佐藤政一寄贈 919.5—Se94
如高遺稿詩本草 1冊
 柏稜永日 刊 22×16
 石園佐藤政一寄贈 919.5—Sh31
詩本草 1冊
 柏稜永日 刊 22×16 萬延元自跋
 石園佐藤政一寄贈 919.5—Sh31
新文詩 初編 2卷2冊
 森春濤 明治27刊 19×12
 919.5—Sh69
新文詩 二編 2卷2冊
 森春濤 明治27刊 20×12
 919.5—Sh69
新文詩 三編 2卷2冊
 森春濤 明治27刊 20×12
 919.5—Sh69
新文詩 四編 2卷2冊
 森春濤 明治27刊 20×12

石園佐藤政一寄贈 919.5—Sh69
新文詩 五編 2卷2冊
 森春濤 明治27刊 20×12
 石園佐藤政一寄贈 919.5—Sh69
詩聖堂詩集 10卷1冊
 大窪行天民 文化7刊 23×16
 石園佐藤政一寄贈 919.5—Sh89
詩聖堂詩集 初編 10卷3冊
 大窪行詩佛 刊 23×16
 文化7 山池桐孫跋
 石園佐藤政一寄贈 919.5—Sh89
詩聖堂詩集 二編 13卷4冊
 大窪行詩佛 天保2刊 23×16
 石園佐藤政一寄贈 919.5—Sh89
詩聖堂詩集 三編 10卷3冊
 大窪行詩佛 刊 23×16
 石園佐藤政一寄贈 919.5—Sh89
俊采採録・夢路の日記 1冊
 久阪玄瑞 刊 19×13 919.5—Sh89
松陰詩集 2卷2冊
 吉田義卿 明治16刊 23×16
 919.5—Sh95
小竹齋詩抄 5卷5冊
 篠崎弼 安政7刊 26×18
 石園佐藤政一寄贈 919.5—Sh95
春風館詩鈔 2卷2冊
 頼千齡 天保12刊 25×18
 天保12篠崎弼序 919.5—Sh99
春草堂詩鈔 8卷4冊
 頼杏坪 明治5刊 26×18
 天保6 篠崎弼序 919.5—Sh99
纂評春草堂詩鈔 8卷4冊
 頼杏坪 刊 23×15
 石園佐藤政一寄贈 919.5—Sh99
徂徠集 30卷16冊
 物茂卿 元文5刊 26×18

- 蓮塘唱和集 2卷1冊 919.5—Sa67
刊 24×15 明治6 阪谷素跋
石園佐藤政一寄贈 919.5—R27
- 林園月令 8卷8冊
館機 刊 19×9 天保2花朝序
919.5—R45
- 林園月令 二編 8卷8冊
館機 刊 19×9 919.5—R45
- 采風集 初編 3卷3冊
稻毛直道 刊 23×16
文化5 鵬齋陳人序
石園佐藤政一寄贈 919.5—Sa17
- 三家妙絶<石湖妙絶・誠齋妙絶・放翁妙
絶> 1冊
刊 23×15 石園佐藤政一寄贈
919.5—Sa65
- 山陽先生詩稿<山陽先生遺稿> 2冊
頼襄子成 写 18×13
乾卷38丁 坤卷47丁 919.5—Sa67
- 山陽先生詩稿 1冊
頼襄子成 写 28×19 919.5—Sa67
- 山陽詩鈔 8卷4冊
頼襄子成 刊 26×19
天保3 篠崎弼序 919.5—Sa67
- 評点山陽文稿 2卷
頼久太郎 明治11刊 18×13
石園佐藤政一寄贈 919.5—Sa67
- 山陽文稿 2卷2冊
頼久太郎 明治11刊 23×16
919.5—Sa67
- 山陽文錄 1冊
鈴木重義 刊 23×15
明治12揚堂山長序 919.5—Sa67
- 山陽題跋 3卷3冊
頼山陽 写 24×17
天卷30丁 地卷27丁 人卷30丁
- 山陽先生題跋 2卷1冊
児玉慎 明治12刊 19×13
石園佐藤政一寄贈 919.5—Sa67
- 山陽先生西遊稿 2卷2冊
写 23×16 乾卷51丁 坤卷50丁
919.5—Sa67
- 山陽先生西帰稿 1冊50丁
頼山陽 写 25×17 919.5—Sa67
- 山陽遺稿 7卷7冊(帙)
頼襄子成 明治12刊 15×9
天保12篠崎弼序 919.5—Sa67
- 山陽文詩遺稿 7卷8冊
頼襄子成 天保12刊 26×18
天保12篠崎弼序 919.5—Sa67
- 評点山陽遺稿詩 7卷2冊
頼久太郎 明治12刊 22×16
石園佐藤政一寄贈 919.5—Sa67
- 評点山陽遺稿文 10卷4冊
頼久太郎 刊 22×16
天保12篠崎弼序 石園佐藤政一寄贈
919.5—Sa67
- 山陽先生書後 3卷3冊
頼山陽 刊 19×13
石園佐藤政一寄贈 919.5—Sa67
- 星巖集 甲集 2卷1冊
刊 25×17 天保12朝川鼎序
石園佐藤政一寄贈 919.5—Se17
- 星巖集 乙集 2卷1冊
刊 25×17 文政11日野資愛序
919.5—Se17
- 星巖集 丙集 10卷3冊
刊 25×17 天保7 齋藤謙序
石園佐藤政一寄贈 919.5—Se17
- 星巖集 丁集 5卷2冊
刊 25×17 天保5 齋藤謙序

- 石園佐藤政一寄贈 919.5—Ki44
- 名家奇文近古史伝 2卷2冊(帙)
福田宇中 明治12刊 13×9
919.5—Ki44
- 今世名家文鈔 8卷4冊
刊 22×15 919.5—Ki46
- 今世名家文鈔 8卷4冊
刊 22×16 919.5—Ki46
- 今世名家文抄 8卷4冊
刊 22×15
石園佐藤政一寄贈 919.5—Ki46
- 皇朝百家絶句 3卷3冊
水越成章 明治18刊 23×15
石園佐藤政一寄贈 919.5—Ko15
- 古香菴絶句 1冊23丁
明治35 高島張輔写 23×20
919.5—Ko41
- 良齋文略 3卷3冊
安積祐助 嘉永6刊 26×18
石園佐藤政一寄贈 919.5—Ko78
- 紅蘭小集 2卷1冊
天保12刊 25×17
石園佐藤政一寄贈 919.5—Ko79
- 壺管社古文偶評 2卷2冊
刊 23×15 文久2中村正直序
石園佐藤政一寄贈 919.5—Ko86
- 湖山樓詩鈔 8卷4冊
小野長愿 刊 27×17
嘉永3 藤森大雅序
石園佐藤政一寄贈 919.5—Ko98
- 湖山近稿 2卷2冊
小野長愿 刊 24×15 明治13自序
石園佐藤政一寄贈 919.5—Ko98
- 湖山近稿統集 2卷1冊
小野長愿 刊 24×15
明治13中村正直序
- 石園佐藤政一寄贈 919.5—Ko98
- 湖山消閑集 2卷1冊
小野長愿 刊 24×15
石園佐藤政一寄贈 919.5—Ko98
- 栗山先生文鈔 1冊89丁
写 23×16 919.5—R48
- 九峯存稿 11冊
高島張輔 写 25×17
大正5七十一叟九峰自序
919.5—Ky48
- 南豊名家詩選 3卷3冊(帙)
大島支郎 大正4刊 23×15
919.5—N48
- 日南珠 1冊
刊 25×17 919.5—N71
- 日本文鈔 3卷3冊
源世昭 弘化3刊 26×18
石園佐藤政一寄贈 919.5—N71
- 日本茶府 1冊
頼山陽 文政13刊 26×19
919.5—N77
- 鴨厓一日百詩 1冊20丁
鴨尾頼 写 27×19
元治元松浦弘跋 919.5—O12
- 大阪繁昌詩 3卷3冊
田中右馬三郎 刊 23×16
919.5—O73
- 鴨東四時雜詞 1冊
刊 23×16 文政9花朝峨眉山人序
石園佐藤政一寄贈 919.5—O86
- 面餅居士鴨東雜詠 1冊
刊 23×15 文政9花朝峨眉山人序
919.5—O86
- 頼山陽先生品行論 2卷2冊
小泉久時 明治14刊 23×15
919.5—R12

- 秋月新太郎 大正元刊 25×16
 明治45高島張輔序 919.5—C49
- 詠史絶句 2卷2冊
 守田半右衛門 安政7刊 23×16
 919.5—E37
- 淮海掣音 2卷2冊
 大正2刊 24×16
 淳祐8 東閣趙序 919.5—E42
- 遠思樓詩鈔 2卷2冊
 広瀬淡窓 刊 23×16
 天保6 篠崎弼序 919.5—E63
- 遠思樓詩鈔 2卷2冊
 広瀬淡窓 天保8刊 24×16
 石園佐藤政一寄贈 919.5—E63
- 遠思樓詩鈔 二編 2卷2冊
 広瀬淡窓 刊 23×16
 弘化4 篠崎弼跋 919.5—E63
- 学詩堂詩鈔 4卷2冊
 安政2刊 26×17 嘉永5 奥野純序
 石園佐藤政一寄贈 919.5—G16
- 五龍文詩<五龍文抄・五龍詩抄>2冊
 玉乃世履 明治22刊 23×15
 919.5—G68
- 五山堂詩話 10卷5冊(帙)
 娛菴居士 刊 18×12 文化4序
 石園佐藤政一寄贈 919.5—G74
- 五山堂詩話補遺 5卷3冊(帙)
 娛菴居士 刊 18×12
 石園佐藤政一寄贈 919.5—G74
- 王池唵社詩 2卷2冊
 遠山澹雲如・竹内鵬九萬 刊
 25×17 天保10林長孺序
 石園佐藤政一寄贈 919.5—G99
- 花岡復齋先生遺稿鈔 2卷2冊
 鈴木長兵衛 大正元刊 23×15
 919.5—H28
- 一六遺稿 2卷2冊(帙)
 巖谷一六 刊 23×15
 明治44小牧昌業序 919.5—I17
- 自画題語 4卷4冊(帙)
 竹田孝憲 天保10刊 12×9
 石園佐藤政一寄贈 919.5—J48
- 常山文集 20卷7冊
 源綱條 享保3刊 27×18
 919.5—J86
- 十句花月帖 1冊50丁
 明治44写 25×15 919.5—J92
- 殉難遺草 1冊
 明治2刊 19×14 青雲閣兼文自序
 919.5—J92
- 嘉永二十五家絶句 4卷4冊
 刊 23×16 弘化4 齊藤謙序
 石園佐藤政一寄贈 919.5—Ka15
- 鶴台先生遺稿 10卷5冊
 瀧長愷弥八 安永7刊 27×19
 919.5—Ka28
- 葛原詩話 4卷2冊
 天明7刊 23×16
 石園佐藤政一寄贈 919.5—Ka87
- 葛原詩話 4卷2冊
 天明7刊 23×16 919.5—Ka87
- 葛原詩話 後編 4卷2冊
 文化元刊 23×16
 文化元畑元禎序 919.5—Ka87
- 奎堂文稿 3卷3冊
 松本衛士権 明治4刊 23×16
 919.5—Ke21
- 奇文欣賞 4卷4冊
 刊 19×13 明治元序
 919.5—Ki11
- 今古三十六名家文抄 3卷3冊
 寺倉梅太郎 明治12刊 22×15

- 山田翠雨 文久2刊 23×16
 石園佐藤政一寄贈 919—Su52
- 東矣吟 1冊40丁
 天外一間人 明治25 高島張輔写
 27×18 内閣図書本臨写 919—To26
- 夜航詩話 3卷3冊
 津阪李緯 刊 23×14
 石園佐藤政一寄贈 919—Y16
- 助語審象 3卷3冊
 刊 18×13 文化13三上惇庵序
 919.07—J61
- 助語審象 3卷1冊
 刊 18×13 文化13三上惇庵序
 919.07—J61
- 作誌志毅 2卷2冊
 刊 23×16 天明2 高井邦淑跋
 919.07—Sa51
- 懷風藻 2冊
 天和4刊 28×16
 九峰高島張輔寄贈 919.3—Ka21
- 和漢朗詠集 1冊
 寛文2刊 27×19
 九峰高島張輔寄贈 919.3—W24
- 本朝文粹 14卷14冊(帙)
 刊 27×18
 正保5 西洞処士昌易跋 919.4—H84
- 安政三十二家絶句 3卷3冊
 刊 23×16
 安政4 菅夏長序 919.5—A49
- 梅外詩抄 2卷2冊
 南梁長 刊 26×16 919.5—B14
- 梅壠詩鈔 初編 3卷3冊
 広瀬謙吉 嘉永元刊 25×18
 石園佐藤政一寄贈 919.5—B14
- 梅壠詩鈔 二編 3卷3冊
 広瀬謙吉 嘉永元刊 26×18
- 石園佐藤政一寄贈 919.5—B14
- 梅壠詩鈔 三編 3卷3冊
 広瀬謙吉 嘉永1刊 26×18
 石園佐藤政一寄贈 919.5—B14
- 梅壠詩鈔 四編 3卷3冊
 広瀬謙吉 安政3刊 26×18
 石園佐藤政一寄贈 919.5—B14
- 米菴先生百絶 2冊
 市川米菴 天保5刊 25×15
 919.5—B32
- 米菴先生百律 2冊
 市川米菴 刊 23×16
 嘉永2 篠崎弼序 919.5—B32
- 米菴先生百律 2冊
 市川米菴 刊 25×15
 嘉永2 篠崎弼序 919.5—B32
- 米菴先生百合 2冊
 市川米菴 刊 25×15
 嘉永3 西島長孫跋 919.5—B32
- 米菴先生百合 2冊
 市川米菴 刊 23×16
 石園佐藤政一寄贈 919.5—B32
- 文政十七家絶句 2卷2冊
 刊 23×14
 文政11加藤淵跋 919.5—B89
- 文政十七家絶句 1冊
 刊 23×14 文政11藤原資愛序
 石園佐藤政一寄贈 919.5—B89
- 竹外二十八字詩 2卷2冊
 藤井啓 明治11刊 18×12
 嘉永7 森田益序 石園佐藤政一寄贈
 919.5—C44
- 竹外二十八字詩 後編 2卷2冊
 藤井啓 刊 18×12
 明治3 江木戡跋 919.5—C44
- 知雨樓詩存 8卷3冊

- 南汎日録 1冊28丁
写 27×19 915.5—N48
- 浪華四時雜詞 1冊
嘉永2刊 23×16
嘉永2 藤沢甫序 915.5—N48
- 日光紀游 1冊
刊 24×16
明治27孫時敏跋 915.5—N73
- 養笠雨談初編 3卷3冊
曲亭馬琴 享和4刊 23×16
915.5—Sa22
- 山高水長図記 4卷3冊(帙)
鴻雪爪 明治27刊 26×15
915.5—Sa65
- 慎夏漫筆 4卷4冊
西島長孫 弘化4刊 26×18
石園佐藤政一寄贈 915.5—Sh64
- 天保三十六家絶句 3卷3冊
天保9刊 23×13 915.5—Te37
- 柳橋新誌 1冊
成島柳北 刊 23×15
安政屠維協洽之歲何有仙史序
915.5—Y52
- 幽討余録 2卷2冊
曾我景童子 刊 24×15
915.5—Y99
- 千葉日記 1冊
刊 24×16
明治13水野秋彦跋 915.6—C42
- 十符の菅藪 4卷4冊
近藤芳樹 明治9刊 23×16
915.6—J53
- 花筐 1冊
前田漢子 大正13刊 24×16
915.6—H27
- 三洲先生清国紀行草本 1冊
- 明治6写 19×14
明治6 研胡子奥書 915.6—Sa66
- 棧雲峽雨日記 3卷3冊
竹添進一郎 明治12刊 28×20
915.6—Sa67
- さしもくさ 1冊
刊 28×20 915.6—Sa81
- 栢園紀行文章 2卷2冊
須川信行 明治36刊 24×17
915.6—Se17
- 917 諷 刺**
- 諺草 7卷5冊(帙)
貝原好古 元禄14刊 22×13
917—Ko94
- 919 日本漢詩文**
- 大統歌 1冊
塩谷甲蔵 大正12刊 33×22
919—D28
- 漢文異采 2卷1冊
大沼善次郎 明治31刊 22×15
919—Ka48
- 無声詩話 1冊24丁
金井鳥洲 安政2写 24×17
919—Mu83
- 泣鬼感神歴代詩文奇話 2卷2冊
田中幾之助 明治17刊 22×15
石園佐藤政一寄贈 919—R25
- 拙堂文話 8卷4冊
斉藤正謙 刊 23×16
文政13自序 天保6 土井有恪跋
石園佐藤政一寄贈 919—Se93
- 翠雨軒詩話 4卷4冊

山陽小品 2卷2冊
椒山野史謙 明治10刊 22×15
914.5—Sa67

三養雜記 4卷4冊
山崎美声 刊 27×18 914.5—Sa67

雙雀亭自筆叢刻 47丁(帙)
長井行 大正3刊 24×16
914.5—So31

譚海 2卷2冊
依田百川 明治17刊 24×16
914.5—Ta88

鉄研余滴甲集 4卷4冊
斎藤徳蔵 嘉永7刊 26×18
914.5—Te31

夜航余話 2卷2冊
東陽居士 天保7刊 23×14
石園佐藤政一寄贈 914.5—Y16

蘆のわか葉 2卷2冊(帙)
渡辺千治郎 刊 24×17
914.6—A92

成る程の記 1冊
林莊次郎 明治37刊 23×16
914.6—N53

柳橋新誌二編 1冊
成島柳北 明治7刊 23×15
石園佐藤政一寄贈 914.6—R98

犀陽遺文 1冊
野口犀陽・永山近彰 明治34刊
23×16 914.6—Sa25

915 日記・紀行

土佐日記考証 2冊
岸本由豆流 刊 27×19
九峰高島張輔寄贈 915.32—To71
標注土佐日記 1冊

久留間瑛三 明治17刊 26×17
915.32—To71

紫式部日記註釈 4卷4冊(帙)
藤井高尚 刊 24×17
915.35—Mu56

十六夜日記残月鈔 1冊(帙)
高田與清 文政7刊 27×19
木村正辞旧蔵 915.44—I98

愛日樓文 4冊
佐藤一斎 刊 26×19
文政12自序 915.5—A24

台水先生遺文 2卷2冊(帙)
町井台水・町井鉄之介 刊 26×15
大正6 桜井勉序 915.5—D27

負剣録附録付 2卷1冊52丁
頼惟完 写 28×19
安永2 田章子明甫序
大正13 九峰高島張輔與書
915.5—F73

藁葺堂雜録 5卷5冊
前曉晴 安政6刊 26×18
石園佐藤政一寄贈 915.5—Ke5

壬戌露旅漫録 3卷3冊
曲亭馬琴 明治18刊 24×16
石園佐藤政一寄贈 915.5—Ki54

木曾路記 2卷1冊
貝原益軒 正徳3刊 19×13
915.5—Ki59

香園為政 1冊
雲嶺石山人 刊 23×15
石園佐藤政一寄贈 915.5—Ko44

熊野遊記名勝図画 3冊
北圃恪斎 寛政13刊 27×19
915.5—Ku34

都繁昌記 1冊
因果道士 刊 23×16 915.5—Mi76

- 913.56—E35 北村季吟 延宝2刊 27×20
絵本楠公記初編～3編 30巻30冊 914.38—Ma38
 享和元・文化6刊 23×16
 913.56—E35
絵本漢楚軍談初輯 10巻2冊 914.42—H81
 鷓鷯貞高 刊 23×16
 4～7巻欠 913.56—E35
絵本漢楚軍談二輯 10巻3冊
 鷓鷯貞高 弘化2刊 23×16
 913.56—E35
 明治補刻**武将感状記**<近代正説碎玉話>
 10巻5冊 淡庵子 明治13刊 25×18
 913.7—B95
 明治補刻**武将感状記**<近代正説碎玉話>
 10巻5冊(帙)
 淡庵子 刊 26×18 913.7—B95
統武将感状記<中古正説碎玉話>10巻10冊
 栗原信充 刊 26×19 913.7—B95
見聞軍書 8巻8冊(帙)
 三浦淨信 寛文7刊 26×19
 茂木文庫旧蔵 913.7—Ke41
 中古正説碎玉話・**統武将感状記** 5巻5冊
 栗原柳菴 刊 25×18 913.7—Z95
- 914 評論・隨筆**
- 近世叢書** 8巻4冊
 角田九華 刊 25×18
 文政11佐藤担序 914.1—Ki46
近世叢書 8巻4冊
 角田九華 刊 25×18
 文政11佐藤担序 914.1—Ki46
統近世叢書 8巻4冊
 角田九華 刊 25×18
 弘化2川田興序 914.1—Ki46
枕草子春曙抄 12巻12冊(帙) 914.5—Sa67
- 方丈記酒説 1冊
 加藤盤斎 明暦4刊 28×20
つれつれ草 2巻1冊
 吉田兼好 寛延4刊 25×18
 九峰高島張輔寄贈 914.45—Ts83
 改正**徒然草文段鈔** 7巻4冊(帙)
 北村季吟 享保2刊 27×19
 914.45—Ts83
燕石雜誌 5巻6冊
 飯台簀笠翁 文化8刊 914.5—E63
乘燭譚 5巻1冊
 紹述 宝暦13刊 23×16
 914.5—H51
花月草紙 6巻6冊
 松平定信 天保7刊
 大和文庫旧蔵 914.5—Ka18
寄居文集初編 2巻2冊
 明治23刊 23×16 914.5—Ki29
寄居文集初編 2巻2冊
 明治23刊 23×16 914.5—Ki29
南畝莠言 2巻1冊
 太田覃 刊 27×18 914.5—N48
烹雜乃記 3巻3冊
 滝沢解 刊 26×18
 文化6龜田興序 914.5—N75
折たく柴の記 1冊
 新井白石 刊 24×16 914.5—O71
理齋隨筆 6巻6冊
 志賀理斎 刊 26×18
 文政7杉本樗園序 914.5—R47
山陽小品 2巻2冊
 椒山野史謙 明治10刊 22×15
 914.5—Sa67

- 新板絵入平治物語** 3冊(帙)
 貞享2刊 27×19 913.42—H81
- 水鏡** 3冊(帙)
 刊 26×19
 木村正辞・小沢文庫旧蔵
 913.422—Mi95
- 増鏡** 10冊(帙)
 刊 26×19
 木村正辞・小沢文庫旧蔵
 913.423—Ma67
- 関西陰徳太平記** 81巻41冊
 香川正矩・香川堯真 正徳2刊
 26×19 913.43—I57
- 難太平記** 2巻2冊
 今川了俊 貞享3刊 26×17
 913.43—N48
- 西国太平記** 2冊
 写 25×18
 巻6～20・巻24～30のみ存
 913.43—Sa18
- 勇士一言集** 5巻5冊(帙)
 元禄10刊 27×18 913.43—Y99
- 前々太平記** 21巻20冊
 建春山人橘墩 正徳9刊 26×18
 913.43—Z93
- 続太平記** 31巻20冊
 貞享3刊 27×20
 教授館図書旧蔵 913.43—Z95
- 新板保元物語** 4冊
 元禄15刊 23×17 913.432—H81
- 新板平治物語** 4冊
 元禄15刊 23×17 913.432—H81
- 源平盛衰記** 48巻25冊(3帙)
 寛政8刊 26×19 913.434—G34
- 平家物語** 12巻12冊
 寛永3刊 28×20 913.434—H51
- 平家物語** 12巻12冊
 寛永3刊 28×20 913.434—H51
- 新板絵入平家物語** 12巻12冊
 元禄11刊 23×17 913.434—H51
- 平家物語** 12巻12冊(帙)
 延宝5刊 28×20 913.434—H51
- 平家物語評林**<平家物語評判秘伝抄>
 12巻15冊 刊 28×19
 913.434—H51
- 長門本印本平家物語異同考** 1冊
 写 25×18 913.434—H51
- 新刻太平記** 40巻21冊(帙)
 天和元刊 26×20 913.435—Ta22
- 新刻太平記** 40巻21冊
 享保7刊 26×20 913.435—Ta22
- 義経記** 8巻8冊(帙)
 元禄15刊 26×19
 古蒼楼文庫旧蔵 913.436—G43
- 義経記評判** 6冊(帙)
 松風嵐 元禄16刊 28×19
 二下・三下・五下・六上・六下・七下のみ存 913.436—G43
- 宇治拾遺物語** 15巻15冊(帙)
 万治2刊 23×15 913.47—U57
- 唐物語提要** 1冊
 清水浜臣 文化6刊 27×18
 大塚文庫旧蔵 913.47—Ka62
- 狂文あつまなまり** 2巻2冊
 天保12刊 23×16 913.5—A99
- 奇文観詩本朝虞初新誌** 3巻3冊
 菊地純 明治16刊 19×13
 913.5—H84
- 日本百将伝一夕話** 12巻12冊
 嘉永7刊 26×18 913.54—N77
- 絵本太閤記**(1～7編)84巻42冊
 岡田玉山 寛政9～享和2刊 23×16

- 杉田其日庵 昭和9刊 19×13
912.4—G42
- 913 小説・物語**
- 鼈頭古事記** 3巻3冊
元禄7刊 28×19 913.2—G72
- 古事記伝** 44巻50冊(6帙)
本居宣長 天保15刊 27×19
木村正辞旧蔵 913.2—Ko39
- 古事記伝** 44巻97冊
本居宣長 天保15刊 27×19
913.2—Ko39
- 古事記伝十七附巻三大考** 1冊
本居宣長 刊 26×19
寛政3服部中庸序 913.2—Ko39
- 伊勢物語** 2巻1冊(帙)
寛永6刊 28×19
稻廼舎蔵書 朝田弓機旧蔵
913.32—I69
- 参考伊勢物語** 2巻2冊
文化14刊 27×19
三縁山三中溪清涼室蔵
縁山北溪義俊旧蔵 913.32—Sa65
- 参考伊勢物語附録** 1冊
文化14刊 27×19 913.32—Sa65
- 宇津保物語** 20巻30冊(3帙)
文化3刊 26×19 913.34—U96
- 源氏物語抜書** 1冊
寛延3写 26×19 913.36—G34
- 源氏物語湖月抄** 34冊(帙)
北村季吟 刊 27×20
延宝元自跋 飛霞楊図書・勝齊家旧蔵
913.36—G34
- 湖月抄** 60冊
北村季吟 刊 28×20
- 品川氏旧蔵 913.36—Ko25
- 校正訳注源氏物語評釈** 13冊(2帙)
萩原広道 嘉永6刊 27×19
木村正辞旧蔵 913.364—G34
- 十訓抄** 3巻3冊
元禄6刊 23×16
紫橘園旧蔵 913.37—J51
- 沙石集** 5冊
無住道鏡 貞享3刊 25×19
913.37—Sh13
- 栄花物語** 8冊(帙)
刊 28×20
石黒氏旧蔵 913.392—E38
- 標註栄華物語抄** 6巻6冊
小中村義象・関根正直 明治28刊
23×16 913.392—E38
- 標註枕草紙読本** 5巻5冊
佐々木信綱 明治24刊 23×16
913.392—Ma38
- 大鏡** 10冊(帙)
刊 26×19
木村正辞・小沢文庫旧蔵
913.393—O38
- 校定今鏡** 3巻3冊
関根正直 明治29刊 23×16
913.394—I43
- 今鏡証註** 3巻2冊
関根正直 明治30刊 23×16
913.394—I43
- 校定今鏡** 1冊
関根正直 刊 23×16
913.394—I43
- 絵入住吉物語** 2巻2冊(帙)
宝暦9刊 26×18 913.41—Su67
- 新板絵入保元物語** 3冊(帙)
貞享2刊 27×19 913.42—H81

- 明治7自序 911.167—R82 911.168—J51
類題秋草集初編 1冊
 弾琴緒 明治20刊 18×13
 下巻欠 911.167—R84
さみたれ集 1冊
 河内庸平 明治25刊 26×18
 明治24自序 911.167—Sa58
袖のしくれ 1冊
 井関美清 明治31刊 24×16
 明治30毛利元敏序 911.167—So17
滝のしふき 2巻2冊
 黒田清綱 明治11刊 23×15
 911.167—Ta73
常磐のかけ 2巻2冊
 井関美清 大正元刊 27×19
 911.167—To33
和歌類題小川集 10巻1冊
 宇津木貞夫 明治20刊 19×13
 911.167—W25
残鶯集<残鶯集詩詞> 1冊(帙)
 福島甲子三 大正2刊 25×16
 明治45田辺太一序 911.167—Z91
相川歌集 1冊
 高田慎蔵 大正2刊 24×16
 大正2佐々木信綱序 911.168—A25
巖桂堂遺藻 1冊
 関沢清彦 大正15刊 24×16
 911.168—G19
言道翁全集 4巻4冊
 大隈言道 大正3~5刊 20×13
 911.168—G34
花の下草合 1冊
 近藤清石 大正4刊 24×17
 911.168—H27
実感録 1冊
 佐藤範雄 大正14刊 22×15
欽山百首 1冊
 刊 26×16
 佐々木信綱序 911.168—Ki48
訓誠和歌集 1冊
 保田光則 大正12刊 24×16
 911.168—Ku47
明治天皇御集 3巻3冊
 大正8刊 28×20 911.168—Me25
明治天皇御集 2巻1冊
 大正11刊 22×15
 大正11鎌田栄吉序 911.168—Me25
寢覚集 1冊
 大久保春堂 明治43刊 23×16
 911.168—N69
明治皇太后御集 3巻3冊
 刊 28×20
 大正10編成奏上 911.168—Sh96
霜堤葦響 3巻3冊
 近藤清石 明治38~40刊 24×17
 911.168—So72
大正天皇御製詩集 2巻2冊(帙)
 刊 27×19 911.168—Ta24
無東西 1冊
 峯梅 文政3刊 23×16
 911.35—Mu93
くちなし花後編 2巻2冊
 小出繁 明治35刊 27×19
 911.36—Ku15
新撰狂句川柳五百題 3巻3冊
 榊原英吉 明治14刊 16×11
 911.4—Se72
912 戯 曲
義太夫論 1冊

- 九峰高島張輔・乾古堂旧蔵
911.157—Ko39
- 行余集** 1冊
刊 19×13
慶応3序 911.157—Ko96
- 名所今歌集** 3巻6冊
中尾義稻 文化14刊 27×19
上ノ上巻欠 911.157—Me26
- 六十四番歌結** 1冊
香川景樹 天保6刊 26×19
九峰高島張輔寄贈・碧潤草堂旧蔵
911.157—R63
- 類題鱧玉集** 7編14冊
加納諸平 文政11刊 19×13
原沢子作・京石園木松旧蔵
911.157—R84
- 類題武蔵野集** 2編4冊
嘉永5・安政4刊 19×12
九峰高島張輔寄贈・碧潤草堂旧蔵
911.157—R84
- 類題草野集** 12冊(2帙)
木村定良 刊 23×17
木村正辞旧蔵 911.157—So94
- かたみの落葉** 1冊
刊 26×19
萬延元井上文雄序 碧潤草堂旧蔵
911.158—Ka82
- 草根集** 15巻6冊
正徹 写 23×16
九峰高島張輔寄贈 911.158—So32
- 法水流遠** 1冊
本願寺室内部 明治9刊 34×23
911.16—H95
- くちなしの花拾遺** 2巻2冊
小出祭 明治41刊 28×19
911.16—Ku15
- 常葉園歌集** 2巻2冊(帙)
須川鶴吉 大正7刊 26×19
911.16—To33
- 勅題之歴史** 1折
長谷川小信 刊 19×13
911.167—C53
- 芙蓉会詠草** 1冊
大正11刊 24×17 911.167—F99
- 花の手むけ** 1冊
田中弥蔵 明治45刊 911.167—H27
- 適追集** 1冊
明治15刊 19×13
明治12吉川経健序 911.167—I91
- 金井題詠集** 1冊
荘司益吉 明治40刊 23×16
911.167—Ka44
- 鑑古室詠草** 1冊
小貝泉郎 大正14刊 19×13
911.167—Ka56
- くちなしの花** 3巻3冊
小出祭 明治27刊 27×19
911.167—Ku15
- 明治神宮献詠** 1冊
根本教行 大正14刊 23×16
911.167—Me25
- 明治現存三十六歌撰** 1冊
山田謙益 明治10刊 23×15
911.167—Me25
- 明治現存続三十六歌撰** 1冊
豊島有常 明治18刊 23×15
911.167—Me25
- 六華集** 2巻2冊
明治42刊 27×19
高崎正風序 911.167—R63
- 類題和歌月波集** 2巻2冊
近藤芳樹 刊 19×13

- 八代集抄 50冊
北村季吟 文政2刊 22×16
近藤為光旧蔵 911.135—H11
- 拾遺和歌集 2巻2冊
中川恭次郎 明治42刊 23×16
911.135—J92
- 校訂金葉集 1冊
井上通泰 刊 23×16 911.135—Ki48
- 古今和歌集 2冊
弘化2刊 19×12 911.135—Ko43
- 古今集遠鏡 6巻6冊
本居宣長 寛政9刊 26×19
911.135—Ko43
- 頭書古今和歌集遠鏡 1冊
本居宣長 刊 18×12
911.135—Ko43
- 古今和歌集正義 20巻4冊(帙)
香川景樹 明治29刊 22×15
天保3自序 911.135—Ko43
- 古今和歌宇比麻奈飛 2巻2冊(帙)
鈴木重胤 明治39刊 19×13
弘化3平嘗重序 911.135—Ko43
- 古今和歌集新釈 14巻4冊
中川恭次郎 明治44刊 23×16
911.135—Ko43
- 古今和歌六帖標注 6冊(帙)
山本明清 天保14刊 27×19
木村正辞旧蔵 911.135—Ko43
- 校訂詞花集 1冊
藤原顯輔・井上通泰 明治42刊
23×16 911.135—Sh33
- 和歌三代集 3冊(帙)
明治12・18刊 12×8 911.135—W26
- 南朝忠臣 1冊
有馬太郎 昭和5刊 23×17
911.14—N48
- 歌聖として宗良親王 1冊
高柳秀雅 昭和12刊 23×16
911.142—Ka74
- 新古今和歌集 4冊
明暦元刊 26×18 911.145—Sh64
- 現存百人一首 1冊15丁
写 27×18 911.147—G34
- 百首異見 5冊
香川景樹 天保6刊 26×19
911.147—H99
- 怜野集 12巻12冊(帙)
文化3刊 24×16 911.147—R84
- 新葉和歌集 1冊
大町壮 明治14刊 23×15
911.147—Sh69
- うすこほり 1冊
刊 26×19
天保3禪尼嘯月序 911.15—U95
- 桂園大人消息 1冊28丁
写 25×17
九峰高島張輔寄贈 911.152—Ke22
- 三草集<よもぎ・むくら・あさち>
3巻3冊 松平定信 文政10刊 14×9
九峰高島張輔寄贈 911.152—S66
- 延齡松詩歌後集 1冊
上田光美 刊 23×16
玉壺堂藤本氏旧蔵 911.157—E63
- 五十四番歌結 1冊
香川景樹 文化14写 27×20
九峰高島張輔寄贈 911.157—G58
- いほへなみ<五百重波> 6巻1冊
刊 23×17
文政2本間游清序 碧潤草堂旧蔵
911.157—I25
- 紅塵和歌集<紅塵集類題> 2巻2冊
文化9刊 18×12

- 細川幽斎 享保2刊 23×16
911.101—H94
- 奥義抄 3巻8冊(帙)
藤原清輔 慶安5刊 27×18
木村正辞・鶴文庫旧蔵
911.101—Ki92
- 初学和歌式 1冊
有賀長伯 正徳3刊 23×17
岡村氏旧蔵 911.101—Sh95
- 古今類句 34冊(3帙)
山本春正 寛文6刊 28×20
木村正辞旧蔵 911.103—Ko44
- 和歌麴の壘 1冊
有賀長伯 明治40刊 19×13
享和元自序 911.103—W18
- 歌神考 1冊
明治2刊 26×19 911.104—Ka76
- 寄居歌談 4巻6冊
弘化2刊 23×16 911.104—Ki29
- 玉霰窓の小篠 5巻5冊
明治21刊 23×16
明治20中島惟一序 911.108—G99
- 類題風月集 3巻3冊
近藤芳樹 刊 18×13
911.108—R84
- 類題草根和歌集 1冊
北川真龍 写 17×11
上巻欠 九峰高島張輔寄贈
911.108—So32
- 和歌ふるの山ふみ 2冊
城戸千楯 刊 19×13
巻3巻4のみ存 911.108—W18
- 萬葉集美夫君志 2巻8冊(帙)
木村正辞 昭和4刊 23×15
911.12—Ma48
- 萬葉考<万葉集大考> 6巻6冊(帙)
- 賀茂真淵 天明5刊 26×18
巻1～巻6のみ 木村正辞旧蔵
911.124—Ma48
- 萬葉考別記 6巻3冊(帙)
賀茂真淵 天明5刊 26×18
911.124—Ma48
- 人麻呂集 1冊(帙)
賀茂真淵 天明5刊 26×18
911.124—Ma48
- 萬葉集傍注 20巻20冊(2帙)
林信徴 寛政元刊 27×19
木村正辞旧蔵 911.124—Ma48
- 萬葉集略解 20巻30冊(3帙)
橋千蔭 寛政8刊 27×19
木村正辞・東溟堂旧蔵
911.124—Ma48
- 萬葉集略解 20巻32冊
橋千蔭 刊 26×19
寛政3自序 911.124—Ma48
- 萬葉集註疏 3巻6冊
中川恭次郎 明治43刊 23×16
911.124—Ma48
- 新百人一首 1冊
足利義尚 刊 27×18
911.13—Sh69
- 後拾遺和歌集 2巻2冊
中川恭次郎 明治42刊 23×16
911.135—G58
- 後撰和歌集 2巻2冊
中川恭次郎 明治42刊 23×16
911.135—G69
- 後撰集新抄 10巻4冊
中川恭次郎 明治44刊 23×16
文化9本居大平序 911.135—G69
- 八代集 9冊
高野保春写 25×18 911.135—H11

816.8—J 78
 小学生徒作文自在 1冊
 高橋謙三郎 明治9刊 23×16
 816.8—Sa44
 増評小文規則 1冊
 頼山陽 明治11刊 19×13
 816.8—Sh95

写17丁 25×17 826—Ki58
 和読要領 2冊(第2欠)
 太宰弥右衛門 享保13刊 23×16
 827—W12
 翻訳名義集 7冊(帙)
 法雲 寛延3刊 829.82—H85

900 文 学

820 中 国 語

説文解字 15卷16冊
 許慎 嘉慶19序 刊 29×17
 821—Se93
 説文解字翼微 14卷6冊(4部)
 刊 31×19 821—Se93
 五車韻瑞 25冊
 凌稚隆 万曆19序 刊 26×19
 822—G69
 朝陽閣字鑿第一函篆部 30卷16冊(帙)
 高田忠周 明治34奥書 刊 27×17
 823—C57
 佩文韻府 101卷200冊(箱)
 張玉書 康熙50序 刊 22×19
 823—H15

字彙 17卷13冊
 膺祚 万曆43序 刊 27×20
 823—J48
 康熙字典 40冊(箱)
 徵玉書 康熙55序 刊 25×16
 823—Ko43
 康熙字典 42卷41冊(帙)
 徵玉書 安永9刊 27×19
 823—Ko43
 字典<康熙字典> 40冊
 徵玉書 刊 26×17 823—Ko43
 綿震川文章体則 1冊

910 日 本 文 学

明倫歌集 6卷5冊
 徳川齊昭・鶴峯戊申 刊 23×16
 文久元源頼位跋 910.108—Me25
 日本文学史綱 1冊
 畠山健 明治40刊 23×15
 910.2—N77
 固本策 1冊
 渡辺重石丸 明治22刊 27×19
 910.23—Ko27
 嵯峨本考 1冊
 和田維四郎 大正5刊 32×24
 910.25—Sa15

911 詩 歌

秋野七草考 1冊
 北野菊塙 文化9刊 24×17
 911.1—A36
 和歌麿之塵 3卷3冊
 有賀長伯 刊 18×12
 享和元自序 911.1—W17
 和歌ふるのやまのふみ 1冊
 城戸千楯 刊 19×13
 文政7大江広海序 911.1—W18
 細川幽齋公聞書 2卷1冊

山鹿素行 刊 13×16 789—B87
武教全書 5冊
山鹿素行 万延年序 刊 26×18
789—B87

790 諸芸・娯楽

茶経 3卷2冊
陸羽 天保15刊 26×18 791—C31
茶式花月集 前後編4冊
天保8・10刊 26×18 791—C35
茶抄名所 1冊
写72丁 25×18 791—C35
茶湯三十体 1冊
半田庵家一 文化元写26丁 25×17
791—C36
直導 (甲之卷) 3冊
写 25×18 791—J51
茶道之大概相授書板 1冊
吉田家菴・小城家甫 享保13奥書
写43丁 25×18 791—Sa13
千家茶湯式 1冊
写43丁 24×18 791—Se63
石州流三百箇条 2冊
片桐貞昌 写 25×18 791.2—Se39
茗壺図録 2冊(帙)
奥玄宝 明治9刊 22×14
791.5—Me25
松月堂古流生花独習自在 2冊
明治43刊 23×15 793—Se17
泰策集 2冊
安藤豊次 大正元刊 23×16
795—Ta24

800 語 学

810 日 本 語

叡覧変勢い於む符<国字史要> 1冊
片岡哲 明治43刊 27×19
811.56—H53
仮名遣及仮名字体沿革史料 1冊
帝国学士院 明治42刊 41×29
811.56—Ka48
古言梯 1冊
楫取魚彦 文政3刊 28×19
811.56—Ko25
てにをは細鏡 1折
本居宣長 明治12刊 12×6
811.6—Te36
日本大玉篇 3冊
石川鴻斎 明治24刊 813—N77
文藻行潦 3冊
山本信有 天明2刊 16×11
813.2—B89
今体記事文範 下1冊
泰成圭 明治12刊 12×9
813.4—Ki46
古語集覽 1冊
大畑春国 慶応2序刊 18×12
813.4—Ko26
女子消息文かきぶり 2冊
小野鯛之助 明治24刊 24×16
816.6—J78
書讀日用文 2冊
文部省 明治8刊 23×15
816.6—Sh95
女子消息文範 2冊
小原燕子 明治13刊 23×16

- 摺印補遺 1冊
細谷石隠 文化7刊 9×18
739.8—Ku45
- 歴朝名公款譜 1冊
藤博泉 文化5写 25×18
739.8—R25
- 歴朝名公款譜 3冊
藤博泉 文化5刊 28×19
739.8—R25
- 竜鱗留影 2冊(帙)
益田厚 大正5刊 20×13
739.8—R99
- 清激印譜 2冊刊
光緒34序 陳心培 19×13
739.8—Se19
- 水月齋印譜 3冊(帙)
明治11刊 19×13 739.8—Su51

740 写真術

- 古染付百品 1冊(帙)
北大路魯卿 昭和7刊 31×31
747.75—Ko83
- 古染付百品集 1冊
北大路魯卿 昭和6刊 31×31
747.75—Ko83

750 工芸

- 校注項氏歴代名瓷圖譜 1冊(帙)
郭保昌 中華民國20刊 41×29
751.32—Ko87
- 藏六漫筆古陶錄 1冊(帙)
真清水藏六 大正14刊 25×16
751.32—Ko94
- 支那古陶瓷 1冊(帙)

大谷光瑞 昭和7刊 26×19
751.32—Sh58

- 本多家量具足之図 1冊
刊 26×19 756—H84
- 桃陰廬和漢古鑑図録 2帖(帙)
関信太郎 大正14刊 37×29
756.5—To26
- 桃華盞古鏡図録 1冊(帙)
富岡益太郎 大正13刊 39×30
756.5—To28
- 珮弦齋雜著 4卷2冊
青山延光 天保5序 刊 26×17
756.6—H15
- 改版増補装束甲冑図解 2冊
関根正直 明治38刊 23×16
756.7—Sh97

760 音楽

- 楽学軌範 9卷3冊
明和8刊 28×18 762.1—G16
- 藤のしなえ 1冊
明治7刊 23×16 768.22—F64
- 菅公 1冊
田尻稻次郎 明治45刊 28×19
768.3—Ka56
- 声曲類纂 5卷6冊
齊藤月吟 明治22刊 26×18
768.5—Se17

780 体育・スポーツ

- 練水要訣 3冊
武田泰信 明治11刊 23×16
785.2—R27
- 武教全書 1冊

- 大正3 25×19 728.8—Sh99
- 菘翁先生楷書朱子家訓帖 1帖(帙)
貫名苞書 大正元刊 31×16
728.8—Sh99
- 集古帖 1帖写8丁
趙翼 趙文命 趙泰億
36×24 728.8—Sh99
- 蒼巖真帖 1帖写
李三晚 38×29 728.8—So26
- 尊敬帖 1帖(第5)写17丁
尹屏溪 円巖 李沢堂 34×33
728.8—So42
- 僧靈業書 1丁 拓貼込 13丁
「海東故神行禪師之碑并序」
関泳哲旧蔵 35×26 728.8—So55
- 宋朱子書易繫 1帖
刊 44×36 728.8—So63
- 蘇子瞻真蹟 1帖 23丁
蘇軾書の拓 36×23 728.8—So63
- 宋拓澄清堂殘本 3帖 拓
(王右軍帖) 30×18 728.8—So71
- 垂裕閣法帖 1帖 拓刊
趙孟頫の書 文政元跋 30×16
728.8—Su52
- 多宝塔 1帖 拓 33丁
天宝11 「大唐西京千福寺多宝仏塔感応
碑文」 32×16 728.8—Ta19
- 大宝箴 1帖
刊 39×28 728.8—Ta22
- 退陶遺墨 1帖写8丁
程伊川・朱子らの書を退溪李滉の書した
もの 40×20 728.8—Ta22
- 貞谷書跋 1帖写4丁
貞谷(滄翁カ) 32×22
728.8—Te24
- 鄭義下碑 1帖 拓 41丁
- 鄭文公碑 33×17 728.8—Te31
- 東華筆真 1帖写25丁
安平大君 韓護 蘇世讓 41×30
728.8—To28
- 東国諸賢遺墨 1帖写13丁
李兆年 成三問 楊子彦 34×21
728.8—To23
- 東宮邸下手書 1帖写5丁
金嘉鎮旧蔵 49×27 728.8—To23
- 東宮邸下手論 1帖写3丁
内題「世子睿筆」 48×31
728.8—To23
- 葉峰法帖 2帖写
葉峰(徐洵) 34×28 728.8—Y16
- 法帖 1帖写 36×13
(前赤壁賦外) 728.8—H81
- 正統文房圖讚 附十友図讚 2冊
寛政6刊 27×19 729—B89

730 版 画

- 梅軒遺墨 2冊(帙)
岡村恒男 大正10刊 20×11
739—B14
- 韻府古篆彙選 5冊
正徳3刊 27×18 739—I57
- 篆刻鍼度 8巻2冊(帙)
明治37刊 15×10 739—Te39
- 宝蘇堂印存 6冊(帙)
刊 21×13 739—H93
- 印譜 1冊
刊 22×16 739—I57
- 乘槎印譜 1冊 24×15
金台錫 明治41刊 739—J76
- 摺印補正 2冊 9×18
細谷石隱 享和2刊 739.8—Ku45

- 正祖 5 5丁 41×17
- (7) 英祖諭濟州前御章甫軍民等書 英祖
39 4丁 51×22
- (8) 肅宗諭濟州旌義大靜耆老軍民閑良人
等書(金普沢書) 肅宗 25×22
- 參峯遺墨 1帖写 2丁
鄭道伝 60×31 728.8—Sa63
- 成文貞公筆蹟 1帖写 7丁
成守琛(子孫筆写) 35×27
728.8—Se12
- 西譚公西征録 1帖写 23丁
領議政黃璉 万曆27 31×21
728.8—Se19
- 石峰真墨 1帖写 5丁
韓護(石峰) 33×22 728.8—Se28
- 石峰書 1帖写 21丁
韓護 36×24 728.8—Se28
- 先賢遺墨 1帖写 8丁
李尚毅 金世弼 鄭琢 韓浚謙 安平大
君 35×22 728.8—Se67
- 先賢遺芳 1冊
三重県 大正4刊 39×26
728.8—Se67
- 先賢簡牘 1帖写 25丁
尹煌 金誠一 趙憲 李希韻
43×30 728.8—Se67
- 先輩詩帖 1帖写 16丁
申象村 柳西炯 李漢陰 37×24
728.8—Se72
- 先輩詩帖 1帖写 43丁
高敬命 宋浚吉 郭再祐 36×26
728.8—Se72
- 先輩往復 1帖写 21丁
宋浚吉 宋時烈 鄭維城
728.8—Se72
- 先世帖 第1卷 1冊写 20丁
- 急流亭興慶・侍直公漢佐 34×23
728.8—Se73
- 四勿箴 1帖写 11丁
31×24 728.8—Sh34
- 最遺書 1帖写 11丁
大院君李昰応 仁敦公相權
41×27 728.8—Sa18
- 新居帖 4冊(帙)
頼山陽 弘化4刊 30×18
728.8—Sh64
- 真境妙悟 林水観 1帖
李斯 顔真卿 刊 36×24
728.8—Sh64
- 摺紳筆 1帖写 24丁
李朝名筆 41×29 728.8—Sh69
- 諸家書牘 1帖写 14丁
宋同春 朴世采 尹宜挙 30×25
728.8—Sh95
- 諸賢簡牘 1帖写 3丁
金長生 兪応孚 34×22
728.8—Sh96
- 諸臣製進 1帖写 19丁
閔百祥 金漢考 李昌誼 38×25
(濬川堂における聯句製進)
英祖36 728.8—Sh96
- 諸家書牘 1帖写 41丁
李慶億 金万基 金寿恒 趙相愚
34×30 728.8—Sh96
- 蕭選品節 3冊写
26×17 728.8—Sh96
- 松譚所藏 1帖写 18丁
鄭知和 朴長遠 李瑞相 李敏叙
33×22 728.8—Sh96
- 春舫 1帖 8丁 刊
27×17 728.8—Sh99
- 祝捷之文芸 1帖写 16丁

- 寅, 趙世煥, 李澄 (仁祖代)
 (午) 李朝—南九万, 沈益顯, 宋時烈 (孝宗代) 金字杭, 金相肅, 尹衡聖, 南有容, 李東稷 (顯宗代)
 (未) 李朝—金寿恒, 葵景先, 尹集, 南二星, 申在周 (孝宗代)
 (申) 李朝—朴文秀, 李敏樹, 李海朝, 金喜沢, 尹鳳五 (肅宗代)
 (酉) 李朝—成天柱, 鄭弘淳, 俞彦民, 金陽沢, 李存秀 (英宗代)
 (戌) 李朝—洪鳳漢, 黃景源, 李濟遠, 李頃, 李宇夏 (英宗代)
 (亥) 李朝—洪翼漢 (仁祖代) 正宗, 鄭晚錫, 趙斗淳 (純祖代)
 728.8—Me25
- 名賢簡牘** 11帖写各16丁
 新羅—李朝代の名筆 728.8—Me25
- 烘雲堂帖** 1帖写 22丁 36×25
 石陽正 宋民古 曹世傑 洪得龜 李維新 申緯 (画集) 728.8—Ko95
- 謙齋閩東六景** 1帖写 4丁
 謙齋画帖 (江原道三日浦諸景)
 728.8—Ke51
- 九醞八珍** 1帖写 8丁
 英祖22 43×26 728.8—Ky48
- 波斯市** 1帖写 5丁
 金生 元天錫 吳億齡 成三問
 42×32 728.8—P 43
- 畫面帖** 1帖写 10丁
 金龜漢 韓旭 (花谷) 姜世晃
 31×23 728.8—Sh95
- 駱坡筆戲** 1帖写 5丁
 (水墨習画帖) 37×28
 728.8—R 12
- 見聖菴勸護帖** 1帖写 2丁
 豊原府院君趙 (願堂守護僧宛)
 46×28 728.8—Ka51
- 美与能飛可利** 1冊 (帙)
 福島甲子三 明治43刊 31×25
 728.8—Mi91
- 摸霞帖** 1帖写12丁
 尹斗寿 李恒福 崔鳴吉 28×19
 (書者—紫霞老人) 728.8—Mo21
- 応製稷帖** 1帖写
 英祖 6 (時製進第一位の趙顯命を賞賜) 41×25 728.8—O75
- 王鐸墨蹟** 1帖写17丁
 王鐸 36×23
 「商邱慄菴氏宋繡識」 728.8—O83
- 歴代鐘鼎器款識法帖** 4冊
 光緒29刊 30×18 728.8—R25
- 李匡師法帖** 1帖写22丁
 李匡師 31×20 728.8—R 42
- 麟角碑** 1帖写 6丁
 33×20 728.8—R 45
- 六家墨** 1帖写
 27×16 728.8—R 63
- 竜灣勝遊帖** 1帖写 6丁 49×23
 趙泰億 李真俛 權益淳 李弘模 吳命新 李時恒 728.8—R 99
- 濟州島閩係教諭等刷本** 8帖 (拓)
 (1) 濟州賑恤教書 2丁 37×19
 (2) 正祖養老務農頒行小学五倫行夷鄉飲儀式郷約条例繪旨 (牧使柳師書)
 嘉慶2 65×20
 (3) 英祖庇羅慰諭繪旨 乙未年 3丁
 40×15
 (4) 英祖諭濟州大小耆老軍民諭書 (前県官高処亮書) 英祖9 4丁 43×20
 (5) 肅宗濟州餓死人等賜祭文 肅宗42
 45×20
 (6) 正祖諭濟州大靜旌義等邑父老民人書

- 43×32 728.8—Ka59 尹鳳五 閔昌洙 43×33 728.8—Ko41
- 簡牘小集** (錦南山房藏帖) 2帖写
金若魯 洪樂性 申緯 李信敬 李亨元
金魯敬 45×29 728.8—Ka59
- 健筆帖** 1冊
前田剛二 明治43刊 27×18 728.8—Ke51
- 筠園帖** 1帖写15丁
筠園俞漢芝 33×23 728.8—Ki14
- 金齋弄翰** 1帖写15丁
姜世晃 (豹菴) 24×14 728.8—Ki41
- 近儒帖** 4帖 (第1·2·3·5)
写 退溪 西崖 鶴峯 愚伏 728.8—Ki44
- 金石圖說** 4冊
光緒19刊 35×25 728.8—Ki46
- 金槿齋四體書法** 1冊
宣統元刊 27×16 728.8—Ki46
- 絳帖** 12冊 (箱)
刊 30×16 728.8—Ko15
- 弘義明公碑** 1帖 拓
嘉慶14跋 刊 27×15 728.8—Ko26
- 興盡帖** 1帖写25丁
(首末江山水畫) 43×29 728.8—Ko39
- 簡帖** 1帖写6丁
李時堯 41×31 728.8—Ka49
- 古簡帖** 3帖写 39×29
奇大升 鄭南谷 南宜拙 閔老峯 李大用 黃俊良 728.8—Ko41
- 古簡帖** 1帖写17丁
李溟 任義伯 金壽恒 李瑞相 37×25 728.8—Ko41
- 古簡帖** 1帖写41丁
尹鳳五 閔昌洙 43×33 728.8—Ko41
- 古簡帖** 1帖写18丁
李慶億 金在魯 32×22 728.8—Ko41
- 古簡集影** 10袋 (第1—10輯)
東京帝大史料編纂所 大正13刊 728.8—Ko41
- 古簡書** 2帖写19丁
李明漢 李一相 李啓 李廷龜 李殷相 李弘相 40×33 728.8—Ko41
- 古今歷代法帖** 1冊 (4部)
刊 33×22 728.8—Ko44
- 皇國州名歌** 1冊
米庵先生 刊 28×14 728.8—Ko44
- 高麗慈燈塔碑** 1帖
拓 22丁 35×23 728.8—Ko79
- 廣載帖** 1帖写12丁
趙顯命 金始炯 洪象漢 38×26 728.8—Ko81
- 古蹟** 1帖写11丁
金壽恒 宋俊 李瑜 30×22 728.8—Ko94
- 名賢簡牘** 12帖写 37×24
(子) 新羅·高麗朝一金生, 崔致遠, 申德隣, 閔思平, 崔沖, 元天錫
(丑) 李朝一黃喜, 柳寬, 洪応, 朴彭年, 成三問, 李安柔, 南致元
(寅) 李朝一任説, 金正國, 李滉, 慶世仁, 李承孝, 成守琛 (中宗代)
(卯) 李朝一申夫人, 韓護, 曹植, 楊子彥, 李忠元, 李達 (明宗代)
(辰) 李朝一任惟政, 李恒福, 李好閔, 李光庭, 李元翼 (宣祖代)
(巳) 李朝一李廷龜, 李尚真, 韓孝仲, 成渾 (宣祖代) 金澄, 李弘淵, 吳斗

- 拓(米芾書) 39×29 728.8—H81
- 北征贈言 1帖写 13丁
李廷龜 吳億齡 宣祖38
(咸鏡道觀察使李時亮への贈詩)
728.8—H82
- 北宋拓集王聖教序 1折
刊 36×21 728.8—H82
- 北宋拓化度寺碑 2冊(帙)
大正2刊 34×19 728.8—H82
- 統法林墨華 2冊(帙)
明治34版 刊 33×26 728.8—H89
- 鳳山別帖 1帖写 7丁 39×26
曹明教 尹得雨 景宗元 (趙子漸赴任
時の送別詩帖) 728.8—H97
- 遺稿 1帖写 9丁
趙泰億 29×17 728.8—I37
- 印画帖 1折 刊
32×25 728.8—I52
- 維新志士遺芳帖 2冊(帙)
渡辺為藏 明治43刊 728.8—I79
- 似蘭帖 1帖 拓13丁
王羲之 歐陽詢 金正喜 30×18
728.8—J53
- 寿北帖 1帖写 17丁
李匡師(道輔) 33×16
728.8—J87
- 儒近帖 3帖写 30×28
金祖淳 李集斗 洪義浩 南公轍
「硯田書屋藏」 728.8—J92
- 淳化秘閣法帖考正 12卷8冊
雍正8序 刊 29×18 728.8—J96
- 海東古簡牘 1帖写 7丁
道源齋 金誠一 金正国 金河西
35×46 728.8—Ka21
- 海東名筆 1帖写 10丁
鄭崑寿 禹性伝 金応南 曹好益
39×26 728.8—Ka21
- 海東名筆 1帖 拓14丁
金生(新羅) 35×18
(白月碑貼込法帖) 728.8—Ka21
- 海東名蹟 1帖写 13丁
李好閔 洪履祥 李梧里
34×33 728.8—Ka21
- 海東筆藝 1帖写 30帖
金生 李杏村 吳竣(竹南) 洪重晋
(梨川) 35×26 728.8—Ka21
- 海岡蘭竹譜 2帖 拓
金圭鎮 大正5刊 728.8—Ka21
- 翰墨清玩 2帖 写
金生以下歴代名筆 32×21
728.8—Ka48
- 翰墨林 3冊写(帙)
沈守慶 金玄成 李好閔 洪履祥 黄耆
老 24×15 728.8—Ka48
- 感慕帖 第2卷1冊写18丁
韓龜慶 韓斗慶 34×23
728.8—Ka48
- 簡帖 1帖写18丁
成三問 成世昌 成守琛
36×24 728.8—Ka49
- 咸營別章帖 1帖写11丁
白下尹淳 38×24 728.8—Ka49
- 韓護氏法帖 1帖写16丁
35×19 728.8—Ka54
- 簡牘 1帖写22丁
李滉 康惟善 南恩古 宋象賢
33×22 728.8—Ka59
- 簡牘 1帖写38丁
李世長 李青湖 李載元
38×23 728.8—Ka59
- 簡牘帖 3帖写
李元翼 金集 尹昉 姜碩期

- 朴世堅 (謝恩副使閔聖徽送別の詩)
41×28 728.8—Te23
- 朝鮮真筆 1帖写9丁
許眉叟 44×28 末尾に「謁稿原文穆廟文」
728.8—C54
- 朝鮮名家真筆 1帖写12丁
洪公慶 李芝峯 申公濡 李公竣 李公德 35×33 728.8—C54
- 朝鮮名家親筆 1帖写16丁
韓護 黄俊良 李義健 金尚憲
41×28 728.8—C54
- 朝鮮書道菁華 5冊(帙)
比田井鴻 昭和6刊 37×25
728.8—C54
- 賜餞帖 1帖写6丁
英祖38 33×24 728.8—Sh89
- 聽松先生真筆 1帖写5丁
成守琛 32×20 728.8—C55
- 大東金石目 1帖
京城帝大法文学部 昭和7刊
728.8—D28
- 大東金石書 1帖
京城帝大法文学部 昭和7刊 38×28
728.8—D28
- 同春簡帖 1帖写13丁
宋浚吉 37×27 728.8—D88
- 同堂帖 1帖(第4卷)
写 20丁 34×23 728.8—D81
- 英光堂帖 1帖
拓 (破損) 39×21 728.8—E38
- 熒陽鄭文公之碑 1帖
拓 41丁 33×17 728.8—E39
- 益齋月落帖 1帖写21丁
李齊賢 44×30
「耳溪(洪良浩)珍藏」
728.8—E42
- 顔魯公上王侯射墨射 1帖
拓 36×23 728.8—G19
- 顔魯公墨蹟 1冊写1丁
明治45 37×21 728.8—G19
- 阮堂法帖曹訥人并書 1帖写12丁
金正喜 38×24 728.8—G34
- 御製題名帖 1帖刊写 10丁
正祖元 42×31
(御前親幕題名帖) 728.8—G99
- 玉洞書帖 1帖写9丁
李淑(玉洞) 38×23 728.8—G99
- 白下帖 1帖写 28丁
尹淳(仲和・白下) 肅宗36 36×26
728.8—H17
- 白下帖 1帖
拓 尹淳 29×17 728.8—H17
- 白下帖 1帖写
尹淳 33×19 728.8—H17
- 白沙手蹟 1帖刊
李恒福(白沙) 肅宗27 44×27
728.8—H19
- 白月禪師碑 1帖
拓 「新羅大朗懸和尚白月葆光塔碑銘」
35×23 728.8—H19
- 白華遺墨 1帖写 15丁
洪慎猷 李太王27 29×15
728.8—H19
- 白華遺墨 1帖写
洪慎猷 30×20 (洪徽之の印記)
728.8—H19
- 秘閣帖 1折(箱)
刊 33×20 728.8—H57
- 筆叢 1帖写 20丁
李晚秀 徐邁修 洪義浩 36×25
728.8—H77
- 法帖 1帖(14枚)

- 728—B 32
- 米菴墨談統編** 3冊
市川米菴 文政10序 刊 23×15
728—B 32
- 墨場必携** 4冊
市川米菴 天保9刊 20×13
728—B 63
- 学書摘要** 1冊 刊
東州左濶(君沢) 寛政4序 27×18
728—G 16
- 雅游漫録** 7冊(帙)
大枝流芳 宝暦13刊 23×16
728—G 29
- 囊中錦心** 2冊
勾田寛弘 文化11跋 刊 18×13
728—N 91
- 書述** 3冊
沢田東江 寛政10刊 26×18
728—Sh 96
- 墨林清芬** 1冊
熊谷直之 明治44刊 20×13
728.21—B 63
- 書家自在** 3冊
武田伝右衛門 大正6刊 15×9
728.3—Sh 96
- 隸弁** 8卷2冊
顧藹吉 寛政4刊 26×18
728.1—R 25
- 書法真訣** 4卷1冊(帙)
金圭鎮 大正4刊 24×16
728.1—Sh 95
- 草字彙** 6冊(帙)
石梁 大正3刊 23×15
728.1—So 31
- 学書纂言** 1冊
文久2写19丁 25×17 728.3—G 16
- 六体筆論習字帖** 2冊
大正6刊 32×10 728.3—R 42
- 書法詳解** 4冊(帙)
稲川雲谿 大正7刊 24×16
728.3—Sh 95
- 別章帖** 1帖写22丁 43×29
仁祖24 宋賛 趙錫胤 楊萬古
(李静寂送別の詩) 728.8—B 39
- 姜豹庵先生遺墨** 1帖 写刊
姜世晃 睿宗16跋 26×19
728.8—Ku 99
- 眉山草法** 1帖
刊 41×26
(蘇軾の醉翁亭記) 728.8—B 47
- 木堂先生韵語** 1冊
昭和9刊 22×15 728.8—B 63
- 戊辰朝天別章帖** 3帖写 41×28
仁祖6 李奴敏 申欽 李廷龜 金青陸
尹河浜 李蒼石 李浩庵
(明毅宗即位陳賀副使閔聖徽の送別詩帖) 41×28 728.8—B 66
- 舞鶴賦** 1冊
刊 30×17 728.8—B 87
- 文徵明法帖** 1冊
刊 37×17 728.8—B 89
- 竹泉遺墨** 1帖写29丁
李徳綱 42×27 728.8—C 44
- 別章帖** 1帖写8丁 32×19
金履生 李晩秀 徐榮輔
<竹里休沐就江為任所贈以一律>
728.8—C 44
- 丁丑入学図帖** 1帖写16丁 39×26
純祖17 (純祖世子入学時の儀式)
728.8—Te 21
- 丁亥赴燕別章帖** 2帖写
仁祖25 尹新之 金寿賢 李冥 黄漫浪

670 商 業

商画 1冊
明治元刊 18×12 674—Sh95

700 芸 術

九鬼男爵日本美術論 1冊
橘高乙一 明治41刊 26×18
702.1—Ky48

甌鉢羅室書画過日攷 4冊
李玉葵 光緒20序刊 27×16
702.21—O28

円山勝会図録 3冊(帙)
熊谷久兵衛 明治9刊 14×10
703.8—E64

江川太郎左衛門記念写真帖 1冊(帙)
刊 31×41 708—E29

李王家博物館所蔵品写真帖 2冊(帙)
大正元刊 38×26 709—R45

710 彫 刻

増補諸宗仏像図彙 5冊
元禄3跋刊 26×18 718—B97

720 絵 画

画乘要略 4巻2冊
白井華陽 天保2刊 22×16
720—G15

鉄園画談 1冊
佐久間鉄園 明治40刊 24×16
720.4—Te86

聴雨堂書画図録 2冊(帙)

渡辺省亭 明治24刊 26×17
721—C57

扶桑画人伝 5冊(帙)
古筆了仲 明治17刊 27×18
721—F96

自画題語 4冊
田能村竹田 天保14刊 13×9
721—J48

山中人鏡舌 2巻1冊
田能村竹田 天保6刊 18×10
721—S61

本朝画史 5冊
狩野永納 元禄6刊 23×16
721.02—H84

本朝画印 1冊
狩野永納 元禄6刊写 23×16
721.02—H84

緑山聚珍 1冊
増上寺 明治44刊 25×38
721.1—E64

北斎略画手ほどき 1冊
葛飾北斎 大正8刊 18×13
721.8—H82

朝鮮書画家列伝 1冊
吉田英二郎 大正4刊 19×13
722.1—C54

天下有山堂墨竹蘭石譜 1冊
雍正2序写 25×17 724.1—Te36

728 書・書道

米家書訣 1冊
市川米菴 享和元刊 23×17
728—B32

米菴墨談 3冊
市川米菴 文化9刊 23×15

新刊補註綱人論穴鍼灸図経 5卷2冊

宣統元刊 31×18 498.145—D83

斗室法語養生弁 1冊

濟門敬冲 明治30刊 24×17
498.3—Y73

月令広義 25卷12冊

万曆29序刊 27×17 499.34—G38

尚藥所備用方 1冊

写48丁 16×11 499.8—Sh97

本草和漢名 1冊

写48丁 16×11 499.9—H85

傷寒論 1冊

張仲景・王叔和 正徳5序刊
19×12 499.9—Sh96

葶筵小續 1冊

小野蘭山 文化5刊 23×17
499.9—Te86

500 工 学

520 建 築 学

国宝姫路城 3冊(帙)

姫路市役所 昭和13刊 39×27
521.8—Ko47

大阪城誌 3冊

小野清 明治32刊 23×15
521.82—O73

北京宮殿建築裝飾 80図(帙)

東京帝大工科大学(学術報告7号)
明治39刊 38×50 522.206—P36

清国北京皇城 172図(帙)

東京帝室博物館 明治39刊 38×50
522.206—Sh64

580 製 造 工 業

酒史新編 2冊(2部)

青山勇 明治10刊 24×15
588.52—Sh99

590 家 事

家政要旨 上1冊(下欠)

ハスケル(永峯秀樹訳) 明治10刊
18×12 590—Ka74

絵入子供育草 上1冊(下欠)

村田文夫 明治6刊 23×15
599—Ko21

600 産 業

昨夢録 1冊

平山成信 大正14刊 22×15
606—Sa45

610 農 業

農政本論 9卷10冊

佐藤信淵 文政12序刊 23×16
611—N97

社倉私議 1冊

中井竹山 寛政6序刊 26×18
611.39—Sh13

山林經濟 19卷5冊

写 30×21 611.98—Sa66

草木六部耕種法 20卷16冊

佐藤信淵 明治7刊 23×15
615—So38

(慶長活字本)

459—U75

69丁 27×19 399.2—R 63

刪定紀効新書撮解 12卷7冊(帙)

嘉永7刊 27×19 399.2—Sa67

校訂七書 2冊

刊 27×13 399.2—Sh24

七書直解 12卷13冊

寬永20刊 29×19 399.2—Sh24

七書正文 1冊

溪百年刊 18×13 399.2—Sh24

七書正義 7卷10冊 刊

関重秀 文化10序 26×18
399.2—Sh24

孫子新釈 13卷1冊

久保天随 明治44刊 23×15
399.2—So48

孫子評註 2冊

吉田松陰 安政4序 刊 24×16
399.2—So48

400 自然科学

啓蒙知恵乃環 1冊

於菟子(訳) 刊 19×12
404—Ke25

訓蒙窮理問答 2冊

後藤達三 刊 23×16 404—Ky48

窮理発蒙 2冊

刊 19×13 404—Ky48

450 地 学

地文学初歩 4冊

明治15刊 23×15 450—C 45

湖上石話雲根志 12冊

木内小繁 安永2序 刊 23×16

460 生物学・博物学

秘伝花鏡 6冊

陳溟子 文政12刊 23×16
460.3—H54

470 植 物 学

日本博物学年表 1冊

白井光太郎 明治24刊 23×16
470.2—N77

日本竹類図譜 1冊

農商務省山林局 刊 44×33
470.38—N77

日本森林樹木図譜 1冊

農商務省山林局 刊 44×33
470.38—N77

菊経<黄竜公菊経国字略解> 5卷2冊

松平頼寛 宝暦5刊 23×15
479.99—Ki23

490 医 学

大医習業 1冊

孫思邈 弘化元刊 23×16
490.9—D18

金匱要略 1冊

張仲景 刊 19×13 490.9—Ki44

漫遊雜記 2冊

永富独嘯 文化6刊 26×18
490.9—Ma48

巻懐食鏡 1冊

香月半山 昭和3刊 17×10
492.6—Ka56

魯西亜国条約並税則 1冊

刊 26×19

329—R72

330 経 済

所見 付録付 1冊

前田正名 明治25刊 23×15

331—Sh96

儉約齊家論 2巻1冊(2部)

石田梅岩 延享元刊 23×16

331.15—Se17

審是吾敵論 2冊

明治18刊 23×16 331.15—Sh13

古銭大観・和漢絵銭類集 3冊(帙)

中橋掬泉 大正5刊 23×15

337.21—Ko83

身の為国の基 1冊

中藤弥太郎 明治45刊 24×16

338.53—Mi46

340 財 政

世外侯事歴維新財政談 3冊(帙)

沢田章 大正10刊 23×16

342.1—I79

360 社会学・社会問題

氏族考(統史籍集覽) 2冊

栗田寛 明治39刊 19×13

362.02—Sh93

鴻告志 1冊

吉田松陰 明治2刊 18×13

371—Ko44

370 教 育

西洋学校軌範 2冊

明治3刊 23×15

372—Se19

中学国文読本(第九) 1冊

新保磐次 明治28刊 23×15

375.9—C62

380 風俗習慣・民俗学

別好京染都乃面影 1冊

神坂吉隆 明治23刊 25×17

383.1—Mi76

七冊圖書 1冊

写82丁 25×18

385—Sh24

北越七奇輯録 1冊

写40丁 28×20

388—H82

ふもとのしるべ 1冊

写24丁 24×18

388.9—F89

390 国防・軍事

兵要地誌 42巻14冊

陸軍士官学校 明治21刊 19×13

391.9—H51

法郎西陸軍律 4巻1冊

陸軍文庫 明治9刊 26×18

393.2—F92

弭兵古義 4巻1冊

王式通 刊 28×17

399—B42

軍用記 6冊

平貞文 写 24×17

399.1—G94

武経開宗 14巻7冊(帙)

寛文元刊 27×19

399.2—B87

六韜 6巻1冊(帙)

- 293—O13
 七十八日遊記 1冊(帙)
 徳富蘇峰 明治39刊 24×16
 293—Sh24
 宇野花 1冊(帙)
 伊藤良喬 大正5刊 23×16
 293—U77
 鳥尾小弥太 刊 21×13 321—O29
 性法略 1冊
 明治3刊 23×16 321—Se17
 民政要編 3冊
 山県禎 嘉永元刊 26×18
 321.15—Mi47
 制度通 13冊(帙) 刊
 伊藤長胤 享保9序 23×16
 322—Se17

300 社会科学

310 政治

- 校正通議 3冊
 頼山陽 弘化4刊 26×18
 310.4—Ts39
 校正通議 3冊
 頼山陽 明治11刊 18×13
 310.4—Ts39
 通議 2冊
 写 24×16 310.4—Ts39
 新策正本 6卷5冊(2部)
 頼山陽 安政2刊 26×18
 311—Sh69
 樞談治要 1冊(帙)
 一条兼良 文明13跋 写29丁
 「元政上人外題,青木信實旧蔵,群書類
 従本原本」 311—Sh95
 薛文清公從政名言 3卷1冊
 薛宣 英祖7刊 32×21 317—H51
 官板從政名言 1冊
 薛宣 嘉靖14序 嘉永5刊 26×18
 317—J98
 大典會通 5冊
 李太王2刊 35×23 322.921—D28
 六典条例 10冊
 李太王3刊 31×21 322.921—R63
 官板仏蘭西法律書刑法 5冊
 刊 26×18 326.935—F92
 亞墨利加国条約並稅則 1冊
 安政6刊 26×19 329—A44
 仏蘭西国条約並稅則 1冊
 刊 26×19 329—F92
 外国事務 1冊
 明治元刊 23×15 329—G14
 英吉利国条約並稅則 1冊
 刊 27×19 329—I24
 外国交際公法 2冊
 明治2刊 24×16 329—K081
 阿蘭陀国条約並稅則 1冊
 刊 26×19 329—O71

320 法律

王法論 1冊

幽室文稿 6冊
吉田松陰 (品川弥二郎編) 明治14刊
23×16 289.1—Y99

俗簡雜輯 1冊
吉田松陰 明治28刊 23×16
289.1—Z95

瑞竜公世家 1冊
永山近彰 大正3刊 26×19
(瑞竜公—前田利長) 289.1—Z96

葛夏堂実記 1冊
金忠善 李太王30刊 28×19
289.2—B63

韓僊宝伝 1冊
同治11序 刊 23×14 289.2—Ka59

拿破倫詳伝 2冊
曾谷言成 明治11刊 23×15
289.3—N49

290 地 理

采覧異言 5卷2冊
新井白石 明治14刊 23×16
290—S22

輿地誌略 6冊
内田正雄 刊 26×18 290—Y72

山口県内全図 1折
明治13 写 69×94 290.38—Y24

皇華随班録 1冊
前田利為 大正8刊 23×16
290.9—Ko41

西洋紀行航海新説 2冊
中井桜洲 明治2刊 22×15
290.9—Ko41

古版地誌解題 1冊
和田万吉 大正5刊 23×15
291—Ko27

名所小鏡 1冊
刊 16×11 291—Me26

山水随縁記 1冊 (帙)
徳富蘇峰 大正3刊 22×15
291—Sa66

東北遊日記 2冊
吉田松陰 刊 23×15 松下村塾蔵版
「品川君所賜 正毅蔵」
291.2—To25

江戸名所図会 7卷20冊 刊
斉藤長秋 天保5—7 27×19
291.36—E24

江戸名所図会 7卷10冊 (9・11・12・14
—20欠) 斉藤長秋 天保5—7 刊
291.36—E24

東海道名所図会 6冊
秋里舜福 寛政9刊 26×19
291.5—To28

京都府誌 2冊 (帙)
京都府 大正4刊 26×19
291.62—Ky46

南都面影八重桜 3冊
写 24×17 291.65—N48

大和名所図会 6卷7冊
秋里舜福 寛政3刊 26×18
291.65—Y45

燕雲楚水 1冊 (帙)
积宗演 大正7刊 23×15
292—E64

鄭鑑録 1冊
大正2刊 27×20 292.1—Te24

放浪漫記 1冊
大谷光瑞 大正5刊 23×15
292.2—H89

欧米遊歴日誌 1冊 (帙)
長谷場純孝 明治40刊 24×16

- 河村瑞軒 1冊
 国立正呉 昭和9刊 24×16
 289.1—Ka95
- 帰田集 1冊
 松田正久 明治33跋 24×16
 289.1—Ki12
- 木戸公略伝 1冊
 写45丁 24×16 289.1—Ki13
- 義門黄門仁徳録<水戸黄門仁徳録> 2冊
 写 29×19 289.1—Mi62
- 信長記 15巻4冊(帙)
 小瀬甫庵 寛永元刊 28×20
 289.1—N91
- 桜老年譜 1冊
 馬杉繫 明治24刊 23×16
 (桜老一笠間藩士加藤熙)
 289.1—O71
- 恩輝軒主人小伝 1冊
 橋本五雄 大正2刊 26×18
 (恩輝軒一川島甚兵衛)
 289.1—O66
- 留魂録・風簷遺草 1冊
 吉田松陰・楫取素彦 明治元刊
 松下村塾蔵版 289.1—R98
- 三条実美公履歴 5冊(帙)
 守川弥平 明治40刊 27×19
 289.1—Sa64
- 三橋遺規 2冊
 東崇一 明治16刊 23×15
 289.1—Sa65
- 島津久光公実紀 8冊
 島津公爵家編輯所 明治43刊 27×19
 289.1—Sh46
- 紫灘遺稿 2冊(2部)
 垂井重明 明治17刊 19×13
 (紫灘—真木和泉守) 289.1—Sh59
- 松陰先生武教講録 2冊
 吉田松陰 刊 23×16 289.1—Sh95
- 松陰先生逸事一節 1冊
 (スバルデンゲ氏日本遠征紀抄録・提督
 彼理日本遠征記抜抄) 明治38刊
 相沢敏太郎 23×16 289.1—Sh95
- 象山翁事蹟 2冊
 松本芳忠 明治21刊 23×15
 289.1—Sh97
- 秀郷事実考 1冊
 野中準 明治17刊 24×17
 (明治25, 佐野常民寄贈)
 289.1—Sh99
- 蒼海全集 6冊(2部)
 副島道正 大正6刊 26×17
 289.1—So32
- 蒼海遺稿 1冊
 佐々木哲太郎 明治36刊 23×15
 289.1—So32
- 藤公余影 1冊
 古谷久綱 明治43刊 24×17
 289.1—To34
- 吉田松陰手翰 1冊
 明治17刊 31×22 289.1—Y86
- 吉田松陰伝 5巻
 野口勝一・冨岡政佐 明治24刊
 23×15 289.1—Y86
- 吉田松陰 1冊
 徳富蘇峰 明治41刊 24×16
 289.1—Y86
- 幽囚録 1冊
 吉田松陰 安政元序 刊 19×13
 289.1—Y99
- 幽室隨筆・己未東行前日記 1冊
 吉田松陰 明治3刊 19×13
 289.1—Y99

- 旧都巡遊記稿** 5冊
 秋元春朝 大正7刊 24×15
 288.45—Ky49
- 歴代御陵巡拝の葉** 1冊
 大正14刊 24×16 288.46—R25
- 歴代御陵案内地図** 1冊
 刊 27×20 288.46—R25
- 山陵志** 2巻1冊
 蒲生君平 刊 26×18 288.46—Sa66
- 明治四十年特別大演習御臨幸記念帖** 1冊
 茨城県庁 明治40刊 15×23
 288.48—G67
- 皇室御紋章之起源** 1冊
 河内祐憲 大正13刊 24×16
 288.6—Ko87
- 大礼記念勤王志士遺墨集** 1冊
 岡田太郎 昭和4刊 26×19
 289—Ki44
- 雨田古稀寿言集** 1冊
 島地黙雷上人古稀祝賀会 明治43刊
 23×16 289.1—U28
- 馬鹿** 1冊
 戸井英暁 大正7刊 24×16
 289.1—B15
- 武教講録** 1冊
 吉田松陰 明治43刊 23×15
 289.1—B87
- 竹塘武田先生伝** 1冊
 水野行敏 明治30刊 23×15
 289.1—C44
- 江藤南白** 2冊
 の野半介 大正3刊 23×16
 289.1—E78
- 林氏雜纂** 2冊
 明治3序刊 23×16
 289.1—R45
- 葉桜日記** 1冊(6部)
 山県有朋 明治25刊 22×14
 289.1—H49
- 北陸日誌・哈喇佛吐略誌** 1冊
 宍戸璣 明治35刊 23×16
 289.1—H82
- 報国真髓** 1冊(5部)
 村野山人 大正3刊 24×17
 289.1—H82
- 堀内伝右衛門閨書** 1冊
 坂出鳴海・上田駿一郎 明治43刊
 31×22 289.1—H89
- 芳春夫人小伝** 1冊
 近藤磐雄 明治6刊 23×16
 289.1—H92
- 生ける豊太閤** 1冊
 鳥井信治郎 昭和13刊 23×15
 289.1—I34
- 井上伯伝** 9冊(帙)2部
 中原邦平 明治40刊 23×16
 289.1—I57
- 石田先生事蹟** 1冊
 文化3刊 28×18 289.1—I72
- 石田先生遺稿** 1冊
 文化3刊 27×19 289.1—I72
- 伊藤公追懷録** 1冊
 土田政次郎 明治43刊 25×18
 289.1—I89
- 回顧録** 2冊(2部)
 吉田庫三 明治19刊 22×16
 289.1—Ka21
- 還魂紙料** 1冊
 福地信世 大正7刊 27×20
 289.1—Ka56
- 桂公自伝** 5冊
 刊 27×19 289.1—Ka88

- 足利家武鑑** 1冊
 文政3序刊 18×12
 281.035—A92
- 江戸諸家人名録** 1冊
 文化12刊 18×12 281.035—E24
- 江戸諸家人名録** 2編1冊
 文政元刊 18×12 281.035—E24
- 絵本百将鑑** 1帖
 慶長13刊 29×21 281.035—E34
- 現代百傑延命録** 1冊
 中沢有年 大正2刊 27×19
 281.035—E62
- 増補再板鎌倉武鑑** (系図略伝所領分家初編・二編) 4冊 文政2—3刊
 19×13 281.035—Ka32
- 京都将軍家所領役考応仁武鑑** 2冊
 栗原信充 天保15刊 18×12
 281.035—O66
- 鎌倉管領所領役考応仁武鑑** (続・3編)
 5冊 天保15刊
 栗原信充 18×12 281.035—O66
- 本朝列女伝** 下1冊
 匹田尚昌 刊 23×16 281.09—H84
- 号譜** 坤1冊
 写 51丁 29×20 282.1—G54
- 国朝先生事略** 60卷32冊(4帙)
 同治5序刊 20×12 282—Ko45
- 朝鮮号譜** 1冊
 写 66丁 27×20 282.1—C54
- 国史** 1冊
 写 30丁 23×16
 「日本書紀・大日本史・日本史略・万延年文久元年抜鈔」(後記)
 288—Ko53
- 新板改正天保武鑑** 3冊
 刊 17×12 288.035—Te37
- 諸家大系図** 14冊(帙)
 刊 30×21 288.2—Sh96
- 宗家恒松家系譜** 1冊
 恒松隆慶 大正5刊 23×16
 288.2—So32
- 豊臣秀吉譜** 3冊
 明曆4刊 27×18 288.2—To93
- 年々改正雲上明覽大全** 2冊
 天保8序刊 16×11 288.2—U77
- 紅屋翁媪** 2冊
 塚本源三郎 昭和10刊 24×17
 288.3—B35
- 大正大礼京都府記事** 1冊
 京都府警察部 大正5刊 26×19
 288.4—Ta25
- 神武天皇御伝略記** 1冊
 菊井惣鉄 明治31刊 23×16
 288.41—J52
- 列聖珠藻・聖徳余光** 2冊
 佐々木信綱・辻善之助 昭和15刊
 23×15 288.41—R29
- 聖上陛下御日常の御一端に就いて** 1冊
 山口県 昭和11刊 22×15
 288.41—Se17
- 集成御系譜考** 4冊
 屋葺政衛 大正5刊 24×17
 288.41—Sh99
- 昭憲皇太后 附女四書** 1冊
 坂本辰之助 大正3刊 23×15
 288.43—Sh96
- 懷良親王御事蹟私考** 1冊
 田中耕祐 写10丁 24×17
 288.44—Ka53
- 懷良親王御事蹟** 1冊
 小林健三 昭和15刊 23×15
 288.44—Mo57

222.053—So27

宋史<宋史新編> 200卷40冊

柯維騏 嘉靖34序 刊 25×16

222.053—So63

宋史 100卷12冊(帙)

刊 30×18

222.053—So63

宋史紀事 109卷17冊

北海馮琦原 刊 26×17

222.053—So63

金史 125卷20冊

托克托 刊 30×20

222.056—Ki46

元史 120卷82冊(帙)

宋濂 刊 29×18

222.057—G 34

元史紀事 27卷3冊

陳邦瞻 刊 26×17

222.057—G 34

增補元明史略 8冊 刊

後藤世鈞 享和元跋 26×18

222.057—G 34

明史紀事 80卷20冊

谷霖蒼 刊 26×17

222.058—Mi47

東坡禪喜集 9卷1冊

田汝成 元祿2刊 27×18

222.058—Ki11

皇明通紀統宗 13卷3冊

陳建 元祿9跋 刊 28×19

222.058—Ko69

台湾鄭氏紀事 2卷3冊

川口長孺 刊 24×15

222.4—Ta25

大唐西域記 12冊(帙)

弁機撰 刊 32×13

222.8—D28

230 ヨーロッパ

西洋易知錄 4冊

河津孫四郎 明治2刊 23×15

230—Se19

280 伝記

殉難前草 1冊

明治元刊 19×13

281—J 95

殉難後草 1冊

明治元刊 19×13

281—J 95

貫堂存稿 2冊

岩村通俊 大正4刊 24×16

281—Ka51

甲子殉難士伝 2冊(2部)

村田峯次郎 明治30刊 23×16

281—Ka78

奇文欣賞 6卷1冊 刊

大槻盤溪 明治元序 18×13

281—Ki11

近世偉人伝 8冊

蒲生重章 明治10—13刊 23×15

281—Ki11

皇朝歴代君臣名功録 3卷1冊

刊 18×12

281—Ko15

国の礎 後編2冊

杉本勝二郎 明治28刊 22×15

281—Ku42

思ひよる日 1冊

古筆了伴 弘化4刊 9×18

281—O63

雲畑略伝 2冊

清宮秀堅 明治7刊 23×16

281—U75

全生庵記録抜萃 1冊

円山牧田 大正7刊 23×16

281—Z 93

古今人物年表 2冊

早川蒼淵 明治33刊 23×16

281.03—J 52

- 明治18刊 23×15 222.01—Z 95 222.046—G 47
考古圖〈亦政堂重修考古圖〉 10卷 5冊
 呂大防 大德3序 刊 29×18 222.03—Ko44
周書 50卷 8冊 刊
 令狐德棻 康熙39序 25×16 222.033—Sh99
國語 21卷 4冊
 張一鯤 写 34×20 222.036—Ko47
戰國策評註 33卷 6冊 (帙)
 郭郗汾 刊 20×13 222.037—Se64
後漢書 130卷 16冊 (帙)
 范曄 刊 30×18 222.042—G 59
後漢書 80卷 60冊 (帙)
 大德9序 刊 26×19 222.042—G 59
漢書 120卷 30冊
 班固 刊 25×17 222.042—Ka55
漢書評林 99卷 48冊
 王世貞 万曆9序 刊 19×13 222.042—Ka55
漢書評林 100卷 50冊 (帙)
 明曆4跋 刊 28×20 222.042—Ka55
世說箋本 20卷 10冊
 刊 26×18 222.042—Se87
三國志〈三國史〉 65卷 16冊 (帙)
 陳壽 元嘉6序 刊 26×17 222.043—Sa63
晉書 130卷 18冊
 房元齡·李延壽 刊 31×18 222.044—Sh63
陳書 30卷 4冊
 姚思廉 刊 30×20 222.046—C 47
魏書 114卷 18冊 (帙) 刊
 魏収 崇禎4跋 30×18
北史 100卷 18冊 (帙)
 李延壽 刊 31×18 222.046—H 82
北齊書 50卷 6冊 (帙)
 李白業 刊 31×18 222.046—H 82
南史 80卷 12冊 (帙)
 李延壽 刊 31×18 222.046—N 48
南齊書 59卷 7冊 (帙) 刊
 蕭子顯 治平2奧書 31×18 222.046—N 48
隋書 85卷 12冊 (帙)
 魏徵 刊 31×18 222.047—Z 96
劇談錄 2卷 1冊
 唐駢 刊 30×18 222.048—G 32
貞觀政要 10冊 (帙)
 吳兢 文政5跋 刊 27×18 222.048—J 67
仮名貞觀政要 1帖 1枚 (帙)
 吳兢 刊 22×15 222.048—Ka46
新唐書 225卷 35冊 (6—11欠)
 歐陽修 刊 31×18 222.048—Sh69
大唐六典 30卷 24冊
 享保9序 刊 30×21 222.048—D 28
五代史 (付録付) 74卷 6冊
 歐陽修 刊 31×18 222.051—G 55
旧五代史 150卷 12冊 (帙)
 盧多遊 刊 31×18 222.051—Kw48
遼史 46卷 8冊
 托克托 康熙39跋 刊 26×17 222.052—R 98
梁書 56卷 8冊
 姚思廉 刊 30×20 222.052—R 99
宋元通鑑 157卷 24冊 刊
 薛應旂 天啓6序 23×18

- 明治44年度臨時恩賜金授産事業写真 1折
 13×19 221.06—Me25
- 臨時恩賜金授産事業写真帖 1冊
 朝鮮總督府 大正2刊 26×17
 221.06—R45
- 東拓十年史 1冊 刊
 東洋拓殖株式会社 大正7 27×19
 221.06—To73
- 仁川開港式拾五年史 1冊
 刊 26×19 221.4—J52
- 東京雜記 3冊
 関周冕 刊 26×20 221.8—To46
- 貴池県沿革表 1冊
 刊 30×18 222—Ki11
- 十八史略 65卷7冊
 曾先之 天明元跋 26×19 刊
 222.01—J92
- 十八史略<立齋先生標題解註音釈十八史略
 > 7冊 天明元跋 26×18 刊
 222.01—J92
- 新纂挿画十八史略字引大全 2卷1冊
 河村与一郎 明治16刊 18×12
 222.01—J92
- 綱鑑易知録<尺木堂綱鑑易知録> 92卷
 30冊(帙) 吳乘權 26×18 刊
 222.01—Ko41
- 二十二史纂略 6卷2冊(帙)
 刊 24×15 222.01—N73
- 二十二史劄記 36卷18冊
 (補遺付) 刊 23×16
 222.01—N73
- 二十二史劄記 36卷18冊(帙)
 趙翼 文久2刊 23×16
 222.01—N73
- 歴代名臣要覽 38卷35冊(帙)
 寛政3序 27×19 刊 222.01—R25
- 増修陸狀元集百家注資治通鑑詳節 26冊
 (帙) 刊 23×16 222.01—R42
- 資治通鑑 294卷120冊
 司馬光 刊 28×18 222.01—Sh32
- 資治通鑑 294卷50冊
 司馬光 嘉永2序 刊 26×16
 222.01—Sh32
- 資治通鑑節要統編 30卷20冊
 刊 32×20 222.01—Sh32
- 史記 130卷12冊(帙)
 司馬遷 刊 30×28 222.01—Sh34
- 史記論文 130卷12冊(帙)
 康熙25序 刊 26×18
 222.01—Sh34
- 史記評林 130卷32冊(帙)
 刊 26×16 222.01—Sh34
- 史記評林 130卷50冊(帙)
 秋月種樹撰 明治2刊 27×19
 222.01—Sh34
- 史記正本 2冊
 阿部光忠 明治15刊 23×16
 222.01—Sh34
- 史記文粹 1冊
 簡野道明 昭和4刊 21×15
 222.01—Sh34
- 支那史要・支那史要附図 3冊
 市村瓚次郎刊 23×15
 222.01—Sh59
- 通鑑<少微通鑑外紀> 50卷20冊
 司馬光 正徳9序 刊 32×19
 222.01—Sh95
- 通鑑紀事 239卷60冊 刊
 袁枢 宝祐5序 21×17
 222.01—Ts36
- 増註十八史略<立齋先生標題解註音釈十八
 史略> 7冊

216.3—O73

220 ア ジ ア

朝鮮通交記 1冊
文化2 写23丁 28×20
「宗家旧蔵」 221—C54

朝鮮往還日記 1冊 写19丁
明治27 28×19 221—C54

朝鮮史概説 1冊
広田直三郎 写40丁 28×20
221—C54

嘉礼後嬪朝見大王大妃殿笈記 1折
写 22×5 221—Ka65

華陽誌 6巻2冊
崇禎4刊 34×22 221—Ka98

記言・記言別集 21冊
刊 31×21 221—Ki16

欽書 30巻10冊
丁若鏞 写 23×18 221—Ki44

攷事新書 15巻7冊
刊 29×18 221—Ko39

攷事撮要 4冊
嘉靖33序 刊 30×19 221—Ko39

国朝宝鑑 82巻26冊
憲宗14刊 35×22 221—Ko45

国朝宝鑑 4冊 (69—82巻)
憲宗14刊 37×24 221—Ko45

国朝宝鑑 68巻22冊
正祖元刊 38×25 221—Ko45

康寧殿夜進饌笈記 1冊
写 28×9 221—Ko74

康寧殿会酌笈記 1折
写 25×7 221—Ko74

公車類輯 8冊
写 34×23 221—Ko83

三国遺事 5巻2冊 (帙)
昭和7刊 31×21 221—Sa63

東国通鑑 56巻23冊
鄭考恒 成化21序 34×22
肅宗代刊 221—To23

東史会綱 12巻13冊
林象徳 刊 31×20 221—To72

増補文献備考 250巻102冊
隆熙2 刊 27×18 221—Z95

最近支那史 2巻4冊
石村貞一・河野通之 明治31刊
23×16 221.01—S21

中京誌 11巻6冊
刊 33×21 221.04—C64

高麗史 137巻54冊
鄭麟趾 孝宗朝刊 32×21
221.04—Ko79

高麗史節要 (付同補刊・付録) 35巻29冊
朝鮮史編修会 昭和7・13 刊
「朝鮮総督府図書印」 29×18
221.04—Ko79

麗史提綱 23巻13冊
兪榮 顯宗8刊 36×23
221.04—R12

樸翁稗説 1冊
大正2刊 24×16 221.04—R25

宋元華東綱<宋元華東史合編綱目> 33冊
李恒老 永曆5序 刊 31×21
221.04—So27

朝鮮征討始末記 5冊
山崎尚長 嘉永7刊 26×18
221.05—C54

礪溪随録 26巻13冊
柳馨遠 刊 34×22 221.05—H29

壬辰録 6冊
写 42×26 221.05—J52

- 刊 25×18 210.5—Se39
實而者草(初編) 10冊
刊 18×13 210.5—Se39
實而者草(二編) 20卷10冊(帙)
天保13刊 26×18 210.5—Se39
實而者草(二・三編) 20卷20冊
刊 19×13 210.5—Se39
實而者草(三編) 12冊(帙)
天保13刊 26×18 210.5—Se39
實而者草(四編) 12卷 同拾遺 5卷
天保13 26×18 刊 210.5—Se39
昭代記 10冊(帙) 刊
塩谷世弘 明治12跋 27×19
210.5—Sh95
赤穂四十七士伝 2冊(2部)
青山延光 嘉永4刊 26×18
210.54—A31
赤穂義人録補正 2冊(2部)
室鳩巢 明治5刊 27×19
210.54—A31
浦乃男 2卷1冊
文化4写 76丁 24×17
210.57—U84
安政見聞誌 3冊
刊 25×17 210.58—A49
築山録 3卷3冊
「築山盛衰録」 写 24×17
210.58—Ts65
復古太平記 1冊
近藤芳樹 写 25×18 210.58—F73
極密秘書 1冊
写 23×17 210.58—G59
極密秘書 1冊
写 26丁 24×17 210.58—G59
萩農宇和風 5冊(帙)
高橋竜斎 慶応元・2 写
(長州征討記録) 210.58—H13
籠中追記南山踏雲録 1冊
刊 19×13 210.58—N48
啓運録 1冊
村田峰次郎 明治30刊 23×16
210.58—Ke28
孝明天皇紀 220卷119冊
明治39刊 27×19 210.58—Ko63
増訂今日抄 3卷1冊
明治4刊 23×16 210.58—Ko75
七卿西竄始末初篇 1冊
馬場文英 明治24刊 23×15
210.58—Sh24
草摺紀事 4冊
岡千仞 明治15刊 23×15
210.61—So41
降魔日本 3卷1冊
洪嶽宗演 明治37刊 24×15
210.67—Ko58
近世狭義伝 1冊
相原友直 大正7刊 24×17
212.3—Ki46
江戸繁昌記 4冊
天保3刊 23×15 213.6—E24
新編鎌倉志 8卷12冊
貞享2刊 河井恒久 23×18
213.7—Ka31
明治新撰駿河国誌 1冊
置塩藤四郎・栗原論 明治30刊
23×16 215.4—Su76
淡海記 1冊
写 22×20 216.2—O62
西京伝新記 4冊
明治10刊 22×16 216.2—S21
逢坂走井由縁記 1冊
橋本関一 昭和7刊 23×16

- 210.38—H82
- 前太平記** 40巻20冊
 平山素閑 刊 26×18 210.38—Z93
- 前太平記図会** 6冊
 秋里籬島 享和3刊 26×18
 「浅草書院旧蔵」 210.38—Z93
- 通語** 10巻3冊(2部)
 中井積徳 天保14刊 25×18
 210.4—Ts39
- 吾妻鏡** 52巻25冊(帙)
 寛永3刊 28×20 210.42—A99
- 東鑑** 52巻18冊
 寛文元刊 28×20 210.42—A99
- 北条九代記** 12冊
 延宝3刊 27×20 210.42—H81
- 百練抄** 17巻14冊(1～3欠)
 享和3刊 27×19 210.42—H99
 「桑名文庫・白河文庫印」
- 明良洪範(統)** 15巻25冊
 寛永元跋 刊 真田増誉 28×21
 210.42—Me25
- 螢蠅抄** 付録付 5巻6冊
 嘉永2刊 27×19 210.43—Ke28
- 蒙古寇紀** 1冊
 長村鑾 文化13序 昭和6刊 24×17
 210.43—Mo21
- 中興鑑元** 1冊
 三宅緝明 刊 26×18 210.45—C64
- 神皇正統記** 6冊
 北畠親房 慶安2刊 26×19
 210.45—J52
- 神皇正統記(教科適用国文叢書)** 1冊
 関根正直 明治28刊 23×16
 210.45—J52
- 南朝正平の御はらから<正平皇兄弟>**
 明治36刊 24×16 210.45—Sh95
- 名節録** 3冊(2部)
 岡田橋 慶応2刊 25×18
 210.46—Me26
- 後太平記** 42巻21冊
 多々良一龍 延宝5刊 27×20
 210.47—G71
- 常山紀談** 25巻30冊 刊
 湯浅元禎 元文4序 26×18
 210.47—J86
- 常山紀談** 25巻30冊(帙)
 湯浅元禎 明和8刊 26×18
 210.47—J86
- 近古史談** 4巻1冊
 大槻平次 元治元刊 26×18
 210.47—Ki44
- 冊修近古史談字類大全** 4巻1冊
 酒井門次郎 明治17刊 18×12
 210.47—Ki44
- 朝鮮太平記** 20巻31冊
 馬場信意 宝永2刊 27×19
 210.497—C54
- 校正武徳安民記** 付録付30巻30冊
 宝永5刊 26×18 210.498—B96
- 慶弘紀聞<十三朝紀聞>** 7巻4冊
 源照矩 明治4刊 23×16
 210.5—J98
- 明良洪範** 25冊(2部) 帙
 真田増誉 刊 27×19 210.5—Me25
- 明良洪範(統)** 15冊(2部)
 真田増誉 刊 27×14 210.5—Me25
- 三河物語** 3冊
 大久保忠教 明治31刊 24×15
 210.5—Mi22
- 實而者草** 12冊
 刊 19×13 210.5—Se39
- 實而者草(前編)** 10冊(帙)

- 日本書紀通証** 35卷23冊(帙)
 谷川士清 宝曆12刊 27×19
 210.3—N77
- 校正日本書紀** 30卷15冊
 寛政5序 文政13刊 26×18
 210.3—N77
- 日本書紀一神代一** 2冊(帙)
 嘉元4跋 大正3刊 26×19
 210.3—N77
- 日本後紀** 24卷10冊
 寛永11跋 刊 26×17 210.3—N77
- 日本逸史** 40卷21冊(帙)
 鴨祐之 元禄5序 享保9刊 26×19
 210.3—N77
- 新日本紀** 28卷15冊(帙)
 卜部懷賢 刊 26×19
 210.3—Sh12
- 日本政記** 16冊
 頼山陽 刊 26×18 210.3—N77
- 日本政記** 16卷8冊
 頼山陽 明治7刊 19×13
 210.3—N77
- 増補日本政記** 8冊(2部)
 頼山陽 明治9刊 19×13
 「東京大学図書之印」 210.3—N77
- 冠註挿画日本政記字類大全** 上1冊
 齊藤夷 明治17刊 18×12
 210.3—N77
- 日本政權競争史** 8卷4冊
 湯本文彦 明治44刊 26×19
 210.3—N77
- 校正王代一覽** 7卷8冊(帙)
 林春斎 明治6刊 26×18
 210.3—O17
- 校正王代一覽** 後編4卷6冊
 高田義甫・西野古海 明治7刊
 27×19
- 六国史日本書紀** 30卷15冊(帙)
 慶長4跋 刊 28×20
 210.3—R41
- 六国史続日本紀** 40卷20冊(帙)
 明暦3跋 27×19 刊 210.3—R41
- 六国史続日本後紀** 20冊
 寛文8刊 28×19 210.3—R41
- 六国史日本後紀** 10冊(帙)
 刊 26×18 210.3—R41
- 六国史文徳実録** 10冊
 宝永6刊 28×20 210.3—R41
- 六国史三代実録** 50卷20冊(帙)
 寛政13跋 28×19 刊 210.3—R41
- 類聚国史** 199卷31冊(帙)
 菅原道真 文化13刊 27×19
 210.3—R84
- 先代旧事本紀** 10卷2冊
 延宝6刊 26×19 210.3—Se59
- 三代実録** 50卷20冊 刊
 寛文13跋 25×19 210.3—Sa62
- 続日本紀** 40卷20冊
 明暦3刊 26×19 210.3—Sh96
- 続日本後紀** 20卷10冊
 寛政7刊 27×19 210.3—Sh96
- 続日本後紀纂詁** 3冊
 邨岡良弼 明治45刊 24×16
 210.3—Sh96
- 保建大記** 2冊
 栗山潜鋒 正徳6刊 26×17
 210.38—H82
- 保建大記** 2冊
 栗山潜鋒 正徳6刊 27×19
 210.38—H82
- 保建大記打聞** 3冊
 谷重遠 享保5刊 26×19

- 伊勢貞丈 天保14序 刊 23×16
210.09—Te23
- 殿居ふくろ 1冊
写144丁 14×20 210.09—To63
- 近江蒲生郡行幸啓誌 1冊
大正6刊 24×16 210.099—O62
- 大日本史 397巻231冊(箱)
明治39跋 26×18 刊 210.1—D14
- 大日本史243巻100冊(帙)
嘉永4 徳川斉昭跋 27×19 刊
210.1—D14
- 読史余論 12冊(帙)
新井白石 万延元刊 23×16
210.1—D83
- 古語拾遺 1冊 刊
斎部広成 27×19 210.1—Ko26
- 増補点註国史略 5冊
岩垣松苗 明治9刊 27×19
210.1—Ko53
- 稿本国史眼 7冊
重野安繹 明治23刊 24×16
210.1—Ko53
- 日本外史 22巻10冊
頼山陽 明治9刊 18×13
210.1—N77
- 日本外史字類大全 1冊
河村与一 明治9刊 17×12
210.1—N77
- 日本外史補編(付録付) 3冊
刊 23×16 210.1—N77
- 日本外史新論 2冊
中村正蔵 明治14刊 23×15
210.1—N77
- 日本史略 5冊
田中義廉 明治10刊 23×15
210.1—N77
- にほんれきし教科書 3冊
高津敏三郎・三上参次・磯田良
明治27刊 23×15 210.1—N77
- 野史 291巻25冊
飯田忠彦 明治15刊 21×14
210.1—Y61
- 外蕃通略 1冊(2部) 刊
吉田松陰 安政4序 23×16
210.18—G14
- 吉田松陰先生遺著外蕃通略 1冊
吉田松陰 明治27刊 24×17
210.18—G14
- 大日本国開闢由来記 6冊
指漏漁者 安政5跋 23×16 刊
210.2—D25
- 大日本紀元前史 3冊
片山喜八 明治18刊 23×15
210.3—D25
- 訂正古訓古事記 3冊
享和3刊 25×18 210.3—Ko39
- 国朝史論 3冊
写 24×17 210.3—Ko45
- 国史綜覧稿 10冊
重野安繹 明治39刊 210.3—Ko53
- 古史微 4巻11冊
平田篤胤 文政元刊 27×19
210.3—Ko84
- 古史伝 26巻16冊
平田篤胤 刊 27×19 210.3—Ko84
- 記紀に基づく古史提要 1冊
佐多猛 昭和11刊 23×16
210.3—Ko87
- 文徳実録 10冊
宝永6刊 26×19 210.3—Mo38
- 日本紀<日本書紀> 30巻10冊
慶長15序 刊 29×21 210.3—N77

張燕昌 刊 30×18 202.8—Se44
銅板和漢年契 1冊(2部)
三村其原 安政2・慶応2刊
203.2—D81

210 日 本

国史纂論 10冊 刊
山県禎 天保10序 27×19
210.01—K053
一君一民弁 1冊
近藤芳樹 刊 18×12 210.01—I 36
野史 291卷100冊(箱)
飯田忠彦 明治16刊 21×19
210.01—Y61
堂上明鑑 1冊
写 75丁 17×12 210.03—D83
百家纂要 1冊
写 35丁 25×17 210.03—H99
官許列藩一覽 1冊
刊 16×7 210.03—R28
新撰年表 1冊
嘉永5跋 刊 27×18
210.03—Sh69
訂正増補新撰年表 1冊
清宮秀堅 明治25刊 19×12
210.03—Sh69
史籍年表 1冊
伴信友 文政11序 明治16刊 27×19
210.03—Sh89
読外史余論 2冊 刊
長川東州 明治6序 23×16
210.04—D83
佩弦齋稿 1冊
写31丁 25×16 210.04—H15
近古史談 4冊

大槻平治 元治元刊 26×18
210.04—Ki44
近古史談 4卷2冊
大槻清崇 大正6刊 23×15
210.04—Ki44
国史臚議 2冊
東崇一 明治14刊 19×13
210.04—K053
歷朝韶勅錄 2冊(帙)
明治36刊 26×19 210.08—R25
維新史料 35冊
富岡政信 刊 19×12
210.088—I 79
歷朝詔詞解 6冊(帙)
本居宣長 享和3刊 27×19
210.088—R25
宸筆集 2冊(帙)
京都府 大正5刊 18×26
210.088—Sh69
照国公文書 2冊
小牧昌業 明治43刊 27×19
210.088—Sh96
延喜式(雲州板)50卷61冊(帙)
文政11序 26×19 刊 210.09—E62
玉鳳煥采 2冊(帙)
鷲尾順敬 明治43刊 27×19
210.09—G99
国史摘要宝祚大典 5冊(帙)
福井三郎 大正2刊 27×19
210.09—H93
皇位繼承篇 10卷6冊
横山由清・黒川真頼 明治11刊
27×19 210.09—K031
故実叢書 128冊(箱)
明治35刊 23×16 210.09—K039
貞丈雜記(故実叢書)8卷2冊

寛保3刊 27×18 188.8—So32
大海夜話 1冊
 一糸和尚 大正5刊 24×16
 188.8—Ta21
大海夜話解説 1冊
 徳富蘇峰 大正5刊 24×16
 188.8—Ta21
鉄文樹和尚百則評頌 1冊 刊
 鳳洲退歩 明和8序 26×19
 188.8—Te86
塗毒鼓 全・続2冊
 藤田玄路 大正14刊 16×11
 188.8—To18
洞上日課誦經要集 2冊(帙)
 加瀬喜一郎 明治5刊 18×7
 188.8—To27
東海一滴集 1冊
 宝永元跋 刊 26×19 188.8—To27
東臯全集 2冊
 浅野斧山 明治44刊 24×16
 188.8—To71
舒州投子青禪師語録〈舒州投子青和尚住白雲山海会禪院語録〉 1冊
 自覚 享保10跋 刊 188.8—To72
斗室外集 4冊
 敬冲 明治39刊 27×19
 188.8—To72
頭書曹洞二師録 2冊
 宝曆11序 明治12刊 26×19
 188.8—To72
禪家亀鑑 1冊
 曹溪退陰 寛永15刊 27×17
 188.8—Z93
禪関策筭解〈禪関策進〉 3巻1冊
 天保7跋 刊 26×18 188.8—Z93
禪林類聚 4巻2冊

刊 24×19 188.8—Z93
禪林僧宝伝 30巻6冊 刊
 恵洪 宝慶3序 25×18
 188.8—Z93
禪余套稿〈山和尚禪余套稿〉 1冊
 正徳4序 36×19 刊 188.8—Z93
増註六祖壇經〈六祖大師法宝壇經〉 2冊
 山田大応 明治18刊 26×19
 188.8—R63
国家要書 1冊
 磯村松太郎 明治33刊 24×17
 188.9—Ko43

190 キリスト教

天道溯原 3巻1冊
 同治8序 刊 20×12 190—Te35
異教対話一名因明術 1冊
 阿満得聞 明治30刊 23×16
 190.4—I39
耶蘇降世伝 1冊
 刊 25×15 192.8—Y94
教訓絵入心乃行衛 下2巻1冊
 弘化2刊 22×16 199—Ko44
教訓絵入心乃行衛 2篇上下2冊
 弘化3刊 22×16 199—Ko44
教訓絵入心乃行衛 3篇3冊
 弘化3刊 22×16 199—Ko44

200 歴史

金石契 4冊 刊
 張燕昌 乾隆43序 31×18
 202.8—Ki46
石鼓文釈存 1冊

提> 2冊 刊
 天明8跋 26×19 188.8—Se94
 瞎驢行 1冊(帙)
 伊藤敬宗 刊 24×17 188.8—Ka88
 葛藤集
 写44丁 27×20 188.8—Ka88
 冠註臨濟慧昭禪師語錄 1冊
 町元吞空 昭和11刊 27×19 188.8—Ka49
 冠註四部錄 1冊
 明治9刊 27×19 188.8—Ka49
 感山雲臥紀談 2卷1冊
 貞和2跋 刊 28×20 188.8—Ka59
 宏智禪師頌古 2冊
 壺瑞尚孝 刊 23×16 188.8—Ko15
 興禪護国論 1冊
 明菴栄西 刊 28×20 188.8—Ko98
 狂雲集<東海一休和尚年譜> 1冊
 森慶造 明治42刊 24×16 188.8—Ky46
 夢中問答 3冊
 夢窓疎石 刊 27×19 188.8—Mu13
 無畏三藏禪要 1冊
 刊 26×18 188.8—Mu22
 無隱禪師無孔苗 6卷3冊
 機禪湖月 延享4刊 27×19 188.8—Mu22
 東嶺和尚編輯宗門無尽燈論 2卷4冊
 明治15刊 29×19 188.8—Sh99
 校正評註龍頭無門關 1冊
 弥衍宗紹 明治9刊 26×18 188.8—G72
 無難禪師法語 1冊
 小谷保太郎 大正3刊 23×16 188.8—Mu32
 冠註拈評三百則<冠註拈評三百則不能語>

3冊 明治14刊
 吉田梵仙 27×19 188.8—N64
 夢窓国師廿三問答 1冊
 刊 26×19 188.8—Mu87
 日本洞上聯燈錄 12卷5冊
 青松寺秀恕 明治18刊 23×15 188.8—N77
 黃檗山断際禪師伝心法要 2冊
 寛文13刊 27×19 188.8—O24
 洛陽万壽禪寺語錄 1冊 刊
 洪武3跋 宗心 26×19 188.8—R12
 首書增補臨濟慧昭禪師錄 1冊
 慧然 元禄12刊 27×19 188.8—R45
 中峯和尚山房夜話 11卷1冊
 庭慈寂進 刊 27×19 188.8—C62
 首書傍註參同契宝鏡三昧纂解 1冊
 寺島得一 明治20刊 26×18 188.8—Sa62
 四部錄 1冊
 刊 26×18 188.8—Sh21
 信心銘拈提 1冊
 享保19刊写 27×19 188.8—Sh63
 心宗禪師語錄(上下付録) 3冊
 享保6序 28×17 刊 188.8—Sh69
 註校纂註少室六門 2冊
 明治23刊 26×18 188.8—Sh96
 初学菩提達磨大師章<東土祖師> 1冊
 写 12丁 28×20 188.8—Sh96
 宗門正燈錄 12卷7冊
 寛永7跋 刊 27×19 188.8—Sh99
 宗鏡錄 100卷50冊
 楊傑 寛文9刊 28×18 188.8—So29
 息耕録開筵普説印施解 1冊

- 188.1—Ka21
本教真訣 1冊
 平山省齋 明治15刊 25×18
 171—H85
- 本教真訣略解** 2冊
 平山省齋 明治15刊 171—H85
- 山庵雜錄** 2卷1冊
 天明8跋 刊 27×18 188.4—S61
- 野山名靈集** 5冊
 寶曆2序 刊 27×19 188.5—Y61
- 靈峯藕益大師宗論** 10冊
 刊 28×19 188.6—R25
- 宗祖大師法語集** 1折(帙)
 刊 25×15 188.6—Sh99
- 統三緣山志** 12卷11冊
 文政元序 刊 27×18 188.65—S62
- 念仏草紙** 1冊 写
 25×18 188.69—N64
- 專修念仏四要篇** 1冊
 23×16 刊 188.69—Se73
- 独立禪師遺草** 1冊
 写跋「右因萩城東光寺霖竜和尚所藏卷写
 之 張甫」
 25×17 188.84—D84
- 盤珪禪師宇須挽歌** 1冊
 昭和6刊 26×18 188.8—B18
- 再刊仏光国師語錄** 10卷6冊
 一真 享保11跋 刊 26×19
 188.8—B87
- 中峰和尚広録** 10冊
 寛文13刊 28×19 188.8—C62
- 大慈普覚禪師書** 1卷2冊
 刊 28×19 188.8—D15
- 大慈書** 2冊
 寛永14跋 刊 28×20 188.8—D15
- 大慈普覚禪師書抄** 4卷2冊
 寛永11跋 刊 27×19 188.8—D15
- 建長開山大覚禪師語録** 3冊
 延享2刊 27×18 188.8—D21
- 冠註大光明藏** 4冊
 宝曇 刊 28×20 188.8—D21
- 洞宗通翼** 1冊 刊
 沙門一線 延享元序 27×19
 188.8—D88
- 永平広録** <開闢初住本京宇治県興聖寺語録
 > 10冊 刊 28×20
 寛文12序 詮慧 188.8—E37
- 増註俗註永平初祖学道用心集** 1冊
 片岡賢三 寛延2刊 26×19
 188.8—E37
- 標註普勧坐禅儀不能語** 1冊
 吉田梵仙 明治15刊 26×18
 188.8—F71
- 普濟玉林国師語録** 12卷6冊
 順治16刊 29×18 188.8—F96
- 禪林普濟禪師語録** 3冊
 元禄9刊 29×20 188.8—F96
- 祇陀開山大智禪師偈頌** 1冊
 宝曆2刊 26×18 188.8—G42
- 五家參註要路門** 1冊
 円慈 文政10刊 26×18
 188.8—G59
- 校正評註龍頭無門関** 1冊 刊
 弥衍宗紹 宝曆2 27×19
 188.8—G72
- 法海具観** 9卷10冊 刊
 道雪梅嶺 延宝3序 28×20
 188.8—H82
- 隴州古仏頌古称提** <隴州古仏頌古百則>
 2冊 刊 26×19
 慧苗 宝曆8序 188.8—J67
- 雪竇禪師頌古称提** <雪竇禪師頌古百則称

高麗板一切經音義 1冊
 昭和6 32×21 刊 183—Ko79

開元釈教錄 20卷5冊(帙) 刊
 智昇 38×29 「丙午歲高麗國大藏都監奉勅雕造」 183—Ka21

高麗國新雕大藏校正別錄 30卷5冊帙
 守其(校勘) 38×29 刊 183—Ko79

四十二章經 1折(帙) 刊
 32×12 183—Sh32

新集藏經音義隨垂錄 30卷(2部) 刊
 可洪 天福5跋 「癸卯歲高麗國大藏都監奉勅雕造」 38×29 183—Sh69

仏垂般涅槃略説教誡經 2折
 刊 32×12 183.2—B95

般若波羅蜜多心經 2冊
 32×12 刊 183.2—D18

法華壇經肯綮 5冊
 28×20 刊 183.2—H81

金剛般若波羅蜜經 1折(帙)
 37×14 刊 183.2—Ko74

金剛般若波羅蜜經 2冊
 康熙18刊 35×25 183.2—Ko74

法華和字解 8卷9冊
 明治5刊 27×18 183.3—H82

大方広仏華嚴經新論 40卷16冊
 万曆38刊 28×17 183.4—Ke18

科註妙法蓮華經 8卷10冊
 元祿4刊 28×20 183.4—Mu99

増冠榜註仏祖三經指南 2冊
 明治20刊 26×18 183.5—B95

聖徳太子御製勝鬘經義疏 3冊
 明治28刊 27×19 183.56—Sh96

楞伽阿跋多羅宝經註解 4冊
 洪武11刊 26×19 183.6—R96

楞伽宝經合藏 4卷7冊
 延宝5刊 28×18 183.6—R96

聖徳太子御製維摩義疏 3卷5冊(2部)
 明治30刊 27×19 183.6—Y97

支那撰述楞嚴經實撰<楞嚴説通>10冊
 乾隆50跋 劉道開 刊 183.7—R96

首楞嚴經合藏 10冊
 通潤 寛文6刊 28×20 183.7—Sh99

大智度論 100卷37冊
 寛文元刊 27×20 183.91—D14

大智度論 26卷16冊
 刊 28×20
 「無量山論頭附藏本」 183.91—D14

唯識三十論頌 1冊(2部)
 刊 32×12 183.94—Y97

大乘起信論 3折
 刊 32×12 183.95—D19

沙門法藏撰大乘起信論義記 3冊
 刊 26×19 183.95—D19

大乘起信論疏筆削記會聞 10冊
 康熙19刊 31×19 183.95—D19

菩提心集 下1冊
 享保20跋 珍海 刊 184—B61

拔隊法語 1冊
 拔隊得勝 刊 26×19 184—B27

坐談隨筆 1冊
 明和8刊 手島堵庵 23×16 184—Z91

略縁起 1冊
 刊 22×15 185.9—R99

崇福寺録<円通大応國師初住筑州早良県興徳禪寺語録> 1冊
 祖昭 刊 27×19 185.9—Su49

円覚疏鈔隨文要解 12冊
 清遠 刊 28×19 188—E58

槐安國語 7卷5冊
 一諾 明治18—19刊 26×18

儿女教訓以呂波歌眠覺 1冊
 享和3刊 27×19 159.5—N64
 女訓孝經 1冊
 刊 23×15 159.6—J 67
 女訓三乃道 1冊
 中村新齋 文政9刊 27×20
 159.6—J 67
 儿女教訓ねむりさまし
 手島堵庵 刊 23×16 159.6—N64
 校正女四書 4冊
 辻原元甫 嘉永6序刊 26×18
 159.6—O66
 和解女四書 5冊刊
 若江秋蘭 明治16 27×19
 159.6—O67
 大和俗訓 8卷5冊
 貝原益軒 宝永4刊 23×16
 159.6—Y45
 事斯語 2卷3冊
 毛利齊広 天保13刊 26×18
 159.8—J 54
 道歌集 1冊
 二宮尊親 刊 23×16 159.9—D83

160 宗 教

聖經八理<檀君教八理> 2冊
 刊 26×17 169.21—Se17
 真理問答 1冊
 刊 26×17 169.21—Sh69

170 神 道

中臣祓瑞穂鈔 下1冊
 度会延良 万治2跋 25×18 刊
 172—N43

神事乃里登作例 2冊
 松下隆和 明治17 19×13 刊
 176.4—N96

180 仏 教

護法賢聖伝 2冊
 石村貞一 明治17 刊 23×15
 180.28—G 57
 法岸和尚行業記 2冊
 法洲・隆円 文化14序刊 28×20
 180.28—H81
 日本選述本朝高僧伝 75卷32冊
 師蛮 刊 26×19 180.28—H84
 法州和尚行業記 3冊
 杜多円暢 明治14序 26×18
 180.28—H92
 泉州竜山二師遺業 2冊
 笑嶺宗訴・大林宗套 昭和3刊
 27×19 180.28—Se73
 繁頭護法論 2冊
 張商英 延宝3跋刊 27×19
 181—G 57
 地藏菩薩本願經和解 1冊
 亮汰 天保4刊 27×19
 181.5—J 55

大乘生心地觀經報恩品科註 2冊
 吉永玄信 明治17刊 23×16
 183—D19
 大唐三藏取經詩話複写(写真帳) 1冊
 12×16 183—D28
 高麗板大藏經印刷願末 1冊
 大正4 刊 183—Ko79
 大藏目錄 3卷1冊(帙) 刊
 「戊申年高麗国大藏都監奉勅雕造」
 38×29 183—D28

- 心学承伝聖賢証語国字解 1冊
上河愿蔵 寛政5刊 25×18
157—Se17
- 知心弁疑 1冊
手島信 刊 23×16 157.9—C48
- 道二翁道話 (2—6篇) 15冊 刊
中沢道二 享和3・寛政9序 23×16
157.9—D89
- 鳩翁道話 3巻1冊
柴田亨 写111丁 25×17
157.9—Ky48
- 鳩翁道話 二ノ下1冊
柴田亨 刊 22×16 157.9—Ky48
- 続鳩翁道話 3巻1冊
柴田亨 嘉永2写81丁 25×17
157.9—Ky48
- 続々鳩翁道話 2冊
柴田亨 写 25×17 157.9—Ky48
- 石門心学道の話 8冊
奥田寿太 天保14刊 23×16
157.9—Sh62
- 心学道歌集 (前編1冊)
大島有隣 天保4刊 23×16
157.9—Sh62
- 心学道志類辺 1冊
文化14序 写25丁 鎌田俊迪
157.9—Sh62
- 心学心得草 1冊
心学社中 文政9刊 24×16
157.9—Sh62
- 心学教諭録 三編中1冊
脇坂義堂 刊 23×16 157.9—Sh62
- 心学和合歌 1冊
大島有隣 文化11刊 23×16
157.9—Sh62
- 朝倉雑話 1冊
- 上河正揚 文化3序 刊 23×16
158—A85
- 会友大旨 1冊
手島堵庵 安永2刊 27×19
158—Ka21
- 困記 1冊
東敬治 写81丁 24×17 158—Ko75
- 観省録 1冊
大橋順 嘉永2跋 写52丁 26×18
159—Ka59
- 道の絆 3冊
鎌田鵬 文政2刊 23×16
159—Mi13
- 増補評註日記故事大全 7巻4冊
明治16刊 23×15 159—N73
- 菜根譚 1冊
洪自誠 文政5序 24×16 刊
159—Sa21
- 渡世肝要記 2冊
写 25×18 159—To71
- 和庵遺稿 2冊
手島和庵 寛政9刊 23×16
159—W11
- 和語陰陽録 1冊
袁了凡 安永4序 23×16 刊
159—W14
- 禅海一瀾 下一冊
今北洪川 刊 25×18 159—Z93
- 明治孝節録 4冊
明治10刊 23×16 159.2—Me25
- 女子修身鑑 4冊
山井道子 明治23刊 23×16
159.2—Me25
- 明訓一斑抄 1冊
徳川齐昭 弘化2写68丁 19×20
159.3—Me25

	150—To26	紀維貞 刊 26×20	155—Ko43
日本道德原論 2冊		皇国經典 1冊 付索引(帙)	
野中準 明治21刊	150.21—N77	佐藤範雄 大正4刊 27×19	
勸善訓蒙 前後6冊			155—Ko44
箕作麟祥 明治6刊 22×15	150.23—Ka59	皇国經典 1冊	
		佐藤範雄 大正10刊 27×19	155—Ko44
醉世九剂 1冊		告志篇 1冊 刊	
藤沢南岳 大正4刊 23×15	150.4—Su51	徳川斉昭 天保4 27×19	155—Ko53
西国立志論 11冊		柳子新論 1冊	
スマイルス (中村正直訳)		山県大弼 明治17刊 24×15	155—R99
明治4刊 23×16	151.4—Sa21		
家道訓 6巻2冊		新論 2冊	
貝原益軒 正徳2刊 23×16	152—Ka14	会沢安 刊 19×13	155—Sh89
		新論 2巻4冊	
勸善諭道伝 (完1冊)		会沢安 安政4刊 26×18	155—Sh89
丁麴良 明治10刊 22×15	152—Ka59		
		正統論 1冊 刊	
二十四孝絵抄 1冊		近藤芳樹 文政12序 24×17	155—Sh96
熊沢蕃山 天保13刊 18×12	152.6—N73		
		退食間話 1冊	
続二十四孝絵抄 1冊		会沢安 天保13刊 27×18	155—Ta24
嘉永2刊 18×13	152.6—N73		
町人囊 (第4・5・6・7巻)		幼学綱要 7冊 (3部) 刊	
西川如見 享保4刊 24×17	153—C53	元田永孚 明治14序 23×16	155—Y73
言志録 1冊		帝範 1冊	
佐藤坦 刊 26×18	154—G34	太宗 刊 24×16	156—Te23
迪彝篇 1冊		帝範臣軌 4冊 (帙) 刊	
天保14刊 27×18	154—Te31	太宗 大正4跋 27×18	156—Te26
中興鑑言 1冊		臣軌 1冊	
三宅観瀾 弘化3写51丁 26×18	155—C64	寛文8跋 刊 24×16	156—Sh64
		為学玉箒 6冊 刊	
皇朝政要中興鑑言 1冊		手島堵庵 文化5序 22×16	157—I23
三宅観瀾 刊 25×18	155—C64		
国基 1冊			

郭象子玄 天明3刊 26×18
124.25—So63

補義莊子函 6冊
西仲 寛政9刊 27×18
124.25—So65

管子全書 24卷13冊 刊
寛政7序 26×18 124.52—Ka59

乾道本韓非子 20卷4冊(帙) 刊
弘化2序 26×18 124.57—Ka58

韓非子解詁全書 8卷4冊
津田鳳卿 刊 28×19
124.57—Ka58

韓非子解詁全書 13卷4冊
刊 28×19 124.57—Ka58

韓非子全書 20卷4冊 刊
延享3跋 27×18 124.57—Ka58

晏子春秋 4卷5冊
元文元跋 刊 27×18 124.7—A49

漢魏六朝集 25冊
刊 25×16 125.1—Ka54

劉向說苑纂註 20卷3冊
関嘉 寛政6序 刊 27×19
125.1—R99

劉向列女伝<新刻古列女伝>11卷6冊
嘉定7序 刊 27×18 125.1—R98

劉向說苑 20卷10冊
沛郡劉向 嘉靖26序 刊 27×18
125.1—R98

劉向說苑纂註 20卷10冊
寛政6序 26×19 刊 125.1—R98

蘇子由集<宋大家蘇文定公文抄>20卷8冊
刊 27×17 125.4—So63

御定朱書百選 6卷3冊
朱子 刊 36×23 125.46—G99

訓点改正小学句読 6卷4冊
安政2刊 25×18 125.46—Sh95

救荒本草 7冊
嘉靖4序 刊 28×18 125.5—Ky48

救荒野譜 1冊
正徳5序 刊 27×18 125.5—Ky48

王陽明文粹 4冊
刊 22×15 125.5—O95

王陽明出身靖乱録 3冊
墨愁斎新 刊 26×17
「桜圃生蔵書記」印 125.5—O95

王陽明奏議選 4冊
桑原鷲峯 明治4刊 23×16
125.5—O95

140 心理学

高島易断 10冊(帙)
高島嘉右衛門 明治19序 刊 26×18
148.6—Ta54

150 倫理学

三綱行実 3冊
宣徳7序 刊 36×22 150—S65

人道要論 1冊
鳥尾小弥太 明治33刊 23×15
150—J52

自省編<御製自省編>
英祖 刊 34×22 150—J54

御製政訓(全) 1冊
刊 34×22 150—G99

五礼儀 8冊
成宗 刊 35—23 150—G67

五倫行実圖 5卷4冊
宣徳7序 刊 32×20 150—G67

統一学(全)
鳥尾小弥太 明治35刊 23×15

- 聖教要録(弁義) 2冊(帙)
山鹿素行 大正2刊 24×16
123.81—Se17
- 中庸 1冊
淳熙16刊 26×19 123.82—C69
安永改正中庸 3冊
刊 27×18 123.82—C69
新刻改正中庸 1卷10冊
刊 26×18 123.82—C69
新校正道春熙中庸 1冊
刊 28×20 123.82—C69
中庸示蒙句解<四書示蒙句解> 1冊
刊 25×19 123.82—C69
新校正論語 10卷4冊
刊 28×20 123.82—R66
安永改正論語 1冊
刊 27×18 123.83—R66
安永改正論語 4冊
刊 27×18 123.83—R66
慶応新刻論語 10卷4冊
刊 26×18 123.83—R66
論語徵正文 2卷1冊
寛政3刊 27×18 123.83—R66
点註四書論語讀本 1冊
明治30刊 23×15 123.83—R66
論語古訓 10卷1冊
太宰春台 寛政4刊 16×18
123.83—R66
論語古訓正文 2卷1冊
太宰定保 宝曆4刊 26×18
123.83—R66
校刻論語集註 10卷1冊
大正7刊 23×16 123.83—R66
論語鄭氏注 1冊
刊 35×22 123.83—R66
論語善本書影 1冊(帙)
大阪府立図書館 昭和6刊 27×20
123.83—R66
論孟註疏 14卷8冊(帙)
刊 25×15 123.83—R66
校補薛氏批孟子 3冊(2部)
井上揆 明治13刊 24×16
123.84—Ko27
講孟節記 45卷10冊 刊
吉田松陰 安政2序 23×15
123.84—Ko67
安永改正孟子 4冊
安永2刊 26×18 123.84—Mo81
新刻改正孟子 14卷4冊
文久元跋 刊 26×18
123.84—Mo81
孟子 1冊 刊
26×19 123.84—Mo81
論語註疏解經 10卷2冊
刊 34×24 123.84—R66
增補薛氏批孟子 2冊
明治13刊 26×19 123.84—Z75
校刻孟子集註 7卷1冊
大正5刊 23×16 124.16—Mo81
荀子 20卷4冊
民国15年刊 20×19 124.17—J96
荀子全書 20卷10冊
延享2刊 27×18 124.17—J96
列仙全伝<有象列仙全伝> 9卷4冊
王世貞 慶安3刊 25×18
124.2—R28
老子肅齋口義 10卷5冊(帙)
延宝9刊 26×19 124.22—R72
析玄 1冊
広瀬淡窓 天保12刊 26×17
124.22—Se22
重刻莊子南華真經 10卷5冊

- 刊 26×16 123.41—E99
- 周礼注疏 42卷12册 (帙)
賈公彥 刊 25×15 123.41—Sh99
- 儀礼註疏 48卷14册
刊 25×17 123.42—G47
- 儀礼註疏 17卷6册 (帙)
刊 25×15 123.42—G47
- 儀礼章句 17卷4册 (帙)
乾隆2序 刊 25×16 123.42—G47
- 礼記 1册
刊 27×20 123.43—R12
- 改正音訓礼記 4册
刊 26×19 123.43—R12
- 改正音訓礼記 3册
天明7刊 26×19 123.43—R12
- 改正音訓礼記 4册
刊 27×19 123.43—R12
- 官板礼記大全 23卷30册
刊 30×20 123.43—R12
- 景元至正本大載礼記 13卷2册
至正14序 刊 30×20
123.45—Ta24
- 国語 21卷6册 (帙)
左兵明 刊 29×18 123.6—Ko47
- 春秋<春秋名号帰>30卷17册 (帙)
刊 31×21 123.6—Sh99
- 左伝輯积 25卷21册 (帙)
安井衡 明治4序 26×18 刊
123.65—Sa13
- 春秋左氏伝評林 70卷15册
寛政5跋 刊 26×18
123.65—Sh99
- 再刻春秋左氏伝校本 30卷15册
明治4刊 25×18 123.65—Sh99
- 三刻春秋左氏伝校本 30卷15册
明治4刊 26×18 123.65—Sh99
- 四刻春秋左氏伝校本 30卷15册
明治13刊 25×18 123.65—Sh99
- 翻刻春秋左氏伝校本 4卷2册
明治16刊 26×17 123.65—Sh99
- 春秋左氏伝校本 30卷15册
明治25刊 26×19 123.65—Sh99
- 官板春秋大全 37卷38册
刊 30×20 123.6—Sh99
- 東萊博議 2卷4册
呂祖謙 寛政11刊 18×13
123.65—To66
- 四書味根録 16册 (帙)
刊 16×12 123.8—Sh91
- 四書集註 3册 (帙)
天保8刊 17×12 123.8—Sh91
- 四書大全 36卷48册 刊
胡広 嘉永6序 27×20
123.8—Sh91
- 四書匯参 22册
乾隆10序 刊 26×19 123.8—Sh91
- 大学 1册 (2部)
淳熙16 24×18 刊 123.81—D16
- 大学示蒙句解<四書示蒙句解>2卷1册
楊齋仲 刊 25×19 123.81—D16
- 新刻改正大学 1册 (3部) 刊
淳熙16序 25×18 123.81—D16
- 明治新刻大学 1册
刊 25×18 123.81—D16
- 改正再刻大学 1册
刊 25×18 123.81—D16
- 安永校正大学 1册
刊 27×21 123.81—D16
- 寛政改正大学 1册
刊 25×18 123.81—D16
- 大学首講義<千島毅庵先生大学首章講義>
1册 23×16 刊 123.81—D16

- 弘道館記述義 2冊
藤田東湖 明治18刊 23×14
121.8—Ko21
- 及門遺範 1冊
会沢安 文久元刊 26×18
121.8—Ky48
- 草偃和言 1冊
会沢安 刊 27×18 121.8—So22
- 統皇朝史略 5冊(2部)
青山延千 天保2序 刊 26×18
121.8—Z95
- 礼記集註 30卷56冊(帙)
陳元 刊 27×19 123—R25
- 十三經註疏 90冊
刊 26×17 123—J98
- 經伝釈詞 4冊
王引之 嘉慶24序 刊 26×17
123—Ke21
- 經典余師(孝經) 1冊
溪世專 刊 23×16 123—Ke28
- 經典余師(詩經) 8冊
溪世專 嘉永2刊 22×16
123—Ke28
- 經典余師(朱氏家訓)
勝村沿右衛門 天保6刊 23×16
123—Ke28
- 箋註蒙求校本 3冊
李瀚 明治13刊 25×18 123—Mo16
- 校正箋註蒙求 3冊
李瀚 刊 22×16 123—Mo16
- 蒙求拾遺 3冊
大江広保 宝暦2刊 27×18
123—Mo16
- 標疏訂正箋註蒙求校本<標題徐狀元補註蒙
求校本> 3冊
李瀚 明治17刊 25×18 123—S61
- 改訂音訓五經 2冊
元符2序 刊 123.1—E42
- 官板易經大全<周会魁校正易經大全>
24卷26冊 刊 30×20 123.1—E42
- 改正音訓易經 2冊
文化9序 刊 25×18 123.1—E42
- 改正音訓易經 2冊<周易>
刊 27×19 123.1—E42
- 改正音訓易經<周易>2卷1冊
刊 27×19 123.1—E42
- 周易注疏 9卷6冊(帙)
刊 25×15 123.1—Sh99
- 古文尙書標註 13卷2冊
天明3跋 刊 26×18 123.2—Ko14
- 毛詩註疏 20卷8冊(帙)
刊 25×15 123.3—Mo81
- 毛詩名物図説 9卷2冊
文化5序 刊 26×18 123.3—Mo81
- 書經<周書> 1冊
刊 28×19 123.2—Sh96
- 官板書經大全 10卷11冊
承応2跋 刊 30×20 123.2—Sh96
- 改正音訓書經 4冊
刊 26×19 123.2—Sh96
- 改正音訓書經<尚書>2冊(2部)
嘉定2序 刊 26×18 123.2—Sh96
- 尙書 13冊
大正4跋 刊 38×27 123.2—Sh96
- 尙書注疏 20卷8冊
刊 25×15 123.2—Sh96
- 尙書正義 20卷10冊
孔穎達 刊 28×18 123.2—Sh96
- 三礼図<新定三礼祭王図> 20卷4冊
西峯義 宝暦11跋 刊 29×19
123.4—S66
- 絵図周礼便蒙課本 6卷2冊

- 会沢安 刊 26×19 116—Ka16 121.5—D36
- 120 東洋思想**
- 又子 1冊 刊
南浦敬治 明治18跋 23×15 121—Sa81
- 玉勝間 14卷15冊
本居宣長 文化9跋 刊 27×19 121.25—Ta78
- 本朝儒宗伝 3冊
巨勢正純 元禄3序 刊 26×18 121.3—H84
- 先哲叢談 8卷4冊
原善 文化13序 刊 25×18 121.41—Se74
- 先哲叢談年表 1冊
東条耕 文政10序 刊 25×18 121.41—Se74
- 先哲叢談後編 8卷4冊
東条耕 文政13刊 25×18 121.41—Se74
- 先哲叢談 8卷4冊 刊
原善 文化14序 26×18 121.41—Se74
- 駿台雜話 5冊
室鳩巢 寛延3刊 27×18
- 良齋間話 2冊
安積信 天保12刊 27×18 121.44—Ko78
- 良齋間話(続) 2冊
安積信 嘉永4刊 27×18 121.44—Ko78
- 断璧殘圭 1冊
熊沢蕃山 昭和2刊 24×17
- 劉向新序纂註 5卷2冊
武井樗斎 刊 26×18 121.5—R99
- 中朝事實 2冊
山鹿素行 明治2跋 刊 26×19 121.61—C61
- 配所殘筆 1冊
山鹿素行 刊 27×19 121.61—H15
- 聖教要録 1冊
山鹿素行 寛文5序 刊 27×18 121.61—Se17
- 産語 2冊
太宰春台 寛延2序 刊 23×16 121.67—S63
- 豈好弁 1冊
安政4序 刊 26×18 121.8—G14
- 常陸帶 2冊 刊
藤田東湖 弘化元序 27×18 121.8—H77
- 回天詩史 2冊 刊
藤田東湖 安政3跋 18×13 121.8—Ka21
- 回天詩史 3冊(下卷2部) 刊
藤田東湖 安政3跋 25×17 121.8—Ka21
- 皇朝史略 12卷8冊
青山延干 文政9跋 刊 26×18 121.8—Ko15
- 皇朝史略 12卷10冊 刊
青山延干 文政9序 26×18 121.8—Ko15
- 弘道館記述義 2冊
藤田東湖 刊 20×18 121.8—Ko21
- 弘道館記述義 2冊
藤田東湖 明治2刊 18×13 121.8—Ko21

九香遺稿 1冊
大洲鉄然 大正3刊 23×15
099—Ky48

九峰詩鈔 1冊
高島九江 昭和3刊 24×15
099—Ky48

虛舟遺稿 2冊
落合濟三 明治24刊 23×15
099—Ky49

七尾山第二集 2冊(第1冊欠)
明治14中村弼跋 刊 23×15
099—N48

黃中詠草 4冊
香川景柄 刊 27×19 099—O15

老田遺稿 1冊
塩谷忠三郎 明治30刊 099—O31

類題阿武の杣板 1冊
近藤芳樹 文政13刊 23×16
099—R84

線野拾芳 1冊
写83丁 明治41序 27×19
099—R99

清狂遺稿 上下2冊(2部)
月性 明治25刊 23×16 099—Se17

雷水遺稿 1冊(2部)
來栖守衛・安藤紀一 大正2刊
23×16 099—Se89

松菊遺稿 1冊(2部)
木戸孝正 明治28刊 21×13
099—Sh96

習静楼遺稿 1冊
吉川元光 大正8刊 28×17
099—Sh99

素石園素石遺稿集 1冊
木村延太郎 昭和2刊 19×14
099—So62

続編素石遺稿集 1冊
木村延太郎 昭和2刊 19×14
099—So62

霜堤葦響 2冊
近藤清石 明治20刊 19×13
099—So72

霜堤雜草 4卷14冊
近藤清石 明治40—42写 24×17
099—So72

水竹草堂詩鈔 1冊
赤松安 大正2刊 23×16
099—Su51

蕙蘩雅藻 1冊
大田報助 明治33刊 23×16
099—Su51

且堂遺稿 1冊
山中健吉 明治30刊 23×15
099—Ta86

適堂遺稿 2卷1冊
福永得三 昭和12刊 23×15
099—Te31

東北遊日記 2冊
吉田松陰 明治元刊 23×15
099—To25

山口職人七十一番歌合 1冊
阿川太良 明治25刊 19×13
099—Y24

隨風堂遺稿 1冊
毛利元功 明治27刊 24×15
099—Z96

100 哲 学

110 哲学各論

下学選言 3冊

- 増補周防記** 5冊 写
 石川忠記 文化10序 24×17
 092—Z95
- 勅選銅碑帖** 1帖
 棋取素彦題籤 28×15
 明治23刊 097—C53
- 素空公墨蘭画存** 1冊
 山県公爵伝記編纂会 昭和4刊
 31×16 097—So32
- 防長詠史** 1冊
 来栖守衛 昭和15刊 24×15
 099—B61
- 槽山集** 1冊
 山県伊三郎 大正11刊 23×16
 099—C47
- 聴雨山房詩鈔** 1冊
 喜多貞吉 大正6刊 25×14
 099—C57
- 大案西山詩存** 1冊
 写 24×17 099—D26
- 瀨城三十六勝記** 2冊
 山県篤蔵 明治33刊 21×12
 099—H16
- 浜崎集** 付徳山七士伝 1冊
 浅見沢 明治26刊 24×15
 099—H26
- 杷山遺稿** 1冊
 (口羽徳祐遺稿) 25×18
 坂上忠介 明治16刊 099—H49
- 芳宜園集** 2冊
 井関美清 明治30刊 27×20
 099—H81
- 百里遺稿** (全1冊)
 笠原半九郎 明治29刊 22×13
 099—H99
- 一騎歌尽** 1冊
 加藤楼花 刊 26×18 099—I36
- 花竹齋存稿** 4冊
 写 28×19 099—Ka12
- 回顧集** 1冊
 刊 明治21天野御民跋 22×15
 099—Ka21
- 華甲頌言** 1冊 刊
 明治20序 23×16 099—Ka27
- 環海詩誌** 1冊
 杉孫七郎 大正4刊 23×14
 099—Ka56
- 花翁遺稿** 1冊
 松林篤 昭和15刊 22×16
 099—Ka61
- 勝間題若菜** 7卷2冊
 写 26×18 099—Ka88
- 香山の志都久** 1冊
 田中一介 明治40刊 24×16
 099—Ka99
- 桂城集** 1冊
 矢島専平 大正2刊 23×16
 099—Ke23
- 江月齋稿** 1冊 (2部)
 日下実甫 (久坂) 慶応4刊 12×9
 099—Ko25
- 江月齋遺集** 2冊 刊
 久坂実甫 明治10 23×16
 099—Ko25
- 弘毅齋遺稿** 1冊 (2部)
 奥平謙甫 大正15刊 19×12
 明治19高島張輔序 099—Ko43
- 古稀賀集** 1冊
 刊 23×16 099—Ko43
- 杏隴遺稿** 1冊
 門田俊磨 大正12刊 22×15
 099—Ky46

- 24×17
勅撰木戸公神道碑 1冊
大正2刊 31×18
鴻城志 5冊 写
24×17
鴻城地誌 1冊
写23丁 李家少輔五郎 25×18
鴻城村名由来書 1冊
写12丁 25×17
鴻城志拾遺 1冊
写26丁 25×17
鴻城志拾遺 2冊
刊 24×17
国史所見防長事蹟考 1冊
写41丁 24×17
毛利十一代史 42卷43冊(2部)
大田報助 明治43 24×16 刊
大村兵部大輔負傷事件 1冊
京都府 昭和12刊 28×20
大内氏実録 5冊
近藤清石 明治18刊 23×16
歴世弁覧 2冊 写
25×18
老人雑話 乾坤2冊 写
伊藤宗恕 25×18
防長古文書誌 21冊 写
近藤清石 明治38 24×17
靖献事蹟(山口県史略付録) 2冊
近藤清石 明治18刊 23×15
正閩史料 12冊 写
- 092—Ke45
092—Ki13
092—Ko39
092—Ko39
092—Ko39
092—Ko39
092—Ko53
092—Mo49
092—O64
092—O91
092—R25
092—R62
092—B61
092—Se17
- 明治39 近藤清石 24×17
尊攘堂遺墨集 1冊
田中常太郎 昭和3刊 31×23
尊攘堂誌
(尊攘堂遺墨集解説書) 19×23
田中常太郎 昭和3刊
追懐録 付入江子遠遺稿
明治2刊 23×16
山口県史略 6冊
近藤清石 明治14—16刊 23×15
山口県地誌略(全1冊)
近藤清石 明治10刊 22×15
山口県風土誌 108冊
近藤清石 昭和14写 25×17
山口名勝旧蹟図誌 5冊
近藤清石 明治20—大正7写 24×17
続山口名勝旧蹟図誌 2冊(1巻欠)
近藤清石 明治27—写 24×17
山口を中心としての物外和尚 1冊
藤野石園 昭和13写19丁 25×17
山口枝折 付録山口のしるべ
勝間蘭葩 昭和6写 24×17
余芳千古 1冊
新山忠 明治27刊 24×16
吉敷郡寺社一覽 2冊
写 24×17
- 092—Se17
092—So47
092—So47
092—Ts39
092—Y24
092—Y24
092—Y24
092—Y24
092—Y24
092—Y24
092—Y24
092—Y73
092—Y89

- 増補万宝全集** 20巻6冊 刊
 乾隆4序 25×16 082—Ma46
宋子大全 215巻102冊 刊
 32×21 082—So63
- 090 郷土資料**
- 洞春開山嘯岳鼎虎禪師語錄** 1冊
 中村泰祐 昭和6刊 27×18
 091—D88
- 常栄寺宝物帖** 1冊
 麻生亮 明治41刊 27×17
 091—J59
- 児玉神社献詠歌詩集** 1冊
 吉武源五郎 昭和15刊 22×16
 091—Ko18
- 周防府松崎天神鎮座考** 2冊
 弘正方 嘉永2刊 26×18
 091—Ma92
- 松崎神社顯聖記** 1冊 刊
 近藤芳樹 明治7跋 24×17
 091—Ma92
- 乃木神社献詠歌集** 1冊
 西沢新太郎 大正6刊 23×16
 091—N73
- 幕末防長勤王史談** 10巻4冊
 得富太郎 昭和16刊 23×15
 092—B15
- 防長歴史談** 1冊
 宮崎勇熊 明治26刊 23×16
 092—B61
- 防長史談(1・2)** 2冊(2部)
 大藤紘 明治26刊 23×15
 092—B61
- 分限帳(萩藩)** 1冊
 弘化3 写124丁 17×24
- 長周叢書** 24冊
 村田峯次郎 明治23刊 23×15
 092—C55
- 吉田物語(長周叢書)** 3冊
 村田峯次郎 明治31刊 16×12
 092—C55
- 温故私記(長周叢書)** 3冊
 村田峯次郎 明治31刊 16×12
 092—C55
- 長州御追討御進発一件** 1冊
 写 25×17 秋田道典 092—C55
- 中興祖宗略譜** 1冊
 写26丁 24×17 092—C64
- 一字庵菊舍尼遺稿** 1冊
 本荘熊次郎 大正14刊 23×16
 092—I13
- 郡中大略** 11冊 写
 大島・山代・熊毛・都濃・徳地・三田尻
 ・三田尻(増補)・山口・小郡・美祢・
 当島宰判 27×20 092—G94
- 群書類従(第394巻)** 1冊 刊
 27×18 092—G94
- 十三山書楼尺牘纂輯** 1冊
 加藤桜老先生顯彰会 昭和9刊
 25×19 092—J98
- 懐旧記事** 5冊
 山県有朋 明治31刊
 23×16 092—Ka21
- 華城村誌** 1冊
 佐波郡華城村役場 昭和2刊
 23×16 092—Ka22
- 見聞私記** 1冊
 山県太華 明治23 写28丁
 25×18 092—Ke41
- 硯海小萩嵐** 11巻6冊 写

北辺隨筆(初編) 4冊(帙)

富士谷御杖 文政2刊 26×19

049—H82

彌児目醒草 6冊

池上喬房 明治19刊 19×12

049—Ju92

過庭紀談 5冊

原雙桂 明和5序刊 26×18

049—Ka89

桂林漫録 2卷(帙)

桂林中良 享和3刊 26×18

049—Ke27

近聞萬筆(乾・坤) 近聞襟録(完)

4卷3冊 吉田篁墩 文政6刊 28×18

049—Ki41

栗山文集 6卷5冊

柴野栗山 天保13刊 26×19

049—R48

履軒弊帚(全) 1冊

中井履軒 写40丁 26×17

049—R41

静寄余筆 2冊

尾藤二洲 刊 26×18

049—Se17

節齋漫録 1冊

森田節齋 写29丁 25×17

049—Se88

四季草 7冊

平貞丈 刊 27×19

049—Sh34

校正新安手簡 5冊

新井白石・安積覚 刊 26×18

049—Sh59

省愆録 1冊

佐久間象山 明治25刊 24×16

049—Sh96

冬読書余 3卷2冊

尾藤二洲 刊 26×18

049—To18

雲萍雜誌 4冊

柳里恭 昭和19刊 26×19

049—U77

070 新聞・ジャーナリズム

各国新聞紙 1冊

英国ウイセヒ編 慶応4刊 23×16

073—Ka26

080 双書・全集

甘雨亭叢書 48冊

板倉勝明 刊 18×13

081—Ka59

羽陽叢書 6冊

新貝卓次 明治15刊 23×15

081—U98

存採叢書 16冊

明治18刊 20×13

081—Z95

一休和尚全集 1冊

若生国栄編 明治40刊 23×15

081.5—I36

武英殿聚珍版程式 120冊(帙)

刊 19×12

082—B82

簞曝雜記 6卷2冊 趙翼

刊「松菊荘文庫印」 25×16

082—E57

佩文齋書畫譜 100卷40冊(帙)

康熙帝 康熙47刊 25×16

082—H15

漢魏叢書 104冊 刊

元豊5序 25×16

082—Ka55

古文淵鑑 64卷24冊 刊

康熙24序 30×17

082—Ko14

佩文齊広群芳譜 100卷36冊

同治7 刊 23×16

082—Ko26

桜園寺内文庫和漢書目録

000 総記

020 図書・書誌学

- 徳川幕府時代書籍考 1冊
牧野善兵衛 大正元刊 23×16
020.21—To36
- 訪書余録 6冊(帙)
和田維四郎 大正7刊 33×24
022.31—H92
- 群書一覽 6冊
尾崎雅嘉 享和2刊 19×13
025—G94
- 簡明目録 20卷11冊(帙)
千敏中 刊 20×13 025.22—Sh34
- 高治以前古版年表 1冊
汲古堂 刊 24×16 026—Ko27
- 維新前後外国語図書目録 1冊
東京外国語学校 昭和5刊 24×17
027—I79
- 静嘉堂秘籍志 50卷25冊(帙)
大正6刊 29×18 029.9—Se17

030 百科事典

- 倭漢三才図会 105卷81冊(箱)
寺島良安 正徳3刊 27×19
031—W24
- 古今新撰四季部類大全 1冊
山口素揚 明治15刊 12×9

- 大全早引節用集 1冊
寛政8刊 13×19 031.3—D28
- 近世奇跡考 5卷2冊
山東京伝 文化元刊 21×16
031.3—Ki46
- 雑字類編 7卷4冊
柴野貞毅 刊 22×16 031.3—Se93
- 倭名類聚鈔 20卷3冊
源順 慶安元刊 28×19
031.3—W37
- 結耗録 3冊
松成章 宝暦9序 刊 22×16
031.4—Ke64
- 淵鑑類函 326卷98冊(15~21, 29~35,
43~49, 71~76, 98~103卷欠)
張英 康熙49序 刊 25×16
032.2—E62
- 淵鑑類函 450卷200冊(箱)
張英 康熙49序 刊 25×16
032.2—E62
- 錦字箋 4卷2冊(帙)
文政11序 刊 18×13 032.2—Ki44

040 一般論文集・講演集

- 壺簪記聞 1冊
写46丁 24×16 049—G15
- 梧窓漫筆 2卷1冊
太田錦城 明治30刊 22×16
049—G69

8 1 0	日本語	48
8 2 0	中国語	49
9 0 0	文学	49
9 1 0	日本文学	49
9 1 1	詩歌	49
9 1 2	戯曲	53
9 1 3	小説・物語	54
9 1 4	評論・随筆	56
9 1 5	日記・紀行	57
9 1 7	諷刺	58
9 1 9	日本漢詩文	58
9 2 0	中国文学	67
9 2 1	〃 漢詩文	67
(9 2 1・9)	朝鮮漢詩文	73
9 2 2	〃 戯曲	75
9 2 3	〃 小説	75
9 2 4	〃 評論・随筆	75

量案	78
和会文記・明文	78
その他	78

書画・詩文	78
日本	78
朝鮮	79
拓本類	80
日本	80
中国・朝鮮	81
別集補遺	82

(目録 終)

〔別 集〕

文書・記録	76
--------------	-----------

日本	76
朝鮮信使関係	76
朝鮮総督府関係	76
その他	77

朝鮮	77
教旨	77
啓	77
解由等公文書	77
招記・所志	78
戸籍	78

目 次

<p>000 総記……………4</p> <p>020 図書・書誌学……………4</p> <p>030 百科事典……………4</p> <p>040 一般論文集・講演集……………4</p> <p>070 新聞・ジャーナリズム……………5</p> <p>080 双書・全集……………5</p> <p>090 郷土資料……………6</p> <p>100 哲学……………9</p> <p>110 哲学各論……………9</p> <p>120 東洋思想……………10</p> <p>140 心理学……………14</p> <p>150 倫理学……………14</p> <p>160 宗教……………17</p> <p>170 神道……………17</p> <p>180 仏教……………17</p> <p>190 キリスト教……………21</p> <p>200 歴史……………21</p> <p>210 日本……………22</p> <p>220 アジア……………27</p> <p>230 ヨーロッパ……………30</p> <p>280 伝記……………30</p> <p>290 地理……………34</p> <p>300 社会科学……………35</p> <p>310 政治……………35</p> <p>320 法律……………35</p> <p>330 経済……………36</p> <p>340 財政……………36</p> <p>360 社会学・社会問題……………36</p>	<p>370 教育……………36</p> <p>380 風俗習慣・民俗学……………36</p> <p>390 国防・軍事……………36</p> <p>400 自然科学……………37</p> <p>450 地学……………37</p> <p>460 生物学・博物学……………37</p> <p>470 植物学……………37</p> <p>490 医学……………37</p> <p>500 工学……………38</p> <p>520 建築学……………38</p> <p>580 製造工業……………38</p> <p>590 家事……………38</p> <p>600 産業……………38</p> <p>610 農業……………38</p> <p>670 商業……………39</p> <p>700 芸術……………39</p> <p>710 彫刻……………39</p> <p>720 絵画……………39</p> <p>(728) 書・書道……………39</p> <p>730 版画……………46</p> <p>740 写真術……………47</p> <p>750 工芸……………47</p> <p>760 音楽……………47</p> <p>780 体育・スポーツ……………47</p> <p>790 諸芸・娯楽……………48</p> <p>800 語学……………48</p>
---	---

桜圃寺内文庫和漢書目録

凡 例

- 1 本目録は寺内文庫所蔵和漢書のみに限定して収めた。
- 2 分類はNDCによった。また寺内文庫記号TWは省略した。
- 3 冊子本以外の文書・書画・拓本類は〔別集〕として別個に分類整理を行った。
- 4 書冊に内題のある場合は表題の次に〈 〉で示した。
- 5 帙や木箱を伴う場合は（帙）（箱）で示した。
- 6 写本・刊本の区別は**写・刊**で、拓本は**拓**で示した。
- 7 丁数は写本の一冊本の場合のみを掲げ、あとは省略した。
- 8 寸法は縦×横^{cm}である。
- 9 年代は年次のみとし、月日は省略した。
- 10 人名について、編・著などの区別は省略した。
- 11 書画・文書等の筆者が多人数の場合、目録にはその一部分のみを記載した。
- 12 序・跋・奥書・書入・伝来・蔵書印等の調査も行ったが、紙数の都合上省略した。

書名	掲載ページ
洪雲堂帖	P 44
九龍八珍	
波斯市	
書画帖	
駱坡筆戲	
見聖菴勸護帖	
模霞帖	
庀製後帖	
李匡師法帖	
鱗角碑	
六家墨	
參峯遺墨	P 45
成文貞公筆蹟	
西譚公西征録	
石峰真墨	
石峰書	
先賢遺墨	
先賢簡牘	
先輩詩帖	
先輩往復	
先世帖(第一卷)	
四勿箴	
播紳筆	
最遺書	
諸家書牘	
諸賢簡牘	
諸臣製進	

(貴)

書名	掲載ページ
諸家書牘	P 45
集古帖	P 46
蒼巖真帖	
尊敬帖(第5卷)	
僧靈業書拓本	
退陶遺墨	
貞谷書跋	
東華筆真	
東国諸賢遺墨	
東宮邸下手書	
東宮邸下手論	
藥峰法帖	
分財記[和会文記]	P 78.

* (貴) 貴重書

以上、「桜圃寺内文庫和漢書目録」から削除してください。

大韓民国 慶南大学校 寄贈図書一覧

書名	掲載ページ
別章帖	P 40
姜豹庵先生遺墨	
戊辰朝天別章帖 (貴)	P 41
竹泉遺墨	
別章帖	
丁丑入学図帖 (貴)	
丁亥赴燕別章帖	
朝鮮真筆	
朝鮮名家真筆	
朝鮮名家親筆	
賜 錢 帖	
聽松先生真筆	
同春簡帖	P 42
同 堂 帖 (第四卷)	
益齋月落帖	
阮堂法帖 曹訥入并書	
御製題名帖 [整版並写本]	
玉洞書帖	
白 下 帖	
白 下 帖	
白沙手蹟	
白月禪師碑 拓本	
白華遺墨	
白華遺墨	
筆 叢	
厚山別帖	
遺稿 趙泰億	
寿 北 帖	
儒 近 帖	

書名	掲載ページ
海東古簡牘	P 42
海東名筆	
海東名筆 拓本 金生	P 43
海東名蹟	
海東筆藪	
翰墨清玩	
翰 墨 林	
感慕帖 (第二卷)	
簡 帖 (成 氏)	
咸營別章帖	
韓誕氏法帖	
簡 牘	
簡 牘	
簡 牘 帖	
簡牘小集 (錦南山房藏帖)	
綺 園 帖	
金齋弄翰 姜世晃	
近 儒 帖	
興 尽 帖 (真画帖)	
簡 帖	P 44
古 簡 帖	
古 簡 帖	
古 簡 帖	
古 簡 帖	
高麗慈燈塔碑 拓本	
廢 載 帖	
古 牘	
名賢簡牘 (貴)	
名賢簡牘 (貴)	

(8) 李氏朝鮮書畫・詩文

P79~80

- 1 成石璫 (独谷) 1幅 26×15
忠肅王復位7—世宗5
- 2 李煜 (白玉軒) 1幅 168×43
太宗17—世祖元
- 3 朴彭年 (醉琴軒) 1幅 25×38
太宗17—世祖元
- 4 成三問 (梅竹軒) 1幅 39×48
太宗18—世祖元
- 5 成三問 1幅 38×48
世宗26
- 6 徐居正 (四佳亭) 1幅 35×44
世宗2—成宗19
- 7 徐敬德 (可久・花潭) 1幅
成宗20—明宗元 39×50
- 8 成守素 (聽松堂) 2幅
成宗24—明宗19
- 9 具思孟 (八谷) 1幅
明宗時代 131×57
- 10 柳根 (晦夫) 1幅
明宗4—仁祖5 26×29
- 11 李麟奇 (松溪居士) 1幅
明宗4—仁祖9
- 12 李弘齊 (梨川) 1幅
明宗17—仁祖16 29×24
- 13 金鑿 (北渚) 1幅
宣祖4—仁祖26 44×32
- 14 洪瑞鳳 (鶴谷) 1幅
宣祖5—仁祖23 44×32
- 15 趙翼 (飛柳・浦渚) 1幅
宣祖12—孝宗6 39×50

- 16 申羽聖 (東淮・樂堂) 絹本1軸
宣祖21—仁祖22 175×73
- 17 張維 (谿谷) 1幅
宣祖20—仁祖16 43×34
- 18 梧里 1幅
宣祖時代 43×83
- 19 李景奭 (白軒) 1幅
宣祖28—顯宗12 34×32
- 20 李景奭 1幅
38×49
- 21 宋時烈 1軸
宣祖40—肅宗10 40×760
- 22 李健 (子強・葵窓) 1幅
光海君6—顯宗3 137×53
- 23 李正英 (正谷)
光海君8—肅宗12 38×50
- 24 金佐明 (一正・滂川) 1幅
光海君8—顯宗12 42×58
- 25 沈演 (圭峰) 1幅 仁祖20
仁祖時代 31×23
- 26 朴泰輔 (定齋) 1幅
孝宗5—肅宗15 32×43
- 27 李宜炳 (梧亭) 1幅
肅宗11— 33×51
- 28 尹德熙 (駱西・蓮翁) 絹本2幅
山水画 肅宗11— 32×22
- 29 李麟祥 (宝山子) 1幅
英祖19 肅宗36—英祖35 25×41
- 30 丁若鏞 (茶山) 2幅
英祖38—憲宗2 21×21

- 31 正祖 1幅 33×46
題箋「正祖大王御手宝墨」
- 32 金正喜 (秋史) 1幅
正祖10—哲宗8 29×39
- 33 李三晚 (蒼巖) 2幅 113×44
- 34 黃喜 1軸 111×47
- 35 金余慶 1幅 36×40
- 36 朴光玉 1幅 41×58
- 37 韓述 (陶谷) 1幅 38×49
- 38 陸匡 1幅 41×42
- 39 閔応亨 1幅 30×26
- 40 俞応亨 (本祀) 1幅 40×58
- 41 芝湖 1幅 23×41
- 42 柳誠源 (太初) 1幅 40×57
- 43 沈公愷 (公望) 1幅 35×49
- 44 光祖 1幅 28×34
- 45 馬天牧 1幅 43×57
- 46 口舟 1幅 29×34
- 47 (沈一) 1幅 31×11
- 48 (不詳) 1幅 37×54
- 49 (不詳) 1幅 43×64

寺内文庫 貴重図書目録

- | | | | | | |
|------------------|-----------|---------|-------|------------|------|
| (1) 禅林僧宝伝 | 恵洪 宝慶3序刊 | 30巻6冊 | P 21 | TW 188.8 | Z 93 |
| (2) 絵本百将鑑 | 慶長13刊 | 1帖 | 31 | TW 281.035 | E 34 |
| (3) 樵談治要 | 群書類従本原本 | 1冊写29丁 | 35 | TW 311 | Sh95 |
| | 青木信寅旧蔵 | | | | |
| (4) 六帖 | 慶長古活字本 | 6冊1冊69丁 | 36 | TW 399.2 | R 63 |
| (5) 八代集 | 高野保春写 元禄9 | 9帖 | 50 | TW 911.135 | H 11 |
| (6) 李氏朝鮮拓本広開土王陵碑 | 4枚2部 | | 82 | | |
| (7) 李氏朝鮮文書・記録 | | | 77~78 | | |

(教旨)

- | | | | |
|---------------------|-----------|---------------------|------------------|
| 1 告身 姜世晃 乾隆48 | 1枚 | 前安岳郡守朴道彬 咸豊10 | 43 放壳明文 1綴4枚 |
| 2 科録票 姜世晃 乾隆51 | 1枚 | 〔黄海道觀察使印〕 | 金祥玉 康熙11 |
| 3 科録票 姜世晃 乾隆51 | 1枚 | 26 南学東斎草講望記 1枚 (包袱) | 李起広 〃 27 |
| 4 告身 姜世晃 乾隆55 | 1枚 | 甲戌年 | 韓厚仁 〃 36 |
| 5 教旨 (白牌) | | 27 海州牧使曹錫興書 1枚 (教書) | 尹贊三 〃 53 |
| | | 同治8 | |
| 6 教旨 (白牌) | 曹錫興 道光26 | 2枚 28 差帖 1枚 | 44 放壳明文 6枚粘連 |
| | | 史曹 曹慶承宛 光緒2 | 啓主李己首, 金秀命, 李岐芳妻 |
| | 曹慶承 同治6 | 1枚 29 〔承政院關係記録〕 1巻 | 朴生員奴海先, 李自遇 |
| 7 告身 曹慶承 光緒2 | 1枚 | 顕宗5年カ (官人私日記) | 康熙28~雍正9 |
| 8 告身 曹慶承 光緒3 | 1枚 | 壬子年 (光海君5) 紙背文書有 | 45 放壳明文 1綴5枚 |
| 9 告身 曹慶承 光緒8 | 1枚 | | 啓主河一守, 黄己明 |
| 10 告身 曹慶承 光緒8 | 1枚 | (招記・所志) | 康熙38~55 |
| 11 告身 曹慶承 光緒8 | 1枚 | 30 招記 (初招) 1通 (権詹) | 46 放壳明文 2枚粘連 |
| 12 告身 曹慶承 光緒11 | 1枚 | 31 招記 (再招) 1通 | 田主奴山尹 |
| 13 告身 曹慶承 光緒11 | 1枚 | 32 招記 (4招) 1通 | 康熙53~54 |
| 14 録券 朴鍾淳 甲寅 (正祖18) | 1枚 | 33 招記 (5招) 1通 | 47 放壳明文 1枚 |
| 15 録券 朴永元 (鍾淳子) | | 34 招記 (初~3招) 写 1綴 | 啓主鄭史趙農泰 雍正5 |
| | 丙午 (憲宗12) | 1枚 35 山歌 2通 | 48 放壳明文 1枚 |
| | | 朴始榮 己未年 | 田主李生員宅奴天云 乾隆21 |

(啓)

- | | | | |
|----------------|----|----------------------|-----------------------|
| 16 啓 宣祖朝 | 1枚 | (戸籍) | 49 放壳明文 5枚粘連 |
| 17 啓 純祖朝 | 1枚 | 36 朴聖漢戸籍単子 康熙44 | 雍正2 |
| 18 啓 純祖朝 | 1枚 | 〔漢城府印〕 | 50 放壳明文 1枚 |
| (親耕田) | | 37 朴光秀戸籍単子 康熙59 | 田主李奴長得 道光20 |
| 19 啓 1枚 | | 〔漢城府印〕 | 51 放壳明文 1枚 |
| 〔合辞許久開啓事〕 | | 38 朴春榮戸籍単子 (長湍府) 1通 | 田主李奴黄山 同治3 |
| 20 啓 1枚 | | 乾隆30 | 52 放壳明文 1枚 |
| 〔玉堂上下番…〕 | | 39 朴春榮戸籍単子 乾隆48 | 光緒11 |
| 21 啓 1枚 | | 〔漢城府印〕 | 53 放壳明文 1枚 |
| 〔左副承旨金学淳…〕 | | 40 朴鍾淳戸籍単子 (朴春榮孫) 1通 | 田主柳奴長釘 |
| 22 啓 1枚 | | 嘉慶3 | 光武3 |
| 〔行都 啓日修選趙秀仁奉牌〕 | | 41 朴永元戸籍単子 (朴鍾淳子) 1通 | 54 放壳明文 1枚 丁卯年 |
| 23 啓 1枚 | | 道光17 | |
| 〔右副承旨李止遇…〕 | | | (その他) |
| 24 啓 1枚 | | (量案) | 55 雨麥於岐山之陽 詩 1枚 |
| 〔左副承旨朴周寿…〕 | | 42 長湍府朴判書奴順泰改量田案 1綴 | 56 聖子神孫繼々承々於千万年賦 2枚 |
| | | 乾隆24 | 57 陸状元集百家往資治通鑑詳節 卷65巻 |
| | | | 末紙片 2丁 |

(解由等公文書)

- | | | |
|-------------|-------|-----------|
| 25 黄海道安岳郡解由 | 1綴13枚 | (和会文記・明文) |
|-------------|-------|-----------|

桜圃寺内文庫の研究

昭和五十一年三月三十日

山口市桜崖三丁目

山口女子大学歴史学研究室

発行 國 守 進

防府市華城

印刷 大村印刷株式会社

